

2023年度

高田短期大学 子ども学科 シラバス

目次

人生と仏教	松山 智道	4
情報基礎演習	寺家 尚美	6
	鷲尾 敦	
英語コミュニケーション	鈴木 晴美	9
	服部 芳樹	
	駒田 ゆき子	
日本語表現	野呂 健一	11
スタートアップゼミナール	亀澤 朋恵	13
	権部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	福西 朋子	
	山本 敦子	
	寶來 敬章	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	山口 昌澄	
	榊原 尉津子	
教育原理	寶來 敬章	15
社会福祉	佐脇 幸恵	17
保育原理	権部 良子	19
保育の心理学	山口 昌澄	21
子どもの保健	長倉 里加	23
	伊藤 広子	
子どもの食と栄養	生川 美江	25
子どもと環境	河内 純子	28
子どもと言葉	古谷 淳	30
保育内容総論	権部 良子	32
	河内 純子	
	青木 信子	
音楽表現技術	福西 朋子	34
	山本 敦子	
造形表現技術	亀澤 朋恵	36
子どもとあそび	浦中 浩一	38
法学(日本国憲法)	長谷川 博	41
暮らしと数学	見並 誠	43
スポーツと健康(講義)	小澤 亮二	45
発達学習心理学	山口 昌澄	47
子ども家庭支援の心理学	瀬島 美保子	49
保育内容 - 健康	榊原 尉津子	51
保育内容 - 環境	曾我 基子	53
教育・保育カリキュラム論	古谷 淳	55
	寶來 敬章	
乳児保育演習	長倉 里加	57
特別支援教育と障害児保育	齋藤 真寛	59
社会的養護の内容と方法	中嶋 麻衣	61
子どもと音楽	福西 朋子	63
	山本 敦子	
ゼミナール - A	亀澤 朋恵	65
	権部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	福西 朋子	
	山本 敦子	
	寶來 敬章	
	青木 信子	

	長倉 里加	
	松山 智道	
	山口 昌澄	
	榊原 耐津子	
教育実習指導(2)	青木 信子	67
教育実習	青木 信子	69
保育実習	権部 良子	71
	中嶋 麻衣	
保育実習指導 - (2)	中嶋 麻衣	73
人生と仏教	松山 智道	75
暮らしと政治	長谷川 博	77
保育・教育制度論	寶來 敬章	79
子ども家庭福祉	中嶋 麻衣	81
社会的養護	中野 智行	83
乳児保育	別所 慎介	86
	長倉 里加	
発達理解と援助	仲森 みどり	88
子どもの健康と安全	長倉 里加	90
子どもの食と栄養	生川 美江	92
子どもと健康	榊原 耐津子	94
子どもと人間関係	山口 昌澄	96
子どもと表現(音楽)	山本 敦子	98
子どもと表現(造形)	亀澤 朋恵	100
保育内容 - 言葉	古谷 淳	102
音楽表現技術	福西 朋子	104
	山本 敦子	
ゼミナール	亀澤 朋恵	106
	権部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	福西 朋子	
	山本 敦子	
	寶來 敬章	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	山口 昌澄	
	榊原 耐津子	
キャリアスタディ	亀澤 朋恵	108
	権部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	福西 朋子	
	山本 敦子	
	寶來 敬章	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	山口 昌澄	
	榊原 耐津子	
教育実習	青木 信子	110
教育実習指導(1)	青木 信子	112
保育実習	権部 良子	114
	中嶋 麻衣	
保育実習指導 - (1)	権部 良子	116
暮らしと環境	堀井 雅恵	118
スポーツと健康(実技)	小澤 亮二	120
保育者論	寶來 敬章	122
子ども家庭支援論	中嶋 麻衣	124
保育内容 - 人間関係	青木 信子	127

保育内容 - 表現	亀澤 朋恵	129
	福西 朋子	
	榊原 尉津子	
教育の方法と技術	中條 敦仁	131
子ども理解とつながり	橋本 景子	134
子育て支援	河内 純子	136
子どもと音楽	福西 朋子	138
	山本 敦子	
仏教保育	松山 智道	140
ゼミナール - B	亀澤 朋恵	142
	權部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	福西 朋子	
	山本 敦子	
	寶來 敬章	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	山口 昌澄	
	榊原 尉津子	
保育・教職実践演習(幼稚園)	福西 朋子	144
	寶來 敬章	
	山口 昌澄	
保育実習	權部 良子	146
保育実習指導	權部 良子	148

2023年度

人生と仏教 (Life and Buddhism)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	松山 智道								

テーマ

釈尊の生涯とその教え

到達目標

1. 釈尊の生涯とその教えを理解している。
2. 教育の理念である「やわらか心」を理解し、あらゆるいのちの平等・尊厳に深く思い至ることができる。
3. 「生かされて生きている」ことに感謝し、他を生かす活動の大切さを知っている。

授業概要

釈尊の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間とは何か、人間としていかに生きるべきかという視点から人生を考える。

学修に関する留意事項

授業で講義する内容は、日常生活の中でも確認できるものです。自分の日常生活の中で、仏教的な考え方を実践してみてください。前期中に時間外学習としてレポート等の作成を行います(2時間程度)。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業に対する取り組み(到達目標1)	10%
試験(到達目標1・2・3)	90%

テキスト

仏教を読む 釈尊のさとり親鸞のおしえ
出) 出) 本願寺出版社 著) 著) 上山大峻

参考文献

授業の中で指示

参考URL

特記事項

「仏教なんて自分には関係がない」と考えている人が多いと思いますが、授業を通して、実は自分に関係のある身近な教えであることが分かってもらえると思います。人間として生きていく上で大切なものは何か、一緒に考えていきましょう。

2023年度

人生と仏教 (Life and Buddhism)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	松山 智道								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	はじめに (宗教とカルト)
2	釈尊の生涯 1 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
3	苦しみとその原因 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
4	縁起 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
5	釈尊の生涯 2 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
6	祇園精舎と釈尊の最後 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
7	仏教行事 (宗祖降誕会、5月22日)
8	四諦八正道 (1) <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
9	四諦八正道 (2) <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
10	釈尊の言葉 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
11	仏教行事 (灌仏会、6月19日)
12	六波羅蜜 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
13	釈尊の生涯 3 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
14	本当の人間になる <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
15	まとめ

2023年度

情報基礎演習 (Computer Exercise)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	鷲尾 敦、寺家 尚美								

テーマ

パソコンを学習や幼児コンテンツ制作の道具として使うための基礎を身につける

到達目標

1. 基本ソフトWindowsの役割を知り、操作方法を身につけ、利用環境の設定ができる。
2. 画像をはじめとする様々な形式のメディアの特徴を知り、加工やファイルの管理ができる。
3. テーマに即したコンテンツをパソコンをツールとして創造的に制作することができる。

授業概要

ノートPCを活用して、学習や社会生活を充実できるよう、ノートPCの取り扱い方、基本ソフトのWindows、ノートPCの活用方法を学びます。利用する過程で皆さんが遭遇する課題を相互に出し合いながら解決していきます。園だよりや教材コンテンツなどの課題作品の制作を通して、パソコンの使い方、画像・音声・テキストなどの各種メディアの取り扱い方やファイルの管理の方法などを身につけ、PCを学習に活用する能力と姿勢を身につけます。

学修に関する留意事項

- ・課題提出の〆切に間に合うよう、計画を立てて、制作を進めましょう。
- ・普段から、様々な学習や趣味、活動において、積極的にノートPCを活用しましょう。その際に、利用方法について疑問があれば、授業で積極的に質問しましょう。
- ・毎回の授業の最後に振り返りのアンケートを実施します。その際に、PC活用に関する質問を積極的にして、わからないことを解決していく姿勢を育ててください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
提出課題<園だより、教材、プレゼン>(目標2,3)	60%
小課題<メール、ポスタ、通信文>(目標1,2)	30%
授業取り組み姿勢(タイピング成果、授業振り返りアンケート)(目標1)	10%

テキスト

情報リテラシー 入門編 Windows11・Office2021対応
出) FOM出版 著) 富士通エフ・オー・エム

参考文献

保育者のためのパソコン講座
出) 萌文書林 著) 阿部正平 他

PriPri ブックイラストカット&文例
出) 世界文化社 著) 浅野ななみ

すぐに使える!おたより文例&イラストカットBOOK
出) ナツメ社 著) 浅野ななみ

参考URL

美佳のタイプローター
<http://www.asahi-net.or.jp/~BG8J-IMMR/>

情報セキュリティ普及啓発映像コンテンツ IPAチャンネル (Youtube)
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLF9FCB56776EBCABB>

特記事項

本学のネットワークに慣れ、ノートPCを使いこなせるように学んでいきましょう。この授業を通じて、ノートPCの扱いについて質疑応答をしていきたいと思っております。どんなことでも、まずは聞いてください。その質問は、他の人の学習にもつながります。みんなで学び合い教え合いができるクラスにしていきたいです。

2023年度

情報基礎演習 (Computer Exercise)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	鷲尾 敦、寺家 尚美								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ガイダンス 授業内容、評価の方法 ・ノートPCについて インタフェース、キーボード特殊キー、ジェスチャー、マニュアルの確認、追加周辺機器 ・学内ネットワーク環境 wi-fi、ネットワークプリンタ、共有フォルダ、学習支援関連 ・PC・ネットワーク利用マナー <時間外学習> マニュアル・教科書・資料の閲覧 (30分)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本とファイル管理 Windows11の基本操作 フォルダの管理とエクスプローラの操作 (ドキュメント、学内共有、USB間のファイル操作) ・タッチタイプ 練習ソフト (美佳タイプ) のインストール タッチタイプの方法と練習、文書入力速度の確認 <時間外学習> タイピング練習、教科書・資料の閲覧 (60分)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの活用 ブラウザソフト Edgeでの閲覧 URLの見方と意味 Google検索 お気に入り登録とツールバー 高短に関係する様々なサイト 学修や保育、幼児教育に関する様々なサイト <時間外学習> 紹介サイト閲覧 (30分)、タイピング練習 (30分)、教科書・資料閲覧 (30分)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・メールの利用 短大メールの活用方法 (Webメール) 送信、返信、添付、同報メール (CC,BCC等) ・Google for Education クラスルーム、Googleドライブ Meetの利用 <時間外学習> メール課題 (30分)、タイピング練習 (30分)、教科書資料の閲覧 (30分)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・Word 文書作成の基本1 ページ設定 (用紙サイズ、字数行数・既定書式設定、レイアウトの最終調整) 文書入力・速度確認 文字の入力編集、段落の編集 (フォント、段落書式)、均等割付 行頭文字、段落番号、インデント、タブ、ルーラー 印刷の設定 (印刷枚数、プリンター設定)、保存 通信文の作成 <時間外学習> 通信文作成課題、タイピング練習、教科書閲覧 (60分)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・Word 文書作成の基本2 画像 (文字の折り返し) の挿入、画像の編集、表、グラフ等の利用、テキストボックスの利用 スマートアートの利用 ワードアートの利用 <時間外学習> 通信文作成課題、タイピング練習、教科書の閲覧 (60分)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・Word 文書作成の基本3 ページ罫線 段組み ナビゲーションウィンドウ 次回の課題説明 <時間外学習> 通信文作成課題、タイピング練習、教科書の閲覧 (60分)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・WORD 文書作成の実践課題 園だよりを作成しよう 課題の説明 (条件設定) 制作例と制作における注意点 (個人情報、肖像権、著作権) 素材の入手と作成 (様々なアプリ) テーマの検討、制作 <時間外学習> 課題の作成と素材の取得 (90分)

2023年度

情報基礎演習 (Computer Exercise)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	鷲尾 敦、寺家 尚美								

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・WORD 文書作成の実践課題 園だよりを作成しよう制作 <時間外学習> 課題の制作 (90分)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint 基本 ポスタ制作 事例紹介 (ポスタ、プレゼン、ゲーム、電子紙芝居・絵本、教材) ポスタづくりに必要な事項 図形の挿入と編集、図形への文字入力と編集 テキストボックスの挿入と編集 写真等画像の挿入・加工 (トリミング、画像加工) ポスタ課題の説明「子ども学科で学んでいる内容紹介ポスタ」 <時間外学習> ポスタ小課題 (90分)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint 基本 プレゼン制作 アウトラインによる骨格作り テキストボックス編集 (行頭文字、段落番号、行間、フォント、インデント) レイアウト変更 デザイン・各スライドの背景等 画面切り替え プレゼン課題「新入生宿泊研修体験」の説明 <時間外学習> プレゼン課題のテーマ検討・素材収集・アウトラインの作成(120分)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint プレゼンづくりとコンテンツ作り制作 アニメーション設定 (開始、強調、終了、その他) アニメーションウィンドウによる調整 動画、音声の挿入 プレゼン課題「新入生宿泊研修体験」制作 <時間外学習> プレゼン課題の制作 (120分)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint 幼児向けコンテンツ制作 課題説明「教材として利用できる幼児向けコンテンツ」 制作コンテンツのテーマ、内容について検討 ストーリーボードの作成 <時間外学習> 幼児向けコンテンツ制作課題のストーリーボードの作成 (60分)
14	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint 幼児向けコンテンツ制作 教材コンテンツの制作 <時間外学習> 教材コンテンツの制作 (120分)
15	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint 幼児向けコンテンツ制作課題の発表と評価 教材コンテンツの披露と評価 グループ内評価と自己評価 <時間外学習> 教材コンテンツの制作と発表に対する自己評価 (90分)

2023年度

英語コミュニケーション (Communication in English)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	駒田 ゆき子、鈴木 晴美、服部 芳樹								

テーマ

保育現場の様々な場面で必要な英語を学ぶ。

到達目標

1. 保育に関連する英語の語彙や表現を習得する。
2. 保育に関連する英語の語彙や表現を用いて、保育現場の様々な場面で、コミュニケーションができる。
3. 楽しみながら積極的に英語を使用する態度を身に付ける。

授業概要

保育現場の様々な場面で必要な英語の語彙や表現を学び、それを基にコミュニケーション活動を行います。

学修に関する留意事項

授業への参加が原則です。やむを得ない事情で欠席した場合は、その回の埋め合わせをしたうえで、次の授業に出席してください。また、事前に欠席が分かっている場合は、申し出てください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験（到達目標1, 2）	50%
授業への取り組み（到達目標1, 2, 3）	25%
小テスト（到達目標1, 2）	25%

テキスト

Happy English for Childcare: 保育のための基礎英語
出) 金星堂 著) Makiko Tsuchiya

参考文献

保育英語の練習帳
出) 萌文書林 著) 宮田学編高橋妙子著

参考URL

2023年度

英語コミュニケーション (Communication in English)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	駒田 ゆき子、鈴木 晴美、服部 芳樹								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	Please Speak More Slowly 授業概要の説明を行う。また、英語でコミュニケーションをする際の基本表現を習得する。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.1)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
2	I 'm Yuri Tanaka 自己紹介ができる。また、人に何かを頼む表現を習得する。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.4)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
3	Where Is the Multi-purpose Room? 位置を伝える表現を用いて、園内の案内・道案内ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.9)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
4	Good Morning. How Are You Today? 今日の調子を聞く・答える表現を用いて、登園時における会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.14)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
5	What Color Do You Like? 好き嫌いを聞くための表現を用いて、工作の時間における会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.19)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
6	There 's a Ladybug on the Leaf 場所を表す表現や前置詞を用いて、園外散歩時における会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.24)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
7	It 's Time to Play Outside 命令文を用いて、園庭での会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.29)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
8	Let 's Read a Japanese Folktale in English! 英語で書かれた日本の昔話を和訳し、音読することができる。 <時間外学習>すらすら音読が出来るように練習する。(15分)
9	She Is Allergic to Eggs 食に好みやアレルギーの有無を伝える表現を用いて、保護者からの相談に乗ることができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.34)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
10	You Should Go to the Bathroom must・have・shouldを使い分けて、お昼寝の時間における会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.39)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
11	We Made Masks Today 一日の活動と様子を伝える表現を用いて、降園時における会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.44)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
12	If It Rains, What Happens? 仮定の表現を用いて、行事予定についての会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.49)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
13	I Feel Feverish 病気やけがの症状を表す表現を用いて、体調不良の園児との会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.54)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
14	This Is Yuri from Cosmo Day Care Center 保護者と電話で会話ができる。 <時間外学習> 復習：Let 's Talk (p.64)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)
15	学修の振り返り <時間外学習>予習：これまでに学習した内容の総復習をする。(120分)

2023年度

日本語表現 (Japanese Expressions)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	野呂 健一								

テーマ

社会生活や学習活動で求められる基本的な日本語表現能力（主に文章作成能力）の習得

到達目標

1. 書き言葉の基礎を身につけ、文章作成のポイントを理解する。
2. 与えられたテーマに基づき、情報を収集し、論理的な文章が書けるようになる。
3. 敬語の基本を理解したうえで、実際の場面で適切な敬語使用ができるようになる。

授業概要

日常生活や学習活動で求められる日本語表現能力を伸ばすため、文の構成やつなぎ方等、論理的文章を書くための基礎的事項について概説し、実際に文章を書く練習を繰り返す。次に、論理的文章を書く際に必要な表現について学んだうえで、実際にレポート作成に取り組む。また、表現を豊かにするために必要な、言葉に関する知識について学習する。第13回以降では、目上の人との会話で必須の敬語表現について学び、実際の場で実践できることを目指す。

学修に関する留意事項

漢字力や語彙力の醸成のための小テストを毎回授業冒頭を実施するので、テキストの該当部分について各自学習しておくこと。授業で取り組む演習問題について、授業後に十分復習し、理解を深めておくこと（随時定着度を図るための確認テストを実施する）。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取組（授業内課題、確認テスト等）（到達目標1、3）	45%
漢字・語彙テスト（到達目標1）	15%
期末レポート（到達目標2）	40%

テキスト

書き込み式日本語表現ノート

出）三弥井書店

著）名古屋大学日本語表現研究会編

参考文献

参考URL

特記事項

社会人として必要な日本語力とは、優れた文章・美しい文章を書くことではありません。分かりやすい文章、自分の伝えたいことが誤解なく読み手に伝わる文章を書く力を身につけましょう。

2023年度

日本語表現 (Japanese Expressions)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	野呂 健一								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	授業ガイダンス、日本語表現能力の自己診断 <時間外学習> 診断テストの復習 (10分)
2	話し言葉と書き言葉：文末表現の統一、場面にふさわしい言葉づかい <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第1回・知識編第1回) (30分)
3	文の組立て：文の骨組みを整える <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第2回・知識編第2回) (30分)
4	視点：文の視点を統一する <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第3回・知識編第3回) (30分)
5	文のつなぎ方：適切な接続表現 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第4回・知識編第4回) (30分)
6	意味の限定：誤解されない表現のために <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第5回・知識編第5回) (30分)
7	言葉の順序：理解しやすい順序 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第6回・知識編第6回) (30分)
8	定義・分類の表現 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第7回・知識編第7回) (30分)
9	比較・対照する表現 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第8回・知識編第8回) (30分)
10	列挙・順序・因果関係の表現 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第9回・知識編第9回) (30分)
11	レポートの書き方：レポートと作文との違い、レポート作成のルール <時間外学習> 教科書の予習・復習 (知識編第10回)、配布プリントの復習 (30分)
12	レポートの書き方：レポート作成の手順 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (知識編第11回)、配布プリントの復習 (30分)
13	敬語の基本 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第11回・知識編第12回)、期末レポート作成準備 (1時間)
14	注意すべき敬語 <時間外学習> 教科書の予習・復習 (技能編第12回)、期末レポート作成準備 (1時間)
15	敬語のまとめ <時間外学習> 期末レポート作成・提出 (1時間)

2023年度

スタートアップゼミナール (Startup Seminar)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 耐津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

テーマ

大学での学びの基本的な姿勢やスキル、社会的なルールやマナーなどを身につけることで、短大生として主体的に学び、ふさわしい行動をとるための準備をする。

到達目標

1. 大学で学ぶための基本的な姿勢を身につけ、課題を持って意欲的に学ぶことができる。
2. 課題の解決に向け、「聴く」「考える」「伝える」等の基本的な力が身につく。
3. 社会的なルールやマナー、倫理、規範などを理解して、しっかりと行動できる。

授業概要

初年次教育として大学生に必要な知識・態度の習得に向けて、少人数授業の特徴を活かしながら、「対教員」、「対学生」のコミュニケーションを重視した授業を展開する。

学修に関する留意事項

- ・本授業は、学生の能動的な学習姿勢による授業参加を目標としているため、「時間外学習」については、授業計画に記された内容以外にも自らの興味・関心に沿った自主的な学習を求める。
- ・本授業を通じて、各自、積極的にボランティア活動を行うこと。
- ・第6回授業以降、時間外学習として各自で成果報告およびレポート課題作成の準備を行う。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取り組み（到達目標1・3）	20%
レポート作成及びプレゼンテーション（到達目標2）	60%
グループワーク（到達目標1・3）	20%

テキスト

子ども学科『スタートアップゼミナール』授業用資料は必要に応じて配布・配信する。

参考文献

参考URL

2023年度

スタートアップゼミナール (Startup Seminar)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、権部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション -大学生としての「学び」とは- ・大学で学ぶということ ・子ども学科で学ぶということ - 子ども学科学びの図とディプロマポリシー ・シラバス(授業計画)について
2	新入生研修について ・研修の目的について - コミュニケーションとチームワーク - ・研修内容と事前の取組みについて <時間外学習> 新入生研修のふりかえり (1時間)
3	ボランティアについて ・ボランティア精神とボランティア活動実施方法について
4	レポートについて ・レポート作成の目的及びレポート作成方法
5	【特別講義】三葉虫を調べよう -好奇心アップ入門- <時間外学習> 特別講義からの学びに関する小レポート (1時間)
6	幼稚園・保育所(園)・認定こども園の違い 1 ・調べ学習 <時間外学習> 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領等を活用した情報収集 (1時間)
7	幼稚園・保育所(園)・認定こども園の違い 2 ・学習成果報告 <時間外学習> 成果報告のための準備(1時間)
8	幼稚園・保育所(園)・認定こども園の違い 3 ・学習成果報告、レポート課題提出 <時間外学習> 成果報告、課題提出のための準備(1時間)
9	保育・幼児教育の基礎的理解 1 ・幼児教育と保育及び保育職について
10	保育・幼児教育の基礎的理解 2 ・子どもの生活とあそびについて <時間外学習> 子どもの生活・あそびに関する資料の収集(30分)
11	保育・幼児教育の基礎的理解 3 ・現代の保育、子育てをめぐる課題について <時間外学習> 現代の保育・子育てに関する新聞記事等の収集(30分)
12	グループワーク、プレゼンテーション 1 - 各ゼミ別に興味・関心あるテーマに沿った資料収集・整理や実践活動を行う - <時間外学習> グループワーク課題のための準備 (30分)
13	グループワーク、プレゼンテーション 2 - 各ゼミ別に興味・関心あるテーマに沿った資料収集・整理や実践活動を行う - <時間外学習> グループワーク課題のための準備 (30分)
14	グループワーク、プレゼンテーション 3 - 各ゼミ別に興味・関心あるテーマに沿った活動のまとめと報告会準備 - <時間外学習> グループワーク課題のための準備 (30分)
15	グループワーク、プレゼンテーション 4 - 各ゼミ内グループ別報告会 - 前期のまとめ

2023年度

教育原理 (Principle of Education)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章								

テーマ

教育を成り立たせている事柄や教育・保育の歴史や思想に関する学習を通して、現代保育者の役割や子ども、家族などをめぐる諸問題についての理解

到達目標

- 1.教育・保育の目的・目標に関して基礎的な事柄を説明できる。
- 2.幼児教育・保育をめぐる思想や歴史、制度などの特徴を理解した上で説明できる。
- 3.現代の保育者や子ども、家族に関する諸問題を説明できる。

授業概要

本授業では、教育についての基礎的理解を深めるために、制度・歴史・思想・実践など教育をめぐる諸領域を横断的に学ぶとともに、教育・保育の現代的な課題を検討します。

学修に関する留意事項

授業は主にパワーポイントを使用して進めます。受講生は適宜メモを取るようになしてください。授業計画の各回の中に記載されている教科書の該当箇所または配付資料を時間外に熟読するようになしてください。中間試験、定期試験は、共に口頭で説明した内容からも出題されますので、授業時間外の復習として授業内容の確認・整理が必要となります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験（到達目標1,2）	40%
定期試験（到達目標1,2,3）	60%

テキスト

参考文献

特に指定しません

参考URL

特に指定しません

特記事項

特にありません。

2023年度

教育原理 (Principle of Education)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	イントロダクション：教育・原理とは何か、教育・保育の目的と本質 時間外学習：教科書第1章を読む(30分)
2	幼稚園・保育所・子ども園とは：就学前教育・保育の法的根拠、要領や指針 時間外学習：教科書第2章を読む(30分)
3	教育の制度：幼児教育・保育制度の確立と展開 時間外学習：教科書第8章を読む(30分)
4	教育の歴史の変遷：近代までの教育 時間外学習：教科書第11章を読む(30分)
5	教育の歴史の変遷：現代の教育 時間外学習：教科書第10章を読む(30分)
6	カリキュラム・教育(保育)課程の編成：計画としての幼児教育・保育 時間外学習：教科書第6章を読む(30分)
7	隠れたカリキュラムとジェンダー：学校や園、保育者は何を伝え、子どもは何を学ぶのか 時間外学習：事前配付された資料を読む(30分)
8	乳幼児の発達：年齢別の子どもの姿と保育者の関わり 時間外学習：教科書第3章を読む(30分)
9	子どもの遊びと学び：園での生活や経験から子どもが学ぶこと 時間外学習：事前配布された資料を読む(30分)
10	家族の変容：家族のカタチと子どもの生活経験の関係 時間外学習：教科書第15章を読む(30分)
11	外国の幼児教育・保育：異なる社会の幼児教育・保育実践 時間外学習：教科書第9章を読む(30分)
12	多様な幼児教育・保育の場：認可外施設の特徴と課題 時間外学習：事前配布された資料を読む(30分)
13	多様な連携：保幼小連携や専門機関との関係、幼稚園・保育所、保育者の役割 時間外学習：事前配布された資料を読む(30分)
14	現代保育者に求められる資質・能力：保育者の専門性とは何か 時間外学習：事前配布された資料を読む(30分)
15	まとめ 時間外学習：学習内容の振り返り(120分)

2023年度

社会福祉 (Social Welfare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	佐脇 幸恵								

テーマ

現代社会を理解し、人々のさまざまな生活問題を身近なものとして捉える。
社会福祉の理念や概念、歴史、対象、法制度、実践方法、社会福祉専門職に求められる役割、多職種連携等、社会福祉の基礎的な理解を深める。

到達目標

1. 現代社会および生活問題を理解し、「社会福祉とは何か」を説明できるようになる。
2. 社会福祉の理念、歴史、制度について説明できるようになる。
3. 社会福祉専門職の役割と多職種連携について説明できるようになる。

授業概要

社会福祉の基礎を学ぶ授業である。単に福祉の制度やサービスについて理解するだけでなく、自身を含めた人々の幸せとは何か、どのような社会をつくりだすことで人々の幸せを実現することができるのかを考えてほしい。
授業はテキストとPowerPointを用いて行う。

学修に関する留意事項

保育士になるにあたって、社会福祉の理解は必要不可欠である。主体的に授業に参加すること。
周りの受講生の迷惑にならないように私語等を慎むこと。
テキストや事前に授業支援システムに配信する資料を忘れずに持参すること。
授業当日に映し出すPowerPoint資料は許可なく写真を撮らないこと。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業態度（到達目標1・2・3）	15%
リアクションペーパー（到達目標1・2）	15%
筆記試験（到達目標1・2・3）	70%

テキスト

必須：『学ぶ・わかる・みえるシリーズ 保育と現代社会 保育と社会福祉【第3版】』
出）出）みらい 著）著）橋本好市・宮田徹編

参考文献

『社会福祉用語辞典』
出）出）ミネルヴァ書房 著）著）山縣文治・柏女霊峰編
『社会福祉小六法』
出）出）ミネルヴァ書房 著）著）ミネルヴァ書房編集部

参考URL

2023年度

社会福祉 (Social Welfare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	佐脇 幸恵								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション(グループワーク) 予習: シラバスに目を通し、この講義の達成目標と何を学ぶのか理解しておくこと(30分) 復習: 本科目で学ぶ事柄について整理をし、予習・復習時間の確保のための見通しを立てること(60分)
2	現代社会とふくし・生活問題とは何か(ディスカッション) 予習: テキスト第1章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、新聞やニュースなどから身近な生活問題について考える(60分)
3	社会福祉とは何か・社会福祉の理念 予習: テキスト第2章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、社会福祉の理念を整理するとともに社会福祉とは何かを自分の言葉で言語化しておくこと(60分)
4	社会福祉の歴史 予習: テキスト第3章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、社会福祉の歴史的あゆみを整理しておくこと(60分)
5	社会福祉の歴史 予習: テキスト第3章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、社会福祉の歴史的あゆみを整理しておくこと(60分)
6	社会保障制度 予習: テキスト第4章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、社会保障制度について整理しておくこと(60分)
7	社会福祉の制度と法体系 予習: テキスト第5章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、社会福祉の制度と法体系について整理しておくこと(60分)
8	社会福祉の実施機関と行財政・社会福祉施設 予習: テキスト第6章、第7章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、社会福祉の実施機関と行財政・社会福祉施設について整理しておくこと(60分)
9	子ども家庭支援と社会福祉 予習: テキスト第8章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、子どもを取り巻く問題と子ども家庭支援に関する施策について整理しておくこと(60分)
10	共生社会と障がい者福祉 予習: テキスト第9章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、障がい者福祉に関する法律と福祉サービスについて整理しておくこと(60分)
11	高齢者福祉と介護保険制度 予習: テキスト第10章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、高齢者福祉に関する法律と介護保険制度および介護サービスについて整理しておくこと(60分)
12	地域福祉の理念と担い手 予習: テキスト第11章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、地域福祉の理念と担い手について整理しておくこと(60分)
13	社会福祉専門職の役割と多職種連携 予習: テキスト第12章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、学んだ社会福祉専門職の役割や特徴について整理しておくこと(60分)
14	ソーシャルワークの意味と方法 予習: テキスト第13章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる(60分) 復習: 授業内容をふりかえり、ソーシャルワークの意味と展開過程について整理しておくこと(60分)
15	ふりかえりとまとめ 予習: これまでの授業をふりかえり、試験に備える(60分) 復習: 試験で分からなかったところを再確認しておく(60分)

2023年度

保育原理 (Principle of Childcare and Education)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

テーマ

保育とは何かについて知る

到達目標

- (1) 保育の意義、保育制度、保育の基本原則と方法の理解
- (2) 保育の計画の意義の理解
- (3) 保育の思想と歴史の変遷(西洋と日本)の理解
- (4) 保護者の子育て支援の理解
- (5) 保育の現状と課題についての考察

授業概要

保育とは何か、保育・教育の理念、原則を検討するとともに、保育に関する法令及び制度を理解する。保育に関する日本や世界の歴史および思想、保育の現状と課題について概観する。

学修に関する留意事項

- ・毎時間、レジュメをもとに授業を進めます。適宜メモを取るようになしてください。
- ・授業内で小レポート作成や確認テストを実施するので、積極的に参加してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取り組み(到達目標1、2、3、4、5)	50%
筆記試験(到達目標1、2、3、4、5)	50%

テキスト

実践を創造する保育原理 第2版
出) 株式会社 みらい 著) 豊田 和子

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定
こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド本社

参考URL

特記事項

- ・保育原理は、これから幼児教育・保育を学ぶための総論であり、導入的な内容です。保育者をめざすものとして真摯な心構えで受講してください。
- ・保育者(幼稚園教諭)として実務経験があります。

2023年度

保育原理 (Principle of Childcare and Education)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	ガイダンス 保育とはなんだろう 時間外学習：第1章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
2	現代社会と子どもの育ち 時間外学習：第2章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
3	保育が行われる場を知ろう 時間外学習：第3章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
4	保育者に求められるもの—資質と専門性— 時間外学習：第4章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
5	世界の保育の歴史に学ぼう—諸外国の保育思想— 時間外学習：第5章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
6	日本の保育の歩み 時間外学習：第6章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
7	保育に求められる子ども観・発達観 時間外学習：第7章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
8	保育の基本 時間外学習：第8章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
9	保育の目標と内容 時間外学習：第9章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
10	保育の方法と進め方 時間外学習：第10章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
11	保育の計画と保育の質の向上 時間外学習：第11章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
12	大切な子育て支援と地域連携 時間外学習：第12章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
13	海外の保育に目を向けてみよう 時間外学習：第13章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
14	保育をめぐるこれからの課題について 時間外学習：第14章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)
15	まとめと小テスト 時間外学習：これまでの授業内容をまとめる (30分)

2023年度

保育の心理学 (Psychology of Childcare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	山口 昌澄								

テーマ

子どもの発達を理解するための心理学

到達目標

子どもの発達に関わる心理学の基礎的事項を習得することを目標とする。

1. 保育・幼児教育実践に関わる発達理論等の心理学的知見を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。
2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。
3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。

学修に関する留意事項

定期試験に加え開講中の小テスト（採点結果はフィードバックする）やワークシートも全体成績へ反映される。各回前後にテキスト関連箇所および配布資料を読み、知識整理や理解を深めながら取り組むこと。

テキスト

保育士を育てる「保育の心理学」
出）一藝社 著）谷田貝公昭 他

授業概要

「ひとが育つ」ということを、発達心理学や教育心理学などの視点から紹介する。「社会性」「言語」「認知」「感情」「自己」などの発達について、基礎的理論から最新の研究まで、映像教材なども交えながら解説していく。またそれら知見の保育・教育実践への応用可能性についても考える。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（到達目標1、2、3）	50%
小テスト（到達目標1、2）	20%
ワークシート（到達目標1、2）	20%
受講態度（到達目標1、2、3）	10%

参考文献

子どもの発達の連続性を支える保育の心理学
出）教育情報出版 著）浅井 拓久也 他

参考URL

2023年度

保育の心理学 (Psychology of Childcare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	山口 昌澄								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション：子どもの「発達」を理解することの意義。育ちの振り返りワーク 時間外学習：受講前までに、幼少期から現在まで、自分の育ちに影響を与えた事柄について考えてくること (60分)
2	愛着関係の形成と基本的信頼感の獲得 (ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第7章を読んでおくこと (30分)
3	子どものコミュニケーションの発達 (前言語期) 時間外学習：受講前にテキスト第3章を読んでおくこと (30分)
4	子どものコミュニケーションの発達 (発話期以降) 時間外学習：受講前にテキスト第10章を読んでおくこと (30分)
5	子どもの知覚や認知機能の発達 時間外学習：受講前にテキスト第11章を読んでおくこと (30分)
6	子どもの遊びや身体・運動機能の発達、小テスト1実施 時間外学習：小テストに備え、これまでの授業内容を事前に復習・整理し臨むこと (90分)
7	子どもの社会情動的発達 (感情、心の理論、非認知能力等の発達) 時間外学習：受講前にテキスト9章を読んでおくこと (30分)
8	子どもの発達と環境 (人的・物的) 時間外学習：受講前にテキスト第2章を読んでおくこと (30分)
9	人格の発達 (道徳性、パーソナリティ) 時間外学習：受講後、授業ワークシートを仕上げ、提出すること (90分)
10	子どもの自我や主体性の発達 時間外学習：受講前にテキスト第9章を読んでおくこと (30分)
11	生涯発達の理論 (ピアジェ、エリクソン、マズロー等) 時間外学習：受講前にテキスト第4章を読んでおくこと (30分)
12	子どもの学びに関する理論 (学習、動機づけ等)、小テスト2実施 時間外学習：小テストに備え、これまでの授業内容を事前に復習・整理し臨むこと (90分)
13	子どもの学びの過程や特性 時間外学習：受講前にテキスト第12章を読んでおくこと (30分)
14	子ども観・発達観と保育実践上の評価 時間外学習：受講前にテキスト第1章を読んでおくこと (30分)
15	子どもの育ちや学びの課題への支援 時間外学習：定期試験に備え、これまでの受講内容を整理しておくこと (90分)

2023年度

子どもの保健 (Child Health)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加、伊藤 広子								

テーマ

子どもの心身の健康と保健

到達目標

- 1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を述べることが出来る
- 2.子どもの心身の健康状態の把握の方法が分かる。
- 3.子どもの疾病予防と適切な対応が分かる

授業概要

心身の健康増進を図る保健活動の意義について学び、子どもの心身の健康状態の把握の方法や疾病に予防法や適切な対応方法について学ぶ。

学修に関する留意事項

教科書の内容以外にも様々な疾病や症状があります。子どもの健康を守るために幅広い知識が求められます。日頃より関心をもって本や雑誌、メディア等に触れるようにしてください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
小テスト【到達目標 2・3】	20%
テスト【到達目標 1・2・3】	80%

テキスト

保育を学ぶ人のための子どもの保健

出) 建帛社 著) 堀 浩樹・梶 美保 編著

参考文献

その都度紹介します

自分の母子健康手帳

参考URL

特記事項

専門用語が数多く出てきて難しく感じるかもしれませんが、保育者にとってはとても重要な内容です。授業で学習した内容は復習を十分にしておいて、確実な知識になるようにしてください。

助産師・看護師としての実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、子どもの正常な発育・発達を評価する方法や病気の予防方法、異常の発見に向けた視点、異常時の対応について具体的に講義をする。

2023年度

子どもの保健 (Child Health)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加、伊藤 広子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子どもの定義・理念と保育保健の意義 保育保健のための関連法について学ぶ 時間外学習 教科書第1章を読む 30分
2	子どもの健康と統計 子どもに関わる諸統計と社会的背景について考える 時間外学習 子どもに関するニュース・新聞をいくつか読む 60分
3	子どもの健康と地域における保健活動・虐待防止 現代社会における子どもの健康に関する現状や子どもを取り巻く地域における保健活動について学ぶ 時間外学習 教科書第3章を読む 30分
4	子どもの成長・発達と保健 子どもの成長・発育とその特徴について学ぶ 時間外学習 教科書第4章を読む 30分
5	子どもの成長・発達と保健 子どもの生理機能の発達 消化器・循環器・呼吸器等について学ぶ 時間外学習 教科書第4章を読む 30分
6	子どもの成長・発達と保健 子どもの生理機能の発達 脳神経・感覚器等について学ぶ 時間外学習 教科書第4章を読む 30分
7	子どもの成長・発達と保健 子どもの運動発達・精神発達、子どもの身体発育の評価について学ぶ 時間外学習 教科書第4章を読む 30分
8	子どもの成長・発達と保健 子どもの運動発達・精神発達、子どもの身体発育の評価について学ぶ 時間外学習 教科書第4章を読む 30分
9	子どもの心身の健康状態とその把握 日々の健康観察と身体不調の早期発見の方法について学ぶ 時間外学習 自分の身体不調の時の症状や状態について振り返り、記録にまとめる 30分
10	子どもの病気の考え方・感染症と保育所における対応 保育所における感染症対策について具体的に学ぶ：インフルエンザ、風疹、麻疹等 時間外学習 授業内容をふまえそれぞれの疾患における保育上の注意点をまとめる 30分
11	感染症と保育所における対応 保育所における感染症対策について具体的に学ぶ：流行性嘔吐下痢症、腸管出血性大腸菌感染症等 時間外学習 授業内容をふまえそれぞれの疾患における保育上の注意点をまとめる 30分
12	感染症と保育所における対応 保育所における感染症対策について具体的に学ぶ：伝染性膿痂疹、咽頭結膜熱、アタマジラミ等 時間外学習 教科書第6章を読む 30分
13	アレルギー疾患と保育所における対応 保育所におけるアレルギー疾患に注意点を学ぶ。各園での取り組みについてディスカッションをする。 時間外学習 ディスカッション内容から注意すべき点をまとめる 30分
14	子どもに多い疾患と保育所における対応 腎・尿路系疾患、呼吸器疾患、神経・筋疾患等について学ぶ 時間外学習 教科書第6章を読む 30分
15	子どもの病気の予防 予防接種の意義と主なワクチン、保育者の役割について学ぶ 時間外学習 自分の母子手帳をみて、予防接種してあるものがどのような病気が調べてみる 30分

2023年度

子どもの食と栄養 (Child Nutrition)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	生川 美江								

テーマ

保育者に必要な栄養の基礎知識を修得したうえで、子どもや保護者に対して食に関する支援ができる実践力を養う

到達目標

1. 栄養に関する基本的な知識を持ち、健康な生活の基本である食生活の意義を知る
2. 子どもに対して栄養的に満たされ、安心、安全な食事を提供することの意義を知る
3. 乳幼児食や食物アレルギーに対する知識を持ち、子どもの食生活の支援や保護者からの相談に対応できる

授業概要

子どもたちの食習慣確立に向けた支援ができる知識と実践力の修得に向けて学ぶ。幼少期からの食生活の重要性について理解するために、栄養の基礎や乳幼児期の栄養に関する講義を行う。離乳食に関しては実習を行い、実践に向けての経験を積んで食事支援ができることを目指す。乳幼児期の食の問題に関しては演習やグループワークを行い、子どもたちの現状や保護者の悩みを理解して食生活の支援や相談に対応できる力を育成する。

学修に関する留意事項

講義にはスライドを用いる。印刷用の資料を授業支援システムを通じて一週間前までに配布するので必ず事前に印刷し、目を通してから授業に臨む（第1回は印刷した資料を併せて配布する）。実習の際は原則前週に資料を配布するので、予習をして実習に臨む。実習の結果と考察は、必ず所定のレポート用紙に記入して提出する。期限内に提出されたものについて配点する。定期試験期間に筆記試験を実施する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題への取り組み、レポート（到達目標1, 2, 3）	20%
実習への取り組み、レポート（到達目標2, 3）	20%
筆記試験（到達目標1, 2, 3）	60%

テキスト

子どもの食と栄養第2版 保育現場で活かせる食の基本
出) 羊土社 著) 太田百合子、堤ちはる 編著

参考文献

おいしく治すアレルギー攻略法改訂第2版
出) 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 著) 伊藤浩明

子どもの食生活
出) ななみ書房 著) 上田玲子

参考URL

「授乳・離乳の支援ガイド」厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_04250.html

「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/hoiku03_001.pdf

「乳幼児栄養調査」厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/83-1.html>

「幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイド」厚生労働省
<https://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/youjishokuguide/YoujiShokuGuideKakutei.pdf>

「学校保健統計調査」文部科学省
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm

2023年度

子どもの食と栄養 (Child Nutrition)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	生川 美江								

特記事項

出欠の管理を厳重に行います。特にグループワーク・実習においては、遅刻・欠席のないよう注意する。万が一、遅刻・欠席する場合には担当教員および班員に連絡すること。

担当教員は、保健センターにおいて管理栄養士としての実務経験があります。また、特定非営利活動法人に所属し、市の設置する「子ども子育て応援センター」において栄養・離乳食相談および保護者向け講座を担当しています。

2023年度

子どもの食と栄養 (Child Nutrition)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	生川 美江								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 健康と食生活のかかわり、食生活の意義と課題、生涯栄養 (時間外学習)テキスト第1章-1、第8章を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、わが国の栄養の現状に関する課題を行う(30分)、授業の取り組みに関するレポート作成(20分)
2	子どもの健康と食生活の意義 子どもの発育・発達と栄養 (時間外学習)テキスト第1章-2, 3を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、子どもの発育・発達に関する課題を行う(30分)
3	栄養に関する基礎知識1 栄養素の種類とはたらき (時間外学習)テキスト第2章-1, 3を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、栄養素に関する課題を行う(30分)
4	栄養に関する基礎知識2 消化・吸収 (時間外学習)テキスト第2章-2を読んでおく(15分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、栄養素の消化・吸収に関する課題を行う(30分)
5	栄養に関する制度1 日本人の食事摂取基準、献立構成と献立作成 (時間外学習)テキスト第3章を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、献立構成に関する課題を行う(30分)
6	栄養に関する制度2 食事バランスガイド、食品衛生、食品表示 (時間外学習)テキスト第3章-2を読んでおく(20分)事前に配布する資料を読んでおく(20分)、食事バランスガイドに関する課題を行う(60分)
7	乳児期の食生活1 乳汁栄養 (時間外学習)テキスト第5章-1を読んでおく(20分)事前に配布する資料を読んでおく(20分)、乳汁栄養に関する課題を行う(30分)
8	乳児期の食生活2 離乳期の栄養 (時間外学習)テキスト第5章-2を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、離乳食に関する課題を行う(30分)
9	乳児期の栄養(実習)市販のベビーフードを用いて、乳児の摂食機能について学ぶ (時間外学習)テキスト第5章-2を復習しておく(20分)、事前に配布する実習内容の資料を読んでおく(20分)、摂食機能に関するレポート作成(40分)
10	妊娠期と授乳期の栄養 (時間外学習)テキスト第4章を読んでおく(30分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、妊娠期の食事に関する課題を行う(30分)
11	乳児期の栄養(実習)離乳食の製作 (時間外学習)テキスト第5章-2を復習しておく(20分)、事前に配布する実習内容の資料を読んで実習の流れを把握したうえで実習に臨む(20分)、離乳食に関するレポート作成(40分)
12	幼児期の発育・発達と食生活1 幼児期の心身の発達と食生活 (時間外学習)テキスト第6章-1を読んでおく(30分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、幼児期の食生活に関する課題を行う(30分)
13	幼児期の発育・発達と食生活2 幼児期の栄養の問題・保護者からの相談への対応に関するグループワーク (時間外学習)テキスト第6章-2を読んでおく(20分)、グループワークの結果をまとめる(40分)
14	学童期・思春期の発育・発達と食生活 (時間外学習)テキスト第7章を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、学童期の食生活に関する課題を行う(30分)
15	アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養 (時間外学習)テキスト第12章を読んでおく(20分)、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を読んでおく(20分)、食物アレルギーに関する課題を行う(30分)

2023年度

子どもと環境 (Child and Environment)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	河内 純子								

テーマ

領域「環境」の指導に関連して、保育の場における乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児と環境とのかかわりについて基本的理解を深め、すぐれた保育実践に学んで感性を養い、知識・技能を身に着ける。

到達目標

1. 乳幼児を取り巻く環境を主体的に学び、保育の専門性を高める。
2. 領域「環境」に関する乳幼児の課題を論理的に判断し、表現することができる。
3. 領域「環境」で学んだ内容を共有し、協働しながら新たな課題を理解する。

授業概要

子どもは様々な環境に左右されながら一人の人間として育っていく。その領域「環境」において幼児を取り巻く環境の把握、発達に関する事項について学ぶために、様々な映像教材や校外学習、グループワークなどを通じて理解を深める内容としたい。

学修に関する留意事項

本授業では座学だけでなく受講者同士の学び合いを重視しているので、授業に対する積極的な姿勢をもち取り組んでほしい。また、自らの感じる心を育ててほしいため、普段から、周囲のあらゆる環境に様々な視点から興味・関心をもって接してほしいと願う。なお、シラバスの内容に準じて、戸外での活動を行う場合がある。それに関しては、授業内・授業支援システムで随時連絡を行うこととする。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取り組み（到達目標1, 2）	30%
グループワーク（到達目標2, 3）	20%
課題の作成	50%

テキスト

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本

出) チャイルド本社

平成30年度施行 保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説とポイント

出) ミネルヴァ書房

保毎日の保育で豊かな自然体験! 自然・植物 あそび一年中

出) 学研

著) 出原 大

参考URL

特記事項

幼稚園教諭としての実務経験があります。

2023年度

子どもと環境 (Child and Environment)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	河内 純子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	領域「環境」に求められること 時間外学習：乳幼児を取り巻く環境について「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の関連箇所を読む(30分)
2	主体的な遊びを促す環境について 時間外学習：身近な自然物を用いた遊びについて実践と考察(30分)
3	日常生活における五感を使った豊かな自然体験について 時間外学習：栽培実践の準備(30分)
4	野菜の栽培実践について 実践演習 時間外学習：栽培計画と日記の作成(30分)
5	季節による生活や自然の変化に気づくこと 時間外学習：授業内容を整理(30分)
6	乳児の育ちと環境との関わり 時間外学習：授業内容を整理(30分)
7	幼児期前半の育ちと環境との関わり 時間外学習：授業内容を整理(30分)
8	「環境」との関わりを支える保育者の役割 実践演習 時間外学習：授業内容を整理(30分)
9	「環境」との関わりを支える保育者の役割 グループワーク・事例検討 時間外学習：振り返りシートの作成(30分)
10	自然とのかかわりで育つもの ～動植物とのふれあいによって、生命の尊さに気づく～ 教材研究 時間外学習：振り返りシートの作成(30分)
11	自然とのかかわりで育つもの ～動植物とのふれあいによって、生命の尊さに気づく～ 教材研究・グループワーク 時間外学習：振り返りシートの作成(30分)
12	幼児期後半の育ちと環境との関わり、児童期へのつながり 時間外学習：授業内容を整理(30分)
13	環境への興味と関わり方の発達、子どもの活動を引き出す保育環境について 時間外学習：保育環境についてレポート作成(1時間)
14	環境を通じた教育・保育について ～幼児期の終わりまでに育ってほしい110の姿～ 時間外学習：授業内容を整理(30分)
15	まとめ ～子どもの環境に関する今日的な課題について～ 時間外学習：子どもと環境に関するレポート作成(2時間)

2023年度

子どもと言葉 (Child and Language)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	古谷 淳								

テーマ

・子どもの言葉を豊かに育む児童文化財の基礎を理解し、人間の言葉が果たす機能や意義について概説する。子どもが言葉に主体的に出会い、言葉の世界を豊かに繰り返し広げていく発達過程や子どもにとっての言葉の意味を理解する。

到達目標

- 1.子どもが言葉の世界を豊かに繰り返し広げていく発達過程を理解し、子どもにとっての言葉の意味を考えることができる。
- 2.子どもの言葉を豊かに育む児童文化財について、基礎的な知識を身に付け、保育における児童文化財の意義を理解する。
- 3.言葉で表現する楽しさや言葉の美しさなど、言葉に対する感覚を豊かにする保育実践に関する知識を身につける。

授業概要

- ・乳幼児期における「言葉」の発達過程について学ぶ。
- ・保育者としての言語指導や援助の方法について実践を通して具体的に学ぶ。
- ・絵本の読み聞かせなど保育実践に活かせる基本的指導法について実践を通して基礎技術を養う。
- ・様々な児童文化財があることを知り、教材として実際に作り発表を行うことで保育実践に活かすことができる基礎技術を養う。

学修に関する留意事項

日頃から、子どもの言葉に関心を持つこと。また、子どもの前で絵本や紙芝居を行う際には、多くの児童文化財にも触れ、保育者として豊かに表現できるよう何度も練習を行うことが肝要である。子どもの言葉を豊かにするための教材作りを通し、保育実践に活かすことができる基礎技術を培ってもらいたい。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
手作り絵本制作（到達目標2.3）	20%
手作り絵本発表(到達目標2.3)	20%
中間レポート（到達目標1.2）	20%
期末レポート（到達目標1.2.3）	30%
リフレクションシート（到達目標1.2.3）	10%

テキスト

参考文献

参考URL

幼稚園教育要領解説（平成30年2月）

https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_3.pdf

保育所保育指針解説（平成30年2月）

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202211.pdf>

特記事項

- ・適宜課題に対する講評を行う。
- ・授業担当講師は、保育所保育士としての実務経験あり。

2023年度

子どもと言葉 (Child and Language)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション: 「子どもと言葉」について概要 時間外学習: 保育所保育指針: 幼稚園教育要領 保育内容領域「言葉」を通読する (30分)
2	「子どもの文化」と「児童文化」 時間外学習: 自身が触れてきた児童文化について調査する (60分)
3	子どもの文化財の歴史的背景 時間外学習: 身近な人からわらべうたを教えてもらう (60分)
4	子どもの遊びと生活 時間外学習: 子どもの頃に夢中になっていた遊びについて調べる (30分)
5	子どもの文化財の役割と活用法 時間外学習: 「おはなし」について調べ実践してみる (30分)
6	絵本と子ども 時間外学習: 学校や地域の図書館等で気に入った絵本を見つける (60分)
7	発達に応じた絵本の選び方 時間外学習: 絵本の読み聞かせの練習をしておく (60分)
8	小学校へのつながり 時間外学習: 中間レポートの作成を行う (60分)
9	実技体験: 手作り絵本制作 -計画づくり- 時間外学習: 絵本制作に関わる教材を収集する (60分)
10	実技体験: 手作り絵本制作 -絵本の制作- 時間外学習: 各自の制作状況に合わせ制作を進める (60分)
11	実技体験: 手作り絵本制作 -発表の練習- 時間外学習: 各自の制作状況に合わせ発表の練習をすすめる (60分)
12	実技体験: 手作り絵本の発表 時間外学習: 発表に関するレポートを作成する (60分)
13	実技体験: 手作り絵本の発表 時間外学習: 発表に関するレポートを作成する (60分)
14	実技体験: 手作り絵本の発表 時間外学習: 発表に関するレポートを作成する (60分)
15	まとめ: 学修の振り返り 時間外学習: 期末レポートの作成をする (60分)

2023年度

保育内容総論 (Whole Content)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子、権部 良子、河内 純子								

テーマ

子どもの生活と発達 - 遊びを中心とした保育内容の実践的創造 -

到達目標

子どもの「発達」と保育についての基本的理解を深め、その内容について実際と理念を総合的に理解する。
遊びを中心とした実際の保育実践を資料にして、自己の保育内容観を深める。
様々な保育実践があることに興味を持つ。

授業概要

保育内容の基本構造について各領域と全体的関連について、実際上の内容と理念・構造の理解を深める。
とりわけ「遊びを通して」ということの原理的意味について、実践資料や自分自身の実体験から理解を深める。
保育現場の先生方から実際に話を聞き、様々な保育実践に触れる。

学修に関する留意事項

日頃から機会ある度に乳児・幼児の姿を見て、おもしろいと思ったことを他人に話せるようにしておく。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終レポート(到達目標1.2.3)	60%
授業内課題・授業態度(到達目標1.2.3)	40%

テキスト

参考文献

「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」
出) チャイルド本社

参考URL

特記事項

幼稚園教諭としての実務経験がある(青木、権部、河内)。

2023年度

保育内容総論 (Whole Content)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子、権部 良子、河内 純子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション・幼稚園教育要領と保育所保育指針からみた保育内容 (担当: 全員) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
2	生活・遊びと発達 (担当: 全員) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
3	保育における環境の意味 (担当: 全員) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
4	自然保育から学ぶ 保育における自然体験の位置づけ (担当: 梅林) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
5	自然保育から学ぶ 自然環境と遊ぶ (担当: 梅林) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
6	自然保育から学ぶ これからの自然体験保育の課題 (担当: 梅林) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
7	家庭や地域との連携を踏まえた保育 現在の社会状況 (担当: 権部) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
8	家庭や地域との連携を踏まえた保育 子育て支援から見る過程や地域との連携 (担当: 権部) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
9	家庭や地域との連携を踏まえた保育 小学校への接続を踏まえた保育 (担当: 権部) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
10	様々な遊びに触れる 遊びの種類 (担当: 青木) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
11	様々な遊びに触れる 伝承遊びとは (担当: 青木) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
12	様々な遊びに触れる 遊びから学ぶ (担当: 青木) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
13	保育現場から学ぶ 幼稚園・保育園とは (担当: 全員) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
14	保育現場から学ぶ 認定こども園とは (担当: 全員) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)
15	保育における子ども理解・まとめ (担当: 全員) 時間外学習: 授業の振り返り (30分)

2023年度

音楽表現技術 (Expression Technique in Music)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

テーマ

保育実践に求められる音楽表現技術の基礎 の習得

到達目標

1. 楽典を理解する
2. 読譜・記譜・聴取の基礎を習得する
3. ピアノ演奏技術の基礎を習得する
4. 子どもの歌弾き歌い技術の基礎を習得する

授業概要

保育実践における音楽表現技術の基礎 を習得するための授業。主に一斉授業とピアノ実技レッスンを45分ずつ受講する。一斉授業では、楽典、ソルフェージュによる読譜・記譜・聴取の方法、子どもの歌の歌唱法の基礎を学ぶ。実技レッスンでは、経験度に応じた個人・グループレッスンにおいて、ピアノ演奏技術や子どもの歌弾き歌いの基礎を学ぶ。

学修に関する留意事項

<時間外学習：ピアノ実技レッスン>
毎回の実技レッスンに際し、事前計画・練習（予習）と事後振り返り（復習）を必ず行なって授業に臨むこと。練習時間の目安は毎日30分程度。
<時間外学習：一斉授業>
テキストや配布プリントの練習問題を予習、復習すること。
<成績評価のポイント>
実技レッスンの取り組みには課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性も重視する。
<フィードバック> 楽典試験は返却し回答する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業（一斉・レッスン）の取り組み（到達目標1, 3, 4）	25%
実技試験（到達目標3, 4）	50%
記述試験（到達目標1, 2）	25%

テキスト

歌のカレンダー

出) A・T・N 著) 伊藤嘉子 他

保育・幼児教育のための Music Text - 音楽表現技術・子どもと音楽 -

出) 高田短期大学音楽研究室 著) 高田短期大学音楽研究室・編

参考文献

参考URL

2023年度

音楽表現技術 (Expression Technique in Music)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション - 保育実践における音楽表現技術の基礎 について - 入学前課題確認テスト
2	音・音楽と動き 1 - 拍とリズム - <時間外学習> テキスト「音・音楽と動き」演習課題の記録
3	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン *以下の実技レッスン時間外学習は「学修の留意事項」に記載 一斉授業：楽典1(拍とリズム) <時間外学習> 確認テストのふりかえりと復習(30分)
4	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典2(音符と休符)
5	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典3(音符とリズム) <時間外学習> 理解度確認課題(30分)
6	音・音楽と動き 2 - 子どものうたとリズム - <時間外学習> テキスト「音・音楽と動き」演習課題の記録
7	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典4(拍子とリズム)、ソルフェージュ1(リズムを聞き取る)
8	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典5(拍子とリズム)、ソルフェージュ2(リズムを記譜する) <時間外学習> 理解度確認課題(30分)
9	実技レッスン：中間試験 一斉授業：子どもの歌1(季節の歌) <時間外学習> 試験課題の練習・振り返り
10	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌2(生活・あそびのうた)
11	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典6(コードネーム)、子どもの歌3(歌と伴奏)
12	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典7(コードネーム、音楽記号)、ソルフェージュ2(リズムを記譜する)
13	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典まとめ、ソルフェージュ5(メロディを記譜する) <時間外学習> 楽典・ソルフェージュ試験の準備学習(60分)
14	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典・ソルフェージュ試験
15	まとめ・振り返り <時間外学習> 試験課題の練習・振り返り

2023年度

造形表現技術 (Expression Technique in Art)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	亀澤 朋恵								

テーマ

保育者として造形表現に必要な基礎的な技術を学び、表現活動や実践に生かす。

到達目標

- 1) 造形表現にとって身近な道具や材料の特質を理解できるようになる。
- 2) 保育者として造形表現に必要な基礎的な技術を習得し、活用できる。

授業概要

造形表現に関する基礎的な技術や知識を学び、それらを活かして表現することができるようになる。

学修に関する留意事項

- ・ 授業時間内に完成しなかった場合、時間外で完成し、すみやかに提出してください。
- ・ 汚れても良い(洗濯しやすい)服で受講してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
作品製作【到達目標1)2)】	70%
レポート、ワークシート【到達目標1)2)】	30%

テキスト

ワークシートで学ぶ子どもの造形表現 第2版
出) 開成出版 著) 北沢昌代 畠山智弘 中村光絵

参考文献

参考URL

特記事項

造形で表現する楽しさを保育者として子どもたちに伝えられるよう、まず皆さん自身が「面白そう」「楽しい」「やってみたい」と思ったことを積極的に挑戦してみてください。

2023年度

造形表現技術 (Expression Technique in Art)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	亀澤 朋恵								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	ガイダンス 画材・道具類の説明
2	鉛筆で描く 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
3	フロッタージュ 時間外学習：次回のアイデアスケッチ(60分)
4	コラージュ 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
5	水彩えのぐを使って 時間外学習：次回の構想スケッチ(90分)
6	紙を使った工作 モビールづくり1 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
7	紙を使った工作 モビールづくり2 仕上げ 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
8	クレパスを使って 1 時間外学習：ワークシート(60分)
9	クレパスを使って 2 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
10	クレパスを使って 3 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
11	ねんどを使った造形 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
12	色とかたち 1 色 時間外学習：ワークシート(60分)
13	色とかたち 2 彩色の基礎 時間外学習：次回のアイデアスケッチ(90分)
14	色とかたち 3 色彩構成 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)
15	色とかたち 4 色彩構成 / まとめ 時間外学習：ふりかえりレポート(60分)

2023年度

子どもとあそび (Child and Play)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	浦中 浩一								

テーマ

保育現場、実践に活用できる知識や技術、子どもとあそびについて学ぶ。

到達目標

- (1) 子どもの発達と絵本、パネルシアター、紙皿シアター、5領域を通してあそび等に関する知識と技術を学ぶ。
- (2) 子どもとあそびについての理解
- (3) 子どもの経験や様々な表現活動を結ぶあそびの展開についての知識と技術を習得する。

授業概要

保育に活用できるあそび・言葉・技術等に関する知識や技術を学ぶ。

学修に関する留意事項

実践に近い製作・実技・演習・グループでの発表があります。実際に保育現場で働くことを目的に行います。

教材製作について
パネルシアター・紙皿シアターに必要な教材を各自準備していただきます。Pペーパー、パネルシアター用不織布、アクリル絵の具、紙皿、折り紙。詳しくは1回目の授業で説明します。

評価のポイント
授業への参加態度を重視する。実践向けのあそびへの積極的参加、忘れ物、提出物、授業への取り組み等

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への参加態度(1.2.3)	50%
ミニレポート/製作物提出(1.2.3)	20%
グループワーク(1.3)	10%
確認テスト(2.3)	20%

テキスト

保育園・幼稚園で2歳からたのしい忍者あそびがいっぱい
出)かもがわ出版 著)浦中こういち

参考文献

- 保育所保育指針解説
出)フレーベル館 著)厚労省
- 幼稚園教育要領
出)フレーベル館 著)文部科学省
- 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
出)フレーベル館 著)文部科学省 厚労省
- わくわく・楽しいパネルシアター
出)ナツメ社 著)浦中こういち 小沢かづと
- 1年中作れる! 0から5歳児の製作・造形あそび
出)ナツメ社 著)浦中こういち
- 子どもがおしえてくれましたほんとうの本のおもしろさ
出)偕成社 著)安井素子

参考URL

2023年度

子どもとあそび (Child and Play)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	浦中 浩一								

特記事項

子どものことを中心に考え,実際に保育現場に立つことを考えた授業となります。積極的な授業参加を求めます。
楽しく学びましょう。

現在、絵本作家 / あそび作家として活動しております。

絵本作家として活動をしながら、あそび作家として、全国各地の保育園、幼稚園、こども園、福祉施設等でのあそびライブ、造形ワークショップ、保育士、幼稚園教諭の研修会などの講師を務める。

保育士としての実務経験あり。

2023年度

子どもとあそび (Child and Play)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	浦中 浩一								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子どもの発達と言葉遊びの特性 / 授業の説明とあそびについてのグループワーク 時間外学習：言葉遊びの資料収集と演じ方の練習 (30分)
2	子どもの発達と絵本の特性・理解をテーマとしたグループワーク 時間外学習：絵本の特性・理解を学んだことを踏まえた選書、次回の授業準備 (1時間)
3	子どもの発達とパネルシアターの特性・理解をテーマとしたグループワーク 年齢にふさわしいパネルシアターの選び方1 時間外学習：パネルシアターの理解・準備 (30分)
4	子どもの発達とパネルシアターの特性・理解をテーマとしたグループワーク 年齢にふさわしいパネルシアターの選び方2 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
5	パネルシアター製作 (教材作り、色の塗り方等、グループワーク) 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
6	パネルシアター製作 (教材作り、色の塗り方等、グループワーク) 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
7	パネルシアター製作 (教材作り、色の塗り方等、グループワーク) 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
8	パネルシアターを使っての保育の展開を学ぶ (グループワーク / プレゼンテーション) 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの振り返り、次回の授業準備 (1時間)
9	絵本を使っての保育展開・あそびををテーマとしたグループワーク / あそびについての理解 時間外学習：絵本の特性・理解を学んだことを踏まえた選書、次回の授業準備 (1時間)
10	様々なシアターを使って保育展開をテーマとしたグループワーク 時間外学習：シアターについての資料収集、次回の授業準備 (1時間)
11	紙皿シアター製作 (教材作り、製作の仕方、テキストの作り方、グループワーク) 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
12	紙皿シアター製作 (教材作り、製作の仕方、テキストの作り方、グループワーク) 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
13	紙皿シアターを使っての保育の展開をテーマとしたグループワーク 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備 / 練習 (1時間)
14	模倣あそびを通して保育の展開を学ぶ (演習 / グループワーク) 時間外学習：保育の展開についての資料収集 (30分)
15	学習の総まとめ 時間外学習：学習の振り返り (30分)

2023年度

法学(日本国憲法) (Law (Japanese Constitution))

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長谷川 博								

テーマ

日本の最高法規である日本国憲法の成立背景とその内容について考える。

到達目標

- 1 日本国憲法がどのように成立したか理解する。
- 2 日本国憲法の内容を大日本国憲法の内容と比較しつつ理解する。
- 3 憲法の規定が私たちの暮らしとどのように結びついているか理解する。

授業概要

「マンガでわかる日本国憲法」木山泰嗣監修 池田書店をテキストとして、講義プリントを中心に学習する。

学修に関する留意事項

- 1 テキストと講義プリントを用いて学習を進めます。
- 2 毎時学習する授業内容や関係する条文を事前学習しておいてください。
- 3 講義3回終了ごとに、次の授業で確認テスト（主に記号式）を実施します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験（到達目標1, 2, 3）	60%
確認テスト4回（到達目標3）	20%
授業への取り組み（到達目標1, 2, 3）	20%

テキスト

マンガでわかる日本国憲法 木山泰嗣監修 池田書店

参考文献

日本国憲法

参考URL

2023年度

法学(日本国憲法) (Law (Japanese Constitution))

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長谷川 博								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	終戦と日本国憲法成立について ~ 講義プリントの調べ学習 (30分)
2	終戦と日本国憲法成立について ~ 講義プリントの調べ学習 (30分)
3	日本国憲法前文とその原理について 講義プリントの調べ学習 (30分)
4	天皇の存在とは ~ 戦前と戦後を比較して 講義プリントの調べ学習 (30分)
5	戦争放棄について (第9条1項2項) 講義プリントの調べ学習 (30分)
6	基本的人権とは ~ 自由と権利について考える (第12条) 講義プリントの調べ学習 (30分)
7	差別について考える (第14条) 講義プリントの調べ学習 (30分)
8	請願権や賠償責任について (第16条・第17条) 講義プリントの調べ学習 (30分)
9	日本国憲法と合衆国憲法との関係 講義プリントの調べ学習 (30分)
10	さまざまな自由について (第19条~第21条) 講義プリントの調べ学習 (30分)
11	日本国憲法で定めた夫婦や家族の関係について (第24条) 講義プリントの調べ学習 (30分)
12	生存権とは何か (第25条) 講義プリントの調べ学習 (30分)
13	教育を受ける権利と義務教育について (第26条) 明治以降の日本における教育の歴史について 講義プリントの調べ学習 (30分)
14	憲法で定めた地方自治とは (第92条)・第94条 講義プリントの調べ学習 (30分)
15	憲法改正のしくみ (第96条) 講義プリントの調べ学習 (30分) まとめ (60分)

2023年度

暮らしと数学 (Everyday Life and Mathematics)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	見並 誠								

テーマ

日々の暮らしの中の物事の数量関係や、物体の形、大きさ、変化の様子を数学的に解明することで、生きる力を積みあげる。

到達目標

1. 整数の性質の理解やしくみを知る。規則性のある数の列についてその構造を解明する力を養う。
2. 物体の形や大きさに注意を払い、他の物体との共通性や違いに気づくことができる。
3. 平面図形の面積や簡単な立体図形の体積・表面積の計算ができる。
4. 平面図形や立体の回転・移動など、物体の変化の様子を理解する力を養う。

授業概要

中学および高1の数学内容の学び直しが主な課題の授業です。整数、等積図、点の軌跡、面積、体積など、数学的なことからの基礎的な部分を解説します。学生の皆さんには試行や練習問題を解くなど各課題の解決を実感し、各回ごとに数学力アップをねらいます。こうして身に着けた基礎的な数学力を暮らしの中で生かし、役立たせることが精神的な豊かさの要素となります。また「SPI」対策、「地方公務員試験」対策にもなるでしょう。

学修に関する留意事項

ノートを作ってください。ルーズリーフはなるべく使わないでください。三角定規(2枚組)とコンパスを必要なときは準備してください。授業での教員の説明でわからない部分や疑問に思うことがあれば遠慮なく質問してください。質問内容によっては、成績評価につながります。学力の定着を図るため、毎回の授業後に課題を出します。次の回の授業で提出してください。この課題も成績評価につながります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験(到達目標1、2、3、4)	60%
授業中および、授業外の課題(到達目標1、2、3、4)	40%

テキスト

オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 一般知能
出) 七賢出版 著) 東京アカデミー

参考文献

文系学生のためのSPI3完全攻略問題集
出) 高橋書店 著) 尾藤健
最新! SPI3完全版
出) 高橋書店 著) 柳本新二

参考URL

特記事項

こんなことを考えたことはありませんか。折り紙を四つ折りにしたものの中心部分を切り取ったあと広げたらどんな模様ができるだろうか? こんな疑問にお答えする授業をしたいと思います。地方公務員試験対策にもなります。前半はSPIを意識した内容も織り込みます。

2023年度

暮らしと数学 (Everyday Life and Mathematics)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	見並 誠								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	1. 整数・約数・倍数・剰余 2. 約束記号 3. 記数法 4. 時間外学習(30分)あり。
2	1. 計算パズル 2. 数列 3. 規則性 4. 時間外学習(30分)あり。
3	1. 等積図 2. ジグソーパズル 3. 隠し絵 4. 時間外学習(30分)あり。
4	1. 折り紙にまつわるパズル 2. 点の軌跡 3. 多角形・円の軌跡 4. 時間外学習(30分)あり。
5	1. 正多面体の構造 2. 立方体の積み上げ 3. 時間外学習(30分)あり。
6	1. 正多面体の展開図 2. サイコロや複雑な立体の展開図 3. 時間外学習(30分)あり
7	1. 立体の投影図 2. 立体の陰影 3. 時間外学習(30分)あり。
8	1. 立体の切断 2. 時間外学習(30分)あり。
9	1. 平面図形の回転 2. 立体の回転 3. 立体の移動 4. 時間外学習(30分)あり。
10	1. 立体の表面上の最短経路 2. 一筆書き 3. 時間外学習(30分)あり。
11	1. 直線が構成する平面図形の分析。平行、垂直の位置関係の把握。角度の計量 2. 図形の中の比例関係(相似形を含む)の仕組みと実際 3. 時間外学習(30分)あり。
12	1. 三平方の定理の利用の実際 2. 特殊な三角形の辺の比とその利用 3. 時間外学習(30分)あり。
13	1. 円と直線、円と円によって構成される平面図形の分析。角度、長さ、面積、線分比、面積比等の計算の仕方 2. 時間外学習(30分)あり。
14	1. 立体の体積の公式と実際の計算 2. 相似な立体の面積比・体積比の計算 3. 時間外学習(30分)あり。
15	臨時試験

2023年度

スポーツと健康（講義）(Sports and Health)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	小澤 亮二								

テーマ

様々な角度からスポーツ・健康について主体的に学び、生涯にわたった豊かなスポーツライフのあり方について考察する

到達目標

1. 運動・スポーツの文化的特徴、学び方やスポーツライフの設計について理解している。
2. グループワークの中で自身の考えを持ち、発言することができる。
3. 課題の作成・発表において、適切な課題設定、作成、発表ができる。

授業概要

運動・スポーツの文化的特徴、学び方、スポーツライフの設計について理解を深め、自身の生涯とスポーツとの関わり、健康増進について主体的に学んでいくための授業。
本授業では、各回のテーマにあったグループワークを設け、自身の考えを持ち、発言することや、他者の考えを踏まえて討論することを学ぶ。

学修に関する留意事項

- ・ 定期試験は行わない。
- ・ グループ課題を作成し、発表を行う。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業に対する取り組み・授業内容の理解(到達目標1.2)	40%
グループワーク(到達目標2)	20%
課題の作成・発表(到達目標3)	40%

テキスト

参考文献

参考URL

2023年度

スポーツと健康（講義）(Sports and Health)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	小澤 亮二								

授業計画（半期科目）

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	ガイダンス 授業内容・出欠・取り組み方・評価について 【時間外学習】「スポーツの始まりと変遷」について調べておく(15分)
2	人間にとって「動く」とは何か スポーツの始まりと変遷 【時間外学習】「オリンピック」について調べておく(15分)
3	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解 【時間外学習】「ドーピング」について調べておく(15分)
4	スポーツと経済 ドーピングとスポーツ倫理 【時間外学習】自分の「生活習慣（食事・運動・休養（睡眠））」について調べておく(15分)
5	食事・運動と健康 休養・睡眠と健康 【時間外学習】「喫煙や飲酒が与える健康への影響」について調べておく(15分)
6	喫煙と健康 飲酒と健康 【時間外学習】「欲求と欲求不満」について調べておく(15分)
7	欲求と適応機制 心身の相関とストレス 【時間外学習】「体力トレーニング」の意義について調べておく(15分)
8	技能と体力 体力トレーニング 【時間外学習】「心肺蘇生法」について調べておく(15分)
9	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当 【時間外学習】「生涯スポーツ」について調べておく(15分)
10	生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ 課題発表テーマ決め 【時間外学習】課題作成の準備(15分)
11	課題作成・グループワーク 【時間外学習】課題作成の準備(15分)
12	課題作成・グループワーク 【時間外学習】課題作成の準備(15分)
13	課題作成・グループワーク 【時間外学習】課題発表の練習(15分)
14	グループ課題発表 【時間外学習】課題発表の練習(15分)
15	グループ課題発表

2023年度

発達学習心理学 (Developmental Learning Psychology)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	山口 昌澄								

テーマ

幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

到達目標

乳幼児期・児童期の心身の発達及び学習の過程に関する基礎的な知識を身につけ，各発達段階における心理的特性を踏まえた，効果的な保育実践・教育指導の基礎となる考えを理解することを目的とする。

- 1.心理学における「学習」に関する理論やメカニズムを理解する。
- 2.「発達」と「学習」の関係を理解する。
- 3.子どもにおける心身発達の概要を理解する。
- 4.上記3つの観点をふまえた，効果的な指導方法を具体的に考え・表現する。

学修に関する留意事項

本授業では、レポート、ワークシート、制作教材やプレゼンテーション、小テスト（採点結果は授業中にフィードバックする）など、様々な観点から評価する。参加姿勢も成績へ反映されるので、受講者には積極的な取り組みが求められる。

テキスト

学びと教えて育つ心理学-教育心理学入門-
出) 教育情報出版 著) 小林芳郎 他

授業概要

本講義は，人間発達の諸領域を理解しつつ，その発達と学習について学び，1年次で学習した心理学の発展的・実践的科目として位置づけられる。また子どもの発達や学びを支援する教材制作・プレゼンテーション等を通じ教育実践へ繋がる知見を獲得することをねらいとする。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
子ども支援グッズ（到達目標4）	30%
小テスト（到達目標1，2，3）	30%
ワークシート等提出物（到達目標3、4）	30%
受講態度（到達目標1、2、3、4）	10%

参考文献

子どもの発達の連続性を支える保育の心理学
出) 教育情報出版 著) 浅井 拓久也 他

参考URL

2023年度

発達学習心理学 (Developmental Learning Psychology)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	山口 昌澄								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	心理学における発達と学習の関連 時間外学習：受講前にテキスト第2章 (p.23-25) を読んでおくこと。(15分)
2	子どもにおける心身の発達の過程及び特徴 (フロイト、マラー、ピアジェ等) 時間外学習：受講前にテキスト第2章 (p.26-32) を読んでおくこと (30分)
3	学習理論とその仕組み 時間外学習：受講前にテキスト第3章 (p.49-59) を読んでおくこと。(30分)
4	記憶の発達と理論 時間外学習：受講前にテキスト第2章 (p.32-35) を読んでおくこと。(15分)
5	動機づけと学習 時間外学習：受講前にテキスト第4章 (p.75-77) を読んでおくこと (15分)
6	言語・思考の発達 時間外学習：受講前にテキスト第2章 (p.35-39) を読んでおくこと (15分)、小テストに備え学習内容を復習すること (30分)
7	学習方略とその発達、小テスト1 時間外学習：受講前にテキスト第3章 (p.59-70) を読んでおくこと (30分)
8	個と集団の育ちへの支援 時間外学習：受講前にテキスト第5章 (p.85-91) を読んでおくこと (15分)
9	社会性・道徳性の発達 時間外学習：受講前にテキスト第2章 (p.39-47) を読んでおくこと (30分)
10	学習理論に基づく効果的な指導1 (応用行動分析理論) 時間外学習：受講前にテキスト第9章 (p.147-151) を読んでおくこと (30分)
11	学習理論に基づく効果的な指導2 (応用行動分析実践) 時間外学習：受講前にテキスト第9章 (p.151-158) を読んでおくこと (40分)
12	学習理論に基づく効果的な指導3 (応用行動分析活用例)、受講ワークシート提出 時間外学習：受講内容も参考に、子ども支援グッズ説明用紙を仕上げる (60分)、小テストに備え学習内容を復習すること (30分)
13	「子ども支援グッズ」制作・説明用紙提出、小テスト2 時間外学習：子ども支援グッズを仕上げ、プレゼンテーション準備をしておくこと (90分)
14	「子ども支援グッズ」プレゼンテーション1 - 発表ワークシート提出 時間外学習：プレゼンテーション準備をしておくこと (60分)
15	「子ども支援グッズ」プレゼンテーション2 発表ワークシート提出 時間外学習：プレゼンテーション準備をしておくこと (60分)

2023年度

子ども家庭支援の心理学 (Psychology of Child and Family Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	瀬島 美保子								

テーマ

生涯発達の視点を学び子どもの発達に求められている環境づくりに活かす。

到達目標

- 1.生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解する。
- 2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
- 3.子育て家庭をめぐる現代の社会的状況及び子どもの生活環境と課題について理解する。
- 4.子どもの精神保健とその課題について学ぶ。

授業概要

乳幼児期から老年期までの発達のな特徴を取り上げ、生涯発達について学び子どもの発達にとって重要な役割を果たす家族、家庭について理解する。家族の様相は晩・非婚化などの傾向や離・再婚、養子縁組などをめぐり多様化している。その中で子育て家庭の現状と子どもの生育環境への影響と課題について紹介し、精神保健についても解説する。そして子どもの発達において特別なニーズを必要とする家庭への支援の方法について考える。

学修に関する留意事項

○授業毎に参加と理解度を確認します。授業支援システムで出題した質問に回答して下さい。課題への取り組みとして評価します。
○授業支援システムに授業ノートを掲載してあります。授業はこれに沿って進めます。各自プリントして使うことを勧めます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題への取り組み (到達目標 1.2.3.4.)	50%
レポート (到達目標 1.2.3.4.)	50%

テキスト

子ども家庭支援の心理学 新・基本保育シリーズ
出) 中央法規 著) 白川佳子・福丸由佳 編集

参考文献

家族の心理
出) 金剛出版 著) 小田切久子・野口康彦・青木聡 編

母子臨床と世代間伝達
出) 金剛出版 著) 渡辺久子

子どもの発達と保育カウンセリング
出) 金子書房 著) 次良丸睦子・五十嵐一枝・加藤千佐子・高橋君江共著

参考URL

虐待を受けた子どもたち 統計データ 子ども虐待について <http://www.orangeribbon.jp/about/child/data.php>

特記事項

人は生涯をかけて変化し発達します。時期に応じて発達課題があり乗り越えれば成長できるものです。子どもたちが生きる力を獲得していけるように、また子育てを通して親が親としての課題を乗り越えていけるように支えて欲しいと思います。それが保育・教育及び福祉の専門職である私たちの課題だと言えます。

生涯発達の意味を概観して自分の道筋を考えるきっかけになれば良いと思います。一緒に成長できるようにしたいですね。

2023年度

子ども家庭支援の心理学 (Psychology of Child and Family Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	瀬島 美保子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	授業内容：乳幼児期の発達 時間外学習：テキストP1-13を読み理解しておく(30分)。言葉や社会性を身につけていく上でこの時期の重要な発達の特徴を説明できるようにしておく。
2	授業内容：幼児期の発達 時間外学習：テキストP15-26を読み理解しておく(30分)。誕生時に子どもが複雑な問題を抱えていると、母子関係の相乗的相互作用に悪循環が生じやすく、子どもの発達の遅れにつながる可能性があると言われている。理由を説明できるようにしておく。
3	授業内容：学童期の発達 時間外学習：テキストP27-39を読み理解しておく(30分)。校種間移行時の不適応と解決への取り組みについて説明できるようにしておく。
4	授業内容：青年期の発達 時間外学習：テキストP41-52を読み理解しておく(30分)。自分のアイデンティティについて考えてみる。
5	授業内容：成人期・中年期の発達 時間外学習：テキストP53-64を読み理解しておく(30分)。現代において成人期・中年期にはどのような課題があるか説明できるようにしておく。
6	授業内容：高齢期の発達 時間外学習：テキストP65-76を読み理解しておく(30分)。高齢期の心の発達について、特に若本(2014)が述べていることを説明できるようにしておく。
7	授業内容：家族・家庭の意義と機能 時間外学習：テキストP77-88を読み理解しておく(30分)。支援者として家庭をどのようにとらえ向き合っていけばよいのか説明できるようにしておく。
8	授業内容：家族関係・親子関係の理解 時間外学習：テキストP89-100を読み理解しておく(30分)。夫婦共働きをしながら子育てをしていく場合どのような課題があるか説明できるようにしておく。
9	授業内容：子育て経験と親としての育ち 時間外学習：テキストP101-113を読み理解しておく(30分)。子育ては親自身の人格的発達をも促すものと考えられている。このことを説明できるようにしておく。
10	授業内容：子育てを取り巻く社会的状況 時間外学習：テキストP115-126を読み理解しておく(30分)。子ども・子育てを支援するためにどのような制度や取り組みがあるか説明できるようにしておく。
11	授業内容：ライフコースと仕事・子育て 時間外学習：テキストP127-138を読み理解しておく(30分)。ライフコースの視点を活かした子育て支援とはどういうことか説明できるようにしておく。
12	授業内容：多様な家庭とその理解 時間外学習：テキストP139-150を読み理解しておく(30分)。ステップファミリーの子どもたちの3つのLとは何か説明できるようにしておく。
13	授業内容：特別な配慮を要する家庭 時間外学習：テキストP151-162を読み理解しておく(30分)。マルチリートメントについて説明できるようにしておく。
14	授業内容：子どもの生活・生育環境とその影響 時間外学習：テキストP163-174を読み理解しておく(30分)。心配されているソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)はどのように危険か説明できるようにしておく。
15	授業内容：子どもの健康にかかわる問題 時間外学習：テキストP175-186を読み理解しておく(30分)。保育現場で子どもの問題行動に出会った時どのように対処すべきだろうか。説明できるようにしておく。

2023年度

保育内容 - 健康 (Content - health)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	榊原 尉津子								

テーマ

乳幼児期の心とからだの健康について学ぶ

到達目標

- (1) 乳幼児教育における「健康」の位置づけ、領域「健康」のねらい及び内容を理解する
- (2) 乳幼児期の身体・運動発達と理想とする生活習慣を理解する
- (3) 乳幼児の発育発達の特徴を理解し、子どもの遊びや生活習慣の指導の工夫やあり方を理解する

授業概要

領域「健康」について教育要領および保育指針、認定こども園教育・保育要領を踏まえ、現代の乳幼児が置かれている環境を考えながら、生涯にわたる健康なからだの基礎となる乳幼児の健康について考える。将来保育者として大切ないのちを預かる職に就くことを理解し、子どもの「いのち」について考えるとともに、子どもの遊びや基本的な生活習慣、食生活および安全対策についての指導と援助について検討し、理解を深めていく。

学修に関する留意事項

- 【評価について】
- ・課題、グループワークへの積極的な取り組みを評価する。
 - ・学びの記録、小レポート、課題提出、授業支援システムへのアクセス（コメント書き込み）を評価する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
(1) 学びの記録（到達目標1.2.3）	30%
(2) 小レポート（到達目標2.3）	30%
(3) 課題への取り組み（到達目標2.3）	20%
(4) グループワーク（到達目標3）	20%

テキスト

必要に応じて資料を配付および授業支援システムより配信する。

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド本社 著) 文部科学省、厚生労働省、内閣府

アイディア満載! 教育・保育実習サポートレシピ
出) 福村出版 著) 杉山佳菜子

参考URL

特記事項

- ・欠席した時は、担当教員に欠席回の授業内容や課題等について受講生自らが確認すること。
- ・15回の学びが無い場合は、目標達成とは認めません。到達目標が100%となるよう努力すること。
- ・遅刻、欠席の扱いについては、授業開始時刻から15分までを遅刻とし、それ以降は欠席として処理する。遅刻3回で欠席1回とする。
- ・体育館での授業の時は、保育者として相応しい服装と態度で参加すること。

2023年度

保育内容 - 健康 (Content - health)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	榊原 尉津子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	授業内容：オリエンテーション - 授業計画と目標 - ・ 授業内容と成績評価の方法について理解する。 時間外学習：事前にシラバスを読み、授業内容について確認をしておく (30分)
2	授業内容：領域「保育内容-健康」について理解を深める 時間外学習：小レポート作成 (50分)
3	授業内容：教育・保育現場における子どもの健康 実習日誌から学ぶ 時間外学習：実習日誌より領域「健康」に関する園での取り組みについて情報収集しておく (1時間)
4	授業内容：教育・保育現場における子どもの健康 ICTを活用した学習への取り組み (グループワーク) 時間外学習：園だよりに関する情報収集 (1時間)
5	授業内容：教育・保育現場における子どもの健康 園だより作成 (グループワーク) 時間外学習：園だより作成 (1時間)
6	授業内容：教育・保育現場における子どもの健康 園だより発表 (グループワーク) 時間外学習：小レポート作成「作成・発表の振り返り」 (1時間)
7	〔施設実習期間中の授業について〕 授業支援システムの活用 授業内容：子どもの事故とケガ 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
8	授業内容：子どもの生活習慣 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
9	授業内容：子どもの病気と予防 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
10	授業内容：子どもの食と排泄 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
11	授業内容：子どもの睡眠 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
12	授業内容：子どもの衣類の着脱 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
13	授業内容：実習先で戸惑うこと 時間外学習：配信された課題に取り組む (1~2時間)
14	授業内容：領域 - 健康の意義と小学校教育との関連について 時間外学習：小レポート作成 (1~2時間)
15	授業内容：授業振り返り (小レポート作成) 時間外学習：授業を振り返り、自身の学びや気づき、反省をまとめておく (30分)

2023年度

保育内容 - 環境 (Content - environment)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	曾我 基子								

テーマ

子どもの発達と保育内容としての環境の意味

到達目標

1. 乳幼児の発達に応じた領域「環境」のねらい及び内容並びに全体構造を理解し総合的に保育を展開していくための知識、技能、判断力を身に付ける。
2. 乳幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。

授業概要

乳幼児の生活と発達における環境の意味を探る。子どもの生活環境の実情をふまえ、子どもの生活体験、遊び体験の変容と問題を検討する。保育実践として環境と遊びの問題をどのように取り組んでいけばよいか、実践と子どもの事実と即して検討する。複数回にわたり、領域「環境」に関連した映像資料を介したグループ討議を行う。実際に体験した自然現象や動植物を情報機器を使って子どもの認識を広げ深める方法を学ぶ。

学修に関する留意事項

本授業は、具体的な活動などを伴う授業内容のため、協働する姿勢や態度、主体的で積極的な授業参加と課題提出を期待します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題への取り組み（到達目標 1、2）	60%
グループワーク（到達目標 1、2）	40%

テキスト

事例で学ぶ保育内容 領域 環境

出) 萌文書林

著) 武藤隆監修 福本真由美編集代表

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領原本

出) チャイルド社

参考URL

特記事項

保育士としての実務経験があります。

2023年度

保育内容 - 環境 (Content - environment)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	曾我 基子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	領域「環境」の意義 (時間外学習) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の環境について事前に読む(1時間)
2	保育環境の構成 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
3	「環境」と乳幼児理解(1) 保育者の役割 (時間外学習) グループワークの振り返りと整理(1時間)
4	「環境」と乳幼児理解(2) 2物的環境・時間空間の認識等 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
5	「環境」をめぐる現代的な課題 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
6	生活の環境づくり(1) 食事・着脱・排泄 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
7	生活の環境づくり(2) 伝達・共有の場 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
8	あそびの環境づくり(1) 室内あそび・製作あそび (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
9	あそびの環境づくり(2) 2戸外あそび (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
10	あそびの環境づくり(3) 3自然と触れ合うあそび (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
11	学びを支える保育環境(1) 思考力の芽生え (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
12	学びを支える保育環境(2) 文字・標識・数・量・図形 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
13	学びを支える保育環境(3) 0・1・2歳児の保育環境 (時間外学習) 構想と原案作成(1時間)
14	地域・行事に関わる保育的意義について (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)
15	乳幼児期の安全環境 (時間外学習) 授業の学びと振り返り(1時間)

2023年度

教育・保育カリキュラム論 (Curriculum in Education and Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	竇来 敬章、古谷 淳								

テーマ

保育の基本的な考え方と計画の理解

到達目標

1. カリキュラムの基礎理論を確認する。
2. 長期・短期の指導計画の関係、指導計画の基本的な考え方・意義、カリキュラムマネジメントの重要性について理解する。
3. 子ども理解のもとに指導計画を立案・作成し、保育実践に活かす力を身につける。

授業概要

- ・ 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育
- ・ 保育要領を基本として、教育課程・全体的な計画の意義を理解し、保育の現場における計画を理解する。
- ・ 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育
- ・ 保育要領の理解のもと、教育課程・全体的な計画を理解し、各年齢に合った保育の計画を立案作成する。

学修に関する留意事項

授業への取り組みは積極的な授業態度や課題の提出を含む。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験（到達目標1.2）	60%
授業への取り組み（到達目標 1.2.3）	40%

テキスト

参考文献

「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」
出) チャイルド本社

参考URL

特記事項

- ・ 第1回から第7回までは竇来が担当し、第8回から第15回までは古谷が担当します。
- ・ 古谷は保育士としての実務経験があります。

2023年度

教育・保育カリキュラム論 (Curriculum in Education and Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章、古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	幼稚園の基本 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
2	教育課程について (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
3	遊びや活動のカリキュラム (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
4	カリキュラムマネジメント (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
5	評価と省察 (時間外学習) 構想と原案作成 (1時間)
6	計画的な教育実践に向けて (時間外学習) 構想と原案作成 (1時間)
7	小学校との接続について (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
8	保育所保育の基本 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
9	全体的な計画について (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
10	保育課程と指導計画の実際 (時間外学習) 授業内容の理解 (1時間)
11	保育所における指導計画の作成の基本と方法 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
12	0・1・2歳児保育における指導計画の考え方 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)
13	指導計画の作成 (時間外学習) 構想と原案の作成 (1時間)
14	指導計画の作成 (時間外学習) 構想と原案の作成 (1時間)
15	まとめとして今までの学修内容についてのディスカッション (時間外学習) ディスカッション後の学びの振り返り (1時間)

2023年度

乳児保育演習 (Seminar in Early Childhood Care)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加								

テーマ

乳児の成長発達や生活の連続性に配慮した乳児保育

到達目標

- 1.乳児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりについて理解する。
- 2.乳児の生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する
- 3.乳児保育における配慮の実際について具体的に理解する。
- 4.上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。

授業概要

乳児保育の基本を学び、子どもの発育・発達を踏まえた生活や遊びの実際を知る。また乳児保育における配慮の実際を学ぶ。

学修に関する留意事項

グループワークには積極的に参加してください。
演習テーマに関する課題はその都度説明します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習・提出物【到達目標1・2・3】	60%
試験【到達目標1・2・4】	40%

テキスト

健やかな育ちを支える乳児保育
出) 建帛社 著) 高内正子・梶美保

参考文献

その都度紹介します

参考URL

特記事項

助産師・看護師として実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、乳児の成長・発達の特徴をふまえ具体的な支援方法の講義・演習を行う。

2023年度

乳児保育演習 (Seminar in Early Childhood Care)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	乳児保育の一日 0～2歳児クラスの一日の生活のながれについて学ぶ 時間外学習 教科書第10章を読む 30分
2	生活と援助 乳児保育の生活の援助 食事について学ぶ 時間外学習 教科書第11章を読む 30分
3	生活と援助 乳児保育の生活の援助 排泄について学ぶ 時間外学習 教科書第11章を読む 30分
4	生活と援助 乳児保育の生活の援助 清潔について学ぶ 時間外学習 教科書第11章を読む 30分
5	生活と援助 乳児保育の生活の援助 環境について学ぶ 時間外学習 教科書第11章を読む 30分
6	乳児保育における生活と遊び 乳児保育にふさわしい遊びについて学ぶ 時間外学習 教科書第14章を読む 30分
7	乳児保育における生活と遊び 乳児保育にふさわしい遊びについて学ぶ 時間外学習 教科書第14章を読む 30分
8	乳児保育における生活と遊び 乳児保育にふさわしい絵本について学ぶ 時間外学習 教科書第15章を読む 30分
9	乳児保育における生活と遊び 乳児保育にふさわしいおはなしについて学ぶ 時間外学習 教科書第15章を読む 30分
10	乳児保育における生活と遊び 乳児保育にふさわしい言葉遊びについて学ぶ 時間外学習 教科書第15章を読む 30分
11	乳児保育における配慮 保護者との連絡方法について学ぶ 時間外学習 教科書17章を読む 30分
12	乳児保育における指導計画 長期的・短期的な指導計画の立て方について学ぶ。 時間外学習 教科書16章を読む 30分
13	乳児保育における指導計画 個別的・集団的な指導計画の立て方について学ぶ。 時間外学習 教科書16章を読む 30分
14	乳児保育における指導計画と実際 指導計画に基づいて模擬保育を行う 時間外学習 指導計画を実施するための準備 30分
15	乳児保育における指導計画と実際 指導計画に基づいて模擬保育を行う 時間外学習 指導計画を実施するための準備 30分

2023年度

特別支援教育と障害児保育 (Special Needs Education and Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	齋藤 真寛								

テーマ

発達が気になる子や心身に障害がある子どもの特徴と育ちを理解する

到達目標

1. 様々な障害について理解する
2. 障害に合った合理的配慮について考えることができるようになる
3. 発達を促す適切な保育の技術を身につける
4. 他機関との連携を意識した個別の支援計画を立てることができる

授業概要

心身に障害がある子どもの特徴と育ちについて解説する。事例を通して合理的配慮を意識した保育の仕方を考え、実践するための保育の技術を学ぶ。援助の実際を事例を通して理解する。また、障害がある子どもの発達を支える社会資源ならびにそれらの連携について解説する。

学修に関する留意事項

日頃から合理的配慮やユニバーサルデザインに関心を持つこと。授業への参加度は、積極的な発言やグループワークへの貢献度で評価するため、積極的な態度で臨んでもらいたい。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（おもに到達目標1～3）	40%
小テスト（到達目標1～4）	30%
グループワーク（到達目標1～4）	30%

テキスト

障害児保育 演習ブック

出) ミネルヴァ書房

著) 松本峰雄: 監修 増南太志: 編著

参考文献

参考URL

特記事項

資料等については、講義内で適宜提示する。

知的障害児入所施設、障害者相談支援センターなどを経て、現在は児童発達支援センターを運営し、障害がある子どもたちの発達支援、家族支援、地域連携支援を行っています。
子ども家庭分野専門の認定社会福祉士としては、スクールソーシャルワーク、ヤングケアラー、生活困窮、未成年後見等の分野で啓発や講演の活動を行っています。

2023年度

特別支援教育と障害児保育 (Special Needs Education and Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	齋藤 真寛								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 授業の進め方、学習方法について。この授業で何を学ぶのかの概要を理解する。 <時間外学習> 授業内容の復習 (60分)
2	障害児保育を支える理念 小テスト実施 <時間外学習> テキスト1コマ目を通読し、演習課題「不当な差別的取り扱い」について考える (60分)
3	知的障害児 / 言語障害 / 場面緘黙のある子どもの理解と支援 小テスト実施 <時間外学習> テキスト2コマ目および5コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
4	肢体不自由児 / 重症心身障害児 / 医療的ケア児 / 視覚障害児 / 聴覚障害児の理解と支援 小テスト実施 <時間外学習> テキスト3コマ目および4コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
5	発達障害児の理解と支援 : ASD 小テスト実施 <時間外学習> テキスト6コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
6	発達障害児の理解と支援 : ADHD / SLD 小テスト実施 <時間外学習> テキスト7コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
7	合理的配慮とユニバーサルデザイン <時間外学習> 身近にどのようなユニバーサルデザインがあるのかレポートにまとめる (60分)
8	生活課題を抱える家庭の子どもの理解と援助 小テスト実施 <時間外学習> テキスト8コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
9	子ども同士の関わりと育ち合いと子どもをみる視点 小テスト実施 <時間外学習> テキスト9コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
10	指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働 小テスト実施 <時間外学習> テキスト10コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
11	保護者や家族に対する理解と支援、保護者間の交流や支え合い <時間外学習> テキスト11コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
12	障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の連携・協働 小テスト実施 <時間外学習> テキスト12コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
13	小学校等との連携、就学に向けて 小テスト実施 <時間外学習> テキスト13コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
14	特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題 小テスト実施 <時間外学習> テキスト14コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)
15	支援事例からみる実際の対応 <時間外学習> テキスト15コマ目を通読し、演習課題の事例について考える (60分)

2023年度

社会的養護の内容と方法 (Contents and Methods in Social Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

テーマ

子どもの最善の利益を考え、子どもとその家庭を取り巻く現状や課題等について理解を深める。社会的養護の現場で求められる視点や支援の方法について一緒に考えていく。

到達目標

1. 社会的養護の現状と課題について考えることができる。
2. 保育士・幼稚園教諭に必要な社会的養護の知識・技術を身につける。
3. 社会的養護にかかわる専門職の専門性や役割について理解する。

授業概要

社会的養護の背景を理解し、関連する制度や施策、施設の役割や機能、専門職の専門性や役割について学び、支援者として必要な社会的養護の視点について考えていく。

学修に関する留意事項

グループワークでの積極的な取り組みを評価する。
予習：グループでの調査・発表に積極的に参加することができるよう、関連する文献等で調べ準備をしておくこと。
復習：講義で学んだ内容をもとに、関連する文献等で学びを深めたり、身近な事例と照らし合わせながら理解に努めること。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
グループワーク（到達目標 1 . 2 . 3）	50%
課題への取り組み（到達目標 1 . 2 . 3）	50%

テキスト

参考文献

社会的養護
出) みらい

著) 喜多一憲・監修 堀場純矢・編集

参考URL

「社会的養護の課題と将来像」

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/syakaiteki_yougo/dl/08.pdf

「新しい社会的養育ビジョン」

<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11905000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Kateifukushika/0000173865.pdf>

特記事項

資料等については、講義内で適宜提示する。

2023年度

社会的養護の内容と方法 (Contents and Methods in Social Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	自己覚知と他者理解 (予習: テキストやシラバスを読んでおく(30分)) (復習: 講義で学んだことを振り返る(30分))
2	社会的養護の背景と現状 (予習: 昨年度受講した子ども家庭福祉や社会的養護の講義内容を振り返り、身近にある社会的養護の問題について整理しておく(60分)) (復習: 社会的養護の現状と課題について理解する(60分))
3	子どもの権利条約 (予習: 子どもの権利条約について調べておく(60分)) (復習: 子どもの権利条約について理解を深める(60分))
4	子どもの権利条約 (予習: 前回学んだ子どもの権利条約について振り返る(60分)) (復習: 子どもの権利条約について理解する(60分))
5	施設養護とは (予習: 児童福祉法に定められる各施設の設置根拠とその目的を調べておく(60分)) (復習: 各施設の機能や役割等について理解する(60分))
6	家庭養護とは (予習: 里親、ファミリーホーム、特別養子縁組等について、社会的養護で学んだことを復習しておく(60分)) (復習: 家庭養護の現状と課題、関連する制度や施策について理解する(60分))
7	日常生活の中での支援 (予習: 社会的養護の背景について、対象者が抱える諸問題を復習しておく(60分)) (復習: 支援対象者が抱える生活問題への理解を深める(60分))
8	治療的支援とは (予習: 被虐待児支援について、社会的養護や子ども家庭福祉等で学んだことを復習しておく(60分)) (復習: 現場実践における「治療的支援」について、具体的なイメージをもつことができるようにする(60分))
9	自立支援と自立支援計画とは (予習: 児童の「自立」について、これまでに学んだ内容をもとに整理しておく(60分)) (復習: 支援における「自立」について、具体的なイメージをもつことができるようにする(60分))
10	自立支援と自立支援計画とは (予習: 前回の講義内容を整理し、児童の「自立」を支援することを具体的にイメージしておく(60分)) (復習: 自立支援計画を利用した支援について、具体的なイメージをもつことができるようにする(60分))
11	支援の記録と自己評価 (予習: これまで実習の記録について指導を受けた内容を整理し、記録を残すことにどのような意味があるのかを整理しておく(60分)) (復習: 記録の目的やその活用等について理解し、それらを踏まえた記録を書くためにどのような技術が必要かを考える(60分))
12	社会的養護のかかわる専門職に大切なこと (予習: 実習を振り返り、施設職員がどのような視点でどのような支援をおこなっていたのかを整理しておく(60分)) (復習: 各専門職の専門性を理解し、チームの一員としてチームアプローチをおこなうために、具体的なイメージをもつことができるようにする(60分))
13	社会的養護とソーシャルワーク (予習: 実習を振り返り、社会福祉専門職がどのような支援をおこなっていたのかを整理しておく(60分)) (復習: 社会的養護における社会福祉専門職の専門性とソーシャルワーカーの意義・役割について理解する(60分))
14	社会的養護と地域支援 (予習: 実習を振り返り、実習先施設が地域社会・資源とどのようなかかわりをしていたのかを整理しておく(60分)) (復習: 社会的養護における地域支援の現状と課題について理解する(60分))
15	社会的養護の課題と展望 (予習: これまで学んだ内容を整理しておく(60分)) (復習: これまでの学びや実習を振り返り、社会的養護の課題と展望について自分の言葉で説明できるようにする(60分))

2023年度

子どもと音楽 (Child and Music)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

テーマ

子どもの音楽活動を支える音楽表現技術と実践方法の習得

到達目標

1. 保育におけるリズム楽器の奏法と実践方法の習得
2. 子どものリズム活動に活かせるピアノ奏法とアレンジ方法の習得
3. 子どもの歌唱活動を支える弾き歌い技術習得とレパートリー拡充
4. 音・音楽でイメージ豊かに表現ができること

授業概要

1年次「音楽表現技術」での学習内容を踏まえ、保育実践のための技術・表現力・方法を習得する。一斉授業ではリズム楽器奏法や楽器遊びの方法を学び、実技レッスンでは子どものリズム活動や歌唱活動を支えるピアノ技能の習得を行う。

学修に関する留意事項

< 授業計画 >

上記の授業計画は履修人数や施設実習時期等の理由により、内容や順序を変更する場合があります。

< 時間外学習：実技レッスン >

技能の習得には日々の積み重ねが大切です。毎回の実技レッスンに際し、事前計画・練習（予習）と事後振り返り（復習）を毎日30分以上行なって授業に臨むこと。

< 成績評価のポイント >

実技レッスンは取り組み状況（課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性）も重視する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
一斉授業の課題提出（到達目標1）	50%
実技試験（到達目標2・3）	35%
実技レッスン取り組み（到達目標2・3）	15%

テキスト

歌のカレンダー

出）エーティーエヌ 著）伊藤嘉子 他編

保育・幼児教育のためのMusic Text

著）高田短期大学音楽研究室

参考文献

参考URL

特記事項

- ・ 本科目は音楽表現技術、の発展・応用科目です。
- ・ 就職試験の音楽実技課題のレッスン等は、授業外でも対応しますので、随時相談してください。

2023年度

子どもと音楽 (Child and Music)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーションー1年次の振り返りと保育者に必要な音楽表現技術および習得方法についてー
2	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器による音楽遊び1 <時間外学習>下記「学修に関する留意事項」を参照の上、取り組むこと。
3	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器による音楽遊び2 <時間外学習>振り返りシート作成(15分以上)
4	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器による音楽遊び3 <時間外学習>振り返りシート作成(15分以上)
5	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器による音楽遊び4 <時間外学習>振り返りシート作成(15分以上)
6	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器による音楽遊び5 <時間外学習>振り返りシート作成(15分以上)
7	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器による音楽遊び6 <時間外学習>振り返りシート作成(15分以上)
8	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:振り返りシートの共有と課題考察
9	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:振り返りシートの共有と課題考察
10	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器を用いた表現活動1 考案
11	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器を用いた表現活動2 考案
12	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器を用いた表現活動3 練習
13	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器を用いた表現活動4 発表
14	実技レッスン:コース別課題(リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等)によるグルーブレッスン。<時間外学習>下記参照 一斉授業:リズム楽器を用いた表現活動5 発表
15	成果発表(歌唱とピアノ演奏の試験)と総括

2023年度

ゼミナール - A (Seminar - A)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 耐津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

テーマ

保育や幼児教育に関する課題研究

到達目標

1. 保育・幼児教育に関する課題研究に主体的に取り組むことができる。
2. 課題の探求において、思考・判断・表現する力を高める。
3. 他者とのかかわりを通して、保育者、社会人としての基礎能力を身につける。

授業概要

1年次ゼミナール授業を土台とし、保育や幼児教育に関する課題の研究を行う。少人数での演習形式を活かし、ディスカッションやグループワーク等、他者とのかかわりを通じた学びにより保育者、社会人としての基礎能力習得を行う。

学修に関する留意事項

- ・本授業は、学生の自主的な態度、能動的な取り組みを重視する。
- ・課題の研究は、自ずと時間外学習が必要である。自ら、学びを深めるための学習を行うこと。
- ・本授業を通じて、各自、積極的にボランティア活動を行うこと。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題研究およびレポート作成（到達目標1、2）	60%
授業への取り組み（到達目標2、3）	20%
グループワーク（到達目標3）	20%

テキスト

必要に応じて資料を配付する。

参考文献

参考URL

2023年度

ゼミナール - A (Seminar - A)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション - 2年次前期の計画と目標 -
2	保育・幼児教育に関する課題についてのグループワーク -1年次授業での学びから-
3	保育・幼児教育に関する課題についてのグループワーク -1年次授業での学びから- 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
4	保育・幼児教育に関する課題についてのプレゼンテーション-現代的課題から- 時間外学習：保育・幼児教育に関する課題についての小レポートの作成 (2時間)
5	研究課題の設定と研究方法
6	研究課題の設定と研究方法 時間外学習：研究テーマ・研究方法に関する小レポートの作成 (2時間)
7	【施設実習期間中】オンラインによる授業の実施 社会人としての基礎力演習 -コミュニケーションについて-
8	社会人としての基礎力演習 -「伝える」ためのスキル・プレゼンテーション- 時間外学習：プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
9	社会人としての基礎力演習 -「伝える」ためのスキル・グループディスカッション- 時間外学習：コミュニケーションについての小レポートの作成 (2時間)
10	課題研究演習A - 情報収集について__文献調査 時間外学習：文献調査および文献リストの作成 (1時間)
11	課題研究演習A - 情報収集について__フィールドワーク 時間外学習：フィールドワーク (1時間)
12	課題研究演習A - 情報整理およびプレゼンテーション 時間外学習：プレゼンテーションの準備・練習 (1時間)
13	課題研究演習A - 研究テーマによる演習
14	課題研究演習A - 研究テーマによる演習
15	まとめ - 2年次前期の学びの振り返り - 時間外学習：前期の学びについての小レポートの作成 (2時間)

2023年度

教育実習指導（2）（Guidance of Teaching Practice）

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

テーマ

教育実習 の事前指導・事後指導

到達目標

1. 幼稚園教育の基本、目的、幼児の発達、園生活の流れ、幼稚園教諭の職務を理解する。
2. 教育実習の意義や目的を理解し、自己課題を明確にする。
3. 幼児教育者として保育観、教育観を構築する。

授業概要

教育実習の心得や望ましい実習態度について学ぶと同時に、実習にあたって幼稚園教育要領の理解、環境を通して行う教育、幼児理解、幼稚園教諭の職務等理解を深める。以上の目的において、日誌や計画の立案、振り返りについて学習する。

学修に関する留意事項

授業前に「実習の心得」を読み、予習した上での授業参加を望みます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験（到達目標1）	40%
授業への取り組み（到達目標1.2.3）	30%
提出物（到達目標2.3）	30%

テキスト

実習の心得

参考文献

文部科学省「幼稚園教育要領解説」
出）フレーベル館

参考URL

特記事項

- ・「実習にあたって」「事前訪問報告書」のいずれか片方でも提出期限が遅れた場合は、不合格とします。
- ・「教育実習指導（2）」が不合格となった場合、教育実習 を受けることはできません。
- ・幼稚園教諭としての実務経験があります。

2023年度

教育実習指導（2）（Guidance of Teaching Practice）

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

授業計画（フリーフォーマット）

- 第1回：教育実習 の意義と自己課題について
〔時間外学習〕教育実習 を振り返り自己課題を考える
(1時間)
- 第2回：教育実習 における実習形態について
〔時間外学習〕実習園の教育方針を調べ理解する(1時間)
- 第3回：部分実習の指導案の作成
〔時間外学習〕指導計画を考える(1時間)
- 第4回：部分実習の指導案についてのグループワーク
〔時間外学習〕実践内容の検討(1時間)
- 第5回：部分実習の実践
〔時間外学習〕実践内容の振り返りと評価(1時間)
- 第6回：部分実習の実践
〔時間外学習〕実践内容の振り返りと評価(1時間)
- 第7回：部分実習の実践
〔時間外学習〕実践内容の振り返りと評価(1時間)
- 第8回：一日実習の内容と指導計画案の記述方法について(1時間)
〔時間外学習〕「実習の心得」を再度読み確認(1時間)

2023年度

教育実習 (Teaching Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	通年	単位数	3	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

テーマ

幼稚園における観察・参加・部分・責任実習等

到達目標

- 1.教育実習 の学びを活かして、幼稚園教育の基本を理解する。
- 2.幼児の発達や集団の特徴を踏まえ、環境構成及び援助の在り方を学ぶ。
- 3.幼児一人一人の個性・特徴を理解した上で、計画の立案や活用方法を学び、活動を実践する。
- 4.家庭や地域と連携を図りながら、幼児教育に携わる幼稚園の実態に触れる。
- 5.幼稚園教諭としての専門性や資質を理解し、自らの保育観・教育観を持つようになる。

授業概要

本実習では、教育実習 の経験や学内で学習した内容を活かしながら、幼稚園における教育実践を体験することをねらいとする。また、幼児の実態に即した指導計画の作成・環境構成・指導の実際について体験を通して学び、反省と評価を繰り返しながら、幼稚園教育の実際を総合的に学ぶ。

学修に関する留意事項

教育実習指導 の学びを活かして事前準備・事後学習に努めることを望みます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習園の実習評価	70%
実習日誌・実習の振り返り	30%

テキスト

『実習の心得』

参考文献

文部科学省『幼稚園教育要領解説』

参考URL

特記事項

「教育実習指導(2)」が不合格の場合、また1年生後期における幼稚園免許必須科目が3科目以上不合格の場合は「教育実習」は受けられません。
「教育実習」の単位を修得していない場合は「教育実習」を履修することができません。

2023年度

教育実習 (Teaching Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	通年	単位数	3	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

授業計画 (フリーフォーマット)

- 1) 実習先：原則として学生の出身地域の公立・私立幼稚園、認定こども園
- 2) 実習期間：2023年9月4日(月)～9月22日(金)3週間
- 3) 事前訪問：2023年7月下旬から8月下旬までの園の都合が良い日
- 4) 事前訪問の概要：実習園を訪問し、園長先生からオリエンテーションを受ける
 園の概要・教育方針・教育課程(年間指導計画、週案、日案、主な行事等)
 実習生としての心構えとマナー(職務・服装・持ち物・態度・その他留意点等)
 実習の流れ(幼児の実態、幼児への関わり方、安全配慮等の留意点等)
 配属クラス・部分実習や責任実習の有無・実習訪問の都合の悪い日の確認
- 5) 実習内容(園によって多少違いがある)
 幼児の様子を観察し、幼児の発達を理解する。
 幼稚園での勤務を体験しながら、幼稚園教諭の職務の実際を学ぶ。
 担任教諭の指導を受けて、参加実習・部分実習を体験する。
 部分実習・責任実習の指導案を書き、幼児への指導の実際を体験する。
 降園後、環境整備や翌日の環境構成の手伝いを積極的に行い、1日の実習を反省する。
 実習日誌を書き、翌日担任教諭に提出して指導を受ける。

2023年度

保育実習 (Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	4	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子、中嶋 麻衣								

テーマ

【保育実習 (施設)】児童福祉施設等における観察・参加・部分実習・責任実習等

到達目標

1. 施設の概要・機能について実践をとおして理解し、社会的養護の実際について学ぶ。
2. 子ども(利用者)一人ひとりを理解しながら、援助・支援のあり方を体験的に学ぶ。
3. 施設保育士の専門性に触れながら、職務内容・役割・チームワーク等を把握し、施設養護及び養護内容への関心を高める。
4. 施設保育士や子ども(利用者)と生活を共にする中で養護技術を習得しながら将来の保育士としての自覚を高める。

授業概要

子ども(利用者)と生活や活動を共にしながら、生活・遊び・療育等の実態を知り、社会的養護の重要性を理解する。あわせて、施設保育士として求められる知識・技術を学ぶ。

学修に関する留意事項

保育実習指導 (2)の学びを活かし、時間外学習において事前準備・事後学習に努めてください。
指定された書類等が期限内に提出されない場合は、実習をおこなうことができません。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習先による実習評価(1.2.3.4)	70%
実習日誌・実習終了報告書(1.2.3.4)	30%

テキスト

実習の心得
出) 高田短期大学

参考文献

参考URL

2023年度

保育実習 (Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	4	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子、中嶋 麻衣								

授業計画 (フリーフォーマット)

【保育実習 (施設)】

1) 実習先及び期間

施設：本学が依頼する県内児童福祉施設等

期間：A班 (6月上旬)・B班 (6月中旬)・C班 (6月下旬)

おおむね10日間

(宿泊型及び通勤型の実習様式がある。実習先は1年後期

に希望調査をおこなう。)

2) 事前訪問・オリエンテーションの内容

1. 施設の概要、職員構成、養護方針、日課 (年間指導計画、主な行事等)

2. 実習生としての心構え (職務・態度等) 及び実習の流れ (施設の生活リズム等)

3) 実習内容 (施設によって多少違いがある)

1. 施設長・実習指導者の指示に従って勤務を体験し、養護技術を習得する。

2. 日々の実習目標をもって子ども (利用者) とかかわり、子ども理解 (利用者理解) を深める。

3. 実習指導者の指導を受けて、出勤から退勤までの勤務を体験し、一日を振り返る。

4. 実習日誌を作成し、翌日実習指導者に提出し指導を受ける。

2023年度

保育実習指導 - (2) (Guidance of Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

テーマ

- ・児童福祉施設等における観察・参加・部分実習・責任実習等の実際について学ぶ。
- ・保育者を志す者として、現場での実践体験を通して自身の課題に向き合う。

到達目標

1. 専門職としての保育士の自覚を高める
2. 施設保育士の役割と職務に関して学びを深める
3. 実習経験を言語化して整理し課題や今後の目標を見つける

授業概要

施設保育士としての実践的知識・技能を学ぶ。また施設実習の事前・事後指導をおこなう。事前指導では実習における各自の学習内容や課題の明確化と既習内容を実践につなげる方法・必要な手続き等をおこなう。事後指導では保育士を目指す者として実習体験の振り返りから得られた学習課題を明確にするための指導をおこなう。

学修に関する留意事項

- ・ガイダンスには必ず参加すること。
 - ・時間外学習として、自身の実習先に関して情報を収集しておくこと。
 - ・実践の学びを自分のものとして吸収すること。
 - ・マナーと最低限のルールをもち備えること。
- 出席回数が足りない場合、もしくは定められた書類が期日までに提出されない場合は実習をおこなうことができません。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取り組み(到達目標1.2.3)	50%
課題への取り組み(到達目標1.2.3)	30%
小レポート(到達目標1.3)	20%

テキスト

実習の心得

出) 高田短期大学

施設実習パーフェクトガイド

出) わかば社

著) 守巧・小櫃智子・二宮祐子・佐藤恵

福祉施設実習ガイドブック

出) 三重県施設実習研究協議会

参考文献

参考URL

2023年度

保育実習指導 - (2) (Guidance of Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	前期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

授業計画 (フリーフォーマット)

- 第1回 保育実習 (施設)の意義と目的 (時間外学習 3時間)
- 第2回 児童福祉施設等の機能と役割 (1) (時間外学習 3時間)
- 第3回 児童福祉施設等の機能と役割 (2) (時間外学習 3時間)
- 第4回 施設保育士の役割と使命 (時間外学習 3時間)
- 第5回 保育実習 (施設)における実習形態と実習日誌の書き方 (時間外学習 3時間)
- 第6回 保育実習 (施設)の実習態度と心構え (時間外学習 3時間)
- 第7回 保育実習 (施設)の総括と自己評価 (時間外学習 3時間)

2023年度

人生と仏教 (Life and Buddhism)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	松山 智道								

テーマ

親鸞聖人の生涯とその教え

到達目標

1. 親鸞聖人の生涯とその教えを理解している。
2. 自分の価値観が普遍的ではないことを知り、あらゆる存在がそれぞれ絶対的な尊厳性をもって生きていることに気づいている。
3. 「生かされて生きている」者として、他を生かす活動を主体的に実践している。

授業概要

親鸞聖人の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間の真相により深く迫るとともに、聖人の生き方に照らし、自らの人生を考える。

学修に関する留意事項

授業で講義する内容は、日常生活の中でも確認できるものです。自分の日常生活の中で、仏教的な考え方を実践してみてください。後期中に時間外学習としてレポート等の作成を行います(2時間程度)。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業に対する取り組み(到達目標1)	10%
試験(到達目標1・2・3)	90%

テキスト

仏教を読む 釈尊のさと親鸞のおしえ
出) 出) 本願寺出版社 著) 著) 上山大峻

参考文献

授業の中で指示

参考URL

特記事項

「仏教なんて自分には関係がない」と考えている人が多いと思いますが、授業を通して、実は自分に関係のある身近な教えであることが分かってもらえると思います。人間として生きていく上で大切なものは何か、一緒に考えていきましょう。

2023年度

人生と仏教 (Life and Buddhism)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	松山 智道								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	はじめに (縁起の復習)
2	いろいろの仏教 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
3	親鸞聖人の生涯 1 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
4	親鸞聖人の生涯 2 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
5	仏教行事 (追弔会、10月23日)
6	親鸞聖人の生涯 3 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
7	自力と他力 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
8	阿弥陀仏 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
9	阿弥陀仏の願い <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
10	聖道門と浄土門 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
11	無慚無愧の自己・自他同一の世界 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
12	仏教行事 (報恩購、12月18日)
13	親鸞聖人の言葉 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
14	阿弥陀仏の救い <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)
15	まとめ

2023年度

暮らしと政治 (Everyday Life and Politics)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長谷川 博								

テーマ

私たちの日々の暮らしが政治とどのようにつながっているのか、基本的な知識を理解する。

到達目標

- 1 民主政治と三権分立について理解する。
- 2 地方自治の役割と地方分権の動きを理解する。
- 3 身近な暮らしの中で政治や法がどのように関わっているかを理解する。

授業概要

将来、社会人として活躍するために、知っておくべき基礎知識が身につくように講義プリントや時事問題に関する資料を用いて学習する。
高等学校の現代社会・歴史的分野の学習内容を踏まえて学習する。
基本用語が身につくよう学習する。

学修に関する留意事項

- 1 講義プリントを用いて学習します。
- 2 高校時代の教科書・副読本を活用して授業に取り組んでください。
- 3 講義3回終了ごとに、次の講義で確認テスト（主に記号式）を行います。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験（到達目標1, 2, 3）	60%
確認テスト4回（到達目標3）	20%
授業への取り組み（到達目標2, 3）	20%

テキスト

なし

参考文献

高等学校現代社会，政治経済，歴史的分野の教科書・副読本

参考URL

2023年度

暮らしと政治 (Everyday Life and Politics)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長谷川 博								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	民主政治とは ~ ギリシア・ローマの民主政治 三大市民革命について 講義プリントの調べ学習(30分)
2	主権とは何か ~ 民主政治の形態について 講義プリントの調べ学習(30分)
3	民主政治と選挙 ~ 議会制民主主義と選挙の4大原則 講義プリントの調べ学習(30分)
4	わが国の選挙制度の歴史について 講義プリントの調べ学習(30分)
5	現在の選挙制度と問題点 講義プリントの調べ学習(30分)
6	司法権の独立 ~ 大津事件の歴史的意義とは 講義プリントの調べ学習(30分)
7	憲法の番人とは ~ 違憲立法審査権について 講義プリントの調べ学習(30分)
8	三審制と人権の尊重 ~ 裁判の種類 冤罪と再審請求 講義プリントの調べ学習(30分)
9	三権分立につて 講義プリントの調べ学習(30分)
10	国と地方自治体との関係 講義プリントの調べ学習(30分)
11	国と地方自治体との関係 講義プリントの調べ学習(30分)
12	地方自治と主権者意識 ~ 住民の政治参加意識と投票率について 講義プリントの調べ学習(30分)
13	地方自治の役割と課題 講義プリントの調べ学習(30分)
14	あるべき地方自治とは ~ 地方自治の理想と現実 講義プリントの調べ学習(30分)
15	生活の中にある法 講義プリントの調べ学習(30分) まとめ(60分)

2023年度

保育・教育制度論 (System of Childcare and Education)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章								

テーマ

現代保育者に向けられる制度的、社会的「まなざし」とは何か

到達目標

- 1.教育・保育制度に関する基礎的な理解ができており、説明できる。
- 2.幼稚園や保育現場において、法律や制度がどのように運用されているのかを説明できる。
- 3.幼児教育・保育をめぐる思想や歴史、制度などの特徴を理解した上で説明できる。

授業概要

諸制度の歴史的な背景から現代にいたるまでのプロセスを概観した上で、制度的な課題や法律や制度の運用に関する特徴や課題について理解を深めます。また、諸外国の制度も取り上げながら日本の保育・教育制度について解説していきます。

学修に関する留意事項

「制度」や「法律」などの言葉を聞くと難しそうだと思うかもしれませんが、しかし、制度や法律がどのように運用されているのかを知ることが、職務に大きく関わる事柄です。学生の主体的な受講を望みます。
中間試験、定期試験共に口頭で説明した内容が出題されますので、授業時のメモに加えて授業時間外での授業内容の整理・確認が必要となります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験（到達目標1,2,3）	40%
定期試験（到達目標1,2,3）	60%

テキスト

特に指定しません

参考文献

特に指定しません

参考URL

特に指定しません

2023年度

保育・教育制度論 (System of Childcare and Education)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	イントロダクション: 「制度を学ぶ」とは 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
2	教育・保育の目的と歴史の変遷 (戦前) 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
3	教育・保育の目的と歴史の変遷 (戦後から現代) 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
4	幼稚園教育要領、保育所保育指針 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
5	カリキュラム、保育・教育課程 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
6	隠れたカリキュラム 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
7	学力、生きる力 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
8	保育者・教職員の権利 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
9	児童・生徒の権利 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
10	外国の保育・教育制度 (アメリカ、イギリス) 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
11	外国の保育・教育制度 (アジア) 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
12	保育・教育の市場化、民営化 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
13	保育・教育ニーズの多様化と子育て支援 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
14	現代保育・教育の課題 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》
15	まとめ 《時間外学習: 配付資料を読む(30分)》

2023年度

子ども家庭福祉 (Child and Family Welfare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

テーマ

子ども家庭福祉の背景や子どもや家庭を取り巻く環境について学び、子ども家庭福祉の現状と課題について考えていく。

到達目標

1. 子ども家庭福祉における児童の捉え方を学ぶ。
2. 子どもと家庭を取り巻く環境や社会的背景について理解する。
3. 子ども家庭福祉に関する法制度や施策について理解する。
4. 児童福祉施設の役割や現状について理解する。
5. 子ども家庭福祉にかかわる専門職の役割とその専門性について理解する。

授業概要

子どもや家族が抱える課題や社会的背景、子どもや家庭を取り巻く環境から、なぜ子どもが社会福祉の対象となるのかを考え、児童福祉の基礎を学んでいく。そのうえで子ども家庭福祉の現状と課題、展望、その専門性について考える。

学修に関する留意事項

予習：テキストに目を通し、わからない用語等があれば調べておくこと。新聞やTV等で紹介される事例を積極的に収集しておくこと。
。復習：講義で学んだ内容をもとに、自身の問題関心や身近な事例に引きつけながら、具体的にイメージし、理解を深めることができるように努めること。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（到達目標1.2.3.4.5）	70%
小テストおよび小レポート（到達目標2.3.4.5）	30%

テキスト

子ども家庭福祉
出) みらい

著) 喜多一憲監修・堀場純矢編集

参考文献

参考URL

2023年度

子ども家庭福祉 (Child and Family Welfare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子ども家庭福祉を学ぶにあたって (予習: シラバスやテキストに目を通し、本講義で何を学ぶのかを理解しておくこと(60分)) (復習: 講義の内容を振り返り、子ども家庭福祉が身近な問題であることを理解する(60分))
2	現代社会と子ども家庭福祉 (予習: テキストCh.1を通読しておくこと(60分)) (復習: 子ども家庭福祉の現状や子どもと家庭を取り巻く環境等について理解を深める(60分))
3	子ども家庭福祉の法体系・行財政、機関・施設 (予習: テキストCh.4を通読しておくこと(60分))
4	社会的養護を必要とする子どもへの福祉施策 (予習: テキストCh.8を通読しておくこと(60分)) (復習: 社会的養護を必要とする子どもへの福祉施策について理解を深める(60分))
5	障害がある子どもへの福祉施策 (予習: テキストCh.9を通読しておくこと(60分)) (復習: 障害がある子どもへの福祉施策について理解を深める(60分))
6	心理治療の必要性や非行問題を抱える子どもへの支援 (予習: テキストCh.10を通読しておくこと(60分)) (復習: 心理治療の必要性や非行問題を抱える子どもへの支援について理解を深める(60分))
7	子どもの人権 (予習: テキストCh.2を通読しておくこと(60分)) (復習: 子どもの権利について理解を深める(60分)) (復習: 子ども家庭福祉の法体系・行財政、機関・施設について理解を深める(60分))
8	母子保健施策 (予習: テキストCh.6を通読しておくこと(60分)) (復習: 母子保健施策について理解を深める(60分))
9	ひとり親家庭への福祉施策 (予習: テキストCh.6を通読しておくこと(60分)) (復習: ひとり親家庭への福祉施策について理解を深める(60分))
10	子ども虐待とDV問題の防止施策 (予習: テキストCh.7を通読しておくこと(60分)) (復習: 子ども虐待とDV問題の防止施策について理解を深める(60分))
11	子ども家庭福祉の成立と展開(1) (予習: テキストCh.3を通読しておくこと(60分)) (復習: 海外の子ども家庭福祉の成立と展開について理解を深める(60分))
12	子ども家庭福祉の成立と展開(2) (予習: テキストCh.3を通読しておくこと(60分)) (復習: 日本の子ども家庭福祉の成立と展開について理解を深める(60分))
13	子育て支援、次世代育成支援と保育施策 (予習: テキストCh.5を通読しておくこと(60分)) (復習: 子育て支援・次世代育成支援と保育施策について理解を深める(60分))
14	子ども家庭福祉の専門職と連携 (予習: テキストCh.11を通読しておくこと(60分)) (復習: 子ども家庭福祉の専門職と連携について理解を深める(60分))
15	子ども家庭福祉の展望とその専門性について (予習: 講義やテキストの内容を振り返り、これまでの学びを整理しておくこと(60分)) (復習: 子ども家庭福祉の展望とその専門性について理解を深める(60分))

2023年度

社会的養護 (Social Childcare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中野 智行								

テーマ

今年度から所管が厚生労働省から内閣府子ども家庭庁に移管されます。子ども子育ての元年として、社会的養護の現状と課題を通して、制度政策の理解、権利擁護を学び、次年度の現場実習を控えて実践者に求められる視点や方法を身につけていきます。

到達目標

1. 「社会的養護とは何か」定義について理解します。
2. 社会的養護の歴史、背景について理解します。
3. 社会的養護の現状と課題について理解します。
4. 社会的養護における児童の権利擁護及び自立支援等について理解します。
5. 2年次の施設実習に向けて、施設現場を理解し、現場実践者としての意欲を高めます。

授業概要

社会的養護とは何か理解し、社会的養護がなぜ必要なのか、どうあるべきかを常に意識した学習ができるようにヒントを与え、学生の主体的な学びを促していきます。
現場実践者にとって深い理解が求められる内容については、適宜視聴覚教材や現場見学等の機会を利用し理解を促し、それに対する課題を課します。

学修に関する留意事項

次年度に実施される児童福祉施設での実習に向けて、授業で学んだ施設の現状、実情をイメージ作りするために、実際に自分が希望する実習先施設の見学やボランティア活動等を通して、社会的養護について考える機会を持っていただきます。毎月第二土曜日に開催の子ども食堂におけるボランティア活動や施設見学等の機会を活用し、社会的養護の施設へ足を運んで、卒業生や利用者と交流することで社会的養護の理解を深めていただけるといいと思います。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験(到達目標2,3,4,5)	80%
レポート(到達目標1)	20%

テキスト

『社会的養護』
出) 出) みらい 著) 著) 喜多一憲監修・堀場純矢編集

参考文献

参考URL

厚生労働省 子ども・子育て 社会的養護
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/syakaiteki_yougo/index.html

社会的養育の推進に向けて
<https://www.mhlw.go.jp/content/000503210.pdf>

「社会的養護の課題と将来像」
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/syakaiteki_yougo/dl/08.pdf

三重県 子ども・少子化対策
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/03/ci300004931.htm>

三重県社会的養育推進計画(令和2年4月)
<https://www.pref.mie.lg.jp/KODOMOK/HP/m0330400048.htm>

改正児童福祉法(令和6年4月施行)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/jidouhukushihou_kaisei.html

子ども家庭庁(内閣官房のHPより)
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_seisaku_suishin/index.html

2023年度

社会的養護 (Social Childcare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中野 智行								

特記事項

平成6年から現在も児童養護施設職員として実務経験があります。これらを生かして、社会的養護の現場を学生へ伝え、施設見学やボランティア活動等の案内を授業の際に行います。テストではテキストを使用し、授業時に書き込んでいくので必ず持参してください。視聴覚室は私語が起きやすい環境です。他の生徒さんの迷惑にならない様に注意ください。座席は指定席になっているので場所を勝手に交換することのないようにお願いします。

2023年度

社会的養護 (Social Childcare)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中野 智行								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	社会的養護とは何か (時間外学習: この講義のテキストP10-16について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護は何かについてレポートにまとめる 30分)
2	社会的養護の基本原則とその現状 (時間外学習: この講義のテキストP17-28について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の現状についてレポートにまとめる 30分)
3	社会的養護の歴史 戦前の社会的養護の理解を深める。 (時間外学習: この講義のテキストP29-33について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の歴史についてレポートにまとめる 30分)
4	社会的養護の歴史 第2次世界大戦後の社会的養護の理解を深める。 (時間外学習: この講義のテキストP34-42について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の歴史についてレポートにまとめる 30分)
5	子どもの権利擁護 (時間外学習: この講義のテキストP43-57について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護における子どもの権利擁護についてレポートにまとめる 30分)
6	社会的養護の体系と実践 次年度の施設実習先を選択するにあたり、児童福祉施設の紹介並びに説明を行う。 施設養護 (時間外学習: この講義のテキストP58-71について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)
7	社会的養護の領域と概要 次年度の施設実習先を選択するにあたり、児童福祉施設の紹介並びに説明を行う。 施設養護 (時間外学習: この講義のテキストP58-71について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)
8	社会的養護の領域と概要 次年度の施設実習先を選択するにあたり、児童福祉施設の紹介並びに説明を行う。 施設養護 (時間外学習: この講義のテキストP72-84について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)
9	社会的養護の領域と概要 施設養護 (時間外学習: この講義のテキストP85-115について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)
10	社会的養護の領域と概要 家庭養護 視聴覚資料を活用し、特別養子縁組の映像を視聴します。 (時間外学習: この講義のテキストP116-129について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、里親やファミリーホーム、特別養子縁組についてレポートにまとめる 30分)
11	社会的養護の領域と概要 障害児の支援 (時間外学習: この講義のテキストP130-143について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、障害児の支援についてレポートにまとめる 30分)
12	社会的養護に関わる専門職・専門機関と倫理 演習として社会的養護の理解について効果測定の実施 (時間外学習: この講義のテキストP144-160について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、社会的養護に関わる各専門職の役割・機能と多職種連携についてレポートにまとめる 30分)
13	社会的養護とソーシャルワーク 演習として社会的養護の理解について効果測定の実施 (時間外学習: この講義のテキストP161-178について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、現場実践の視線と方法についてレポートにまとめる 30分)
14	施設の運営管理 演習として社会的養護の理解について効果測定の実施 (時間外学習: この講義のテキストP179-187について読んでおくこと 20分) (復習: 講義の内容を振り返り、現場実践の視線と方法についてレポートにまとめる 30分)
15	社会的養護総括 (予習: これまでの学びを総合的にテキストを読んでおくこと 60分) (復習: 学んだことを整理し、今後の実習と次年度の学びにつなぐようにしておく 60分)

2023年度

乳児保育 (Early Childhood Care)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加、別所 慎介								

テーマ

乳児の成長発達や生活の連続性に配慮した乳児保育

到達目標

- 1.乳児保育の意義・目的・役割等について述べられる
- 2.多様な保育の場における乳児保育の現状と課題が述べられる
- 3.発達をふまえた保育内容と運営体制が述べられる
- 4.乳児保育における連携・協働及び保護者や地域との連携について述べられる

授業概要

乳児保育の意義・目的を理解し、多様な保育の場における乳児保育の現状と制度と課題を学習する。また、3歳未満児の発育・発達をふまえた保育の内容や方法を学ぶ。

学修に関する留意事項

ニュースや新聞等に積極的に触れ、乳児または保護者を取り巻く環境の変化や現在問題となっていることは何かを積極的に考えてみてください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験 【到達目標1・2・3】	80%
演習・提出物 【到達目標2・4】	20%

テキスト

健やかな育ちを支える乳児保育 ・
出) 建帛社 著) 高内正子・豊田和子・梶美保

参考文献

その都度紹介します

参考URL

特記事項

助産師・看護師として実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、乳児の成長・発達の特徴と発達段階に合わせた支援について講義をする。
現保育士として実務経験のある教員が、現場での技術・経験を活かし、乳児の成長・発達の特徴と発達段階に合わせた支援について講義をする。

2023年度

乳児保育 (Early Childhood Care)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加、別所 慎介								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	乳児保育の意義 子どもにとっての乳児保育とはについて考える 時間外学習 教科書第1章を読む 30分
2	社会における乳児保育の役割 乳児保育の歴史的歩みとこれからの役割を学ぶ 時間外学習 教科書第2章を読む 30分
3	乳児保育が行われる場 家庭以外の様々な場における保育を学ぶ 時間外学習 教科書第3章を読む 30分
4	健康・安全管理 - 子どもの生命を守り健康を育むために 健康面の配慮と具体的な対応方法を学ぶ 時間外学習 教科書第7章を読む 30分
5	健康・安全管理 - 子どもの生命を守り健康を育むために 安全面の配慮と具体的な対応方法を学ぶ 時間外学習 教科書第7章を読む 30分
6	健康・安全管理 - 子どもの生命を守り健康を育むために 配慮を必要とする子どもへの対応を学ぶ 時間外学習 教科書第7章を読む 30分
7	乳児保育の今後の課題 現在の乳児保育をふまえ、今後の課題をグループでディスカッションする 時間外学習 教科書第9章を読む 30分
8	0歳児の発達と保育 発達の特徴と保育の実際について学ぶ 時間外学習 教科書第4章を読む 30分
9	0歳児の発達と保育 発達の特徴と保育の実際について学ぶ 時間外学習 教科書第10～12章の0歳児に関連した部分を読む 30分
10	1歳児の発達と保育 発達の特徴と保育の実際について学ぶ 時間外学習 教科書第5章を読む 30分
11	1歳児の発達と保育 発達の特徴と保育の実際について学ぶ 時間外学習 教科書第10～12章の1歳児に関連した部分を読む 30分
12	2歳児の発達と保育 発達の特徴と保育の実際について学ぶ 時間外学習 教科書第6章を読む 30分
13	2歳児の発達と保育 発達の特徴と保育の実際について学ぶ 時間外学習 教科書第10～12章の2歳児に関連した部分を読む 30分
14	乳児保育を支える保育の計画 全体的な計画・指導計画作成の基本について学ぶ 時間外学習 教科書第16章を読む 30分
15	乳児保育に求められる連携・協力ー多面的な協力・連携 職員間・保護者・地域諸機関との連携・協力について学ぶ 時間外学習 教科書第8章を読む 30分

2023年度

発達理解と援助 (Understanding and Support of Development)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	仲森 みどり								

テーマ

保育場面における子どもの育ちや学びの姿を理解する意義や考え方を学び、保育者の援助のあり方について考える。

到達目標

1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。
2. 子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。
3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。
4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。

授業概要

本科目では、保育の心理学における学習内容を前提に、保育の場における子どもの育ちや学びを捉えて援助する保育者のあり方について理解・考察する。子どもを理解するとはどういうことか、それが保育者の援助にどのように関わるのか、そのために必要な保育者の活動等について、事例や課題を用いながら学んでいく。

学修に関する留意事項

予習としてテキスト各章を読んで課題（指定の各章ワーク）に取り組み（15分）、復習として授業内容を整理しておくこと（15分）。随時、課題や小テストを実施する（次回の授業内でフィードバックする）。成績は定期試験に加えて、課題や小テストへの取り組みや、授業への積極的な参画姿勢（グループワークを含む）を評価する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（おもに到達目標1～3）	50%
課題レポート・小テスト（到達目標1～4）	30%
授業への参加度（おもに到達目標4）	20%

テキスト

子どもの理解と援助 演習ブック
出）ミネルヴァ書房 著）松本峰雄（監修）

参考文献

参考URL

特記事項

毎回出席が基本です。教科書を持参し真摯な姿勢で能動的に授業へ臨むこと。遅刻欠席は理解の妨げとなるので慎むこと。私語や途中入退室等による迷惑行為を厳禁とします。
実務経験として、保育園にて保育士、母子生活支援施設にて母子支援員、児童相談所にて療育手帳に関わる心理判定員の経験があります。

2023年度

発達理解と援助 (Understanding and Support of Development)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	仲森 みどり								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 子どもの実態に応じた発達や学びの把握(1)保育における子ども理解の意義 <時間外学習> テキスト第1章の予習と復習(30分)
2	子どもの実態に応じた発達や学びの把握(2)子どもの理解に基づく養護と教育の一体的展開 <時間外学習> テキスト第1章の予習と復習(30分)
3	子どもの実態に応じた発達や学びの把握(3)子どもに対する共感的理解と保育 <時間外学習> テキスト第1章の予習と復習(30分)
4	子どもを理解する視点(1)子どもの生活と遊び <時間外学習> テキスト第2章の予習と復習(30分)
5	子どもを理解する視点(2)人的環境としての保育者と子どもの発達 <時間外学習> テキスト第2章の予習と復習(30分)
6	子どもを理解する視点(3)子どもの集団での育ち <時間外学習> テキスト第2章の予習と復習(30分)
7	子どもを理解する視点(4)葛藤やつまずき <時間外学習> テキスト第2章の予習と復習(30分)
8	子どもを理解する視点(5)保育の環境の理解と構成 <時間外学習> テキスト第2章の予習と復習(30分)
9	子どもを理解する視点(6)環境の変化や移行 <時間外学習> テキスト第2章の予習と復習(30分)
10	子どもを理解する方法(1)子どもを理解するための観察・記録・省察・評価 <時間外学習> テキスト第3章の予習と復習(30分)
11	子どもを理解する方法(2)職員間の対話 <時間外学習> テキスト第3章の予習と復習(30分)
12	子どもを理解する方法(3)保護者との情報共有 <時間外学習> テキスト第3章の予習と復習(30分)
13	子どもの理解に基づく発達援助(1)発達の課題に応じた援助と関わり <時間外学習> テキスト第4章の予習と復習(30分)
14	子どもの理解に基づく発達援助(2)特別な配慮を要する子どもの理解と援助 <時間外学習> テキスト第4章の予習と復習(30分)
15	総括 子どもの理解に基づく発達援助(3)発達の連続性と就学への支援 <時間外学習> テキスト第4章の予習と復習(30分)

2023年度

子どもの健康と安全 (Health and Safety of Child)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加								

テーマ

子どもの健康や安全を守るための保健活動

到達目標

- 1.衛生管理、事故防止、安全対策、危機管理について具体的にわかる。
- 2.異常症状・緊急時の対応方法について述べる事が出来る
- 3.関連するガイドラインをふまえ保育における感染症対策について述べる事が出来る

授業概要

子どもの成長発達を促す健康支援や安全を守るための方法、保健活
を考える。また、子どもの健康問題や異常症状、緊急時の適切な対
応方法の実際について学ぶ。

学修に関する留意事項

授業内容により服装や持ち物が異なります。連絡事項を確認し、忘
れ物がないように授業に臨んでください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験 【到達目標2・3】	50%
授業に対する取り組み【到達目標1】	50%

テキスト

保育の場で生きる 子どもの健康と安全
出) 建帛社 著) 著) 高内正子

参考文献

参考URL

特記事項

子どもの健康や安全を守ることは基本的なことです。確かな知識と技術を身につけられるように努力しましょう。積極的な取り組みを期待して
います。

助産師・看護師としての実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、衛生管理、危機管理、安全対策など基本的な技術について実践
を通して原理原則について講義をする。

2023年度

子どもの健康と安全 (Health and Safety of Child)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	長倉 里加								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子どもの健康と保育 保育者の手洗いについて実践し、感染予防について考える 時間外学習 自分の手洗い方法や時間、実施時期について振り返りを記録する 30分
2	子どもの健康支援の実際 日々の健康観察、養護について学び、留意点についてディスカッションする 時間外学習 養護の方法について実技練習する 60分
3	子どもの健康支援の実際 身体測定と発達状態の把握方法を学び、留意点についてディスカッションする。 時間外学習 身体測定の結果をふまえて発達状態を評価する 60分
4	子どもの健康支援の実際 生理機能の測定と異常の早期発見の方法を学び、留意点についてディスカッションする。 時間外学習 生理機能の測定の実技練習をする 60分
5	子どもの健康支援の実際 保健計画の作成と医務室等の整備について学ぶ 時間外学習 保健計画を立てる 60分
6	子どもの体調不良等に対する適切な対応 症状別対応方法について具体的に学ぶ 時間外学習 教科書第11章を読む 30分
7	子どもの体調不良等に対する適切な対応 応急手当の方法について学ぶ 時間外学習 教科書第12章を読む 30分
8	子どもの体調不良等に対する適切な対応 救急処置、心配蘇生法、エピペン等について学び、それぞれの役割についてディスカッションする 時間外学習 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを読む 60分
9	環境及び衛生管理の実際 保育室の衛生管理、感染症発生時と罹患後の対応 時間外学習 2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドラインを読む 60分
10	事故防止及び安全対策の実際 保育施設における事故の実態を学び、どのような対策が必要か考える 時間外学習 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを読む 60分
11	事故防止及び安全対策の実際 事故発生時の対応方法について考える 時間外学習 子どもの発達段階と起こりやすい事故についてまとめる 60分
12	災害への備えの実際 平常時の対応と非常災害時の対応をシュミレーションする 時間外学習 災害時に想定される問題について考える 60分
13	保育における保健的対応 保健的対応の基本、薬の使い方について学ぶ 時間外学習 教科書第11章を読む 30分
14	保育における保健的対応 個別的な配慮を要する子どもへの対応：慢性疾患、アレルギー等について学ぶ 時間外学習 生活指導表について調べる 30分
15	健康安全の実施体制 職員間の連携・協働について学ぶ 時間外学習 教科書第15章を読む 30分

2023年度

子どもの食と栄養 (Child Nutrition)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	生川 美江								

テーマ

子どもの食と栄養 において学んだ栄養・食生活の重要性を子どもたちに伝える食育の必要性を理解し、保育者として食育を実践できるよう実習・演習を通して経験を積む。

到達目標

1. 児童福祉施設における食事の重要性を理解し、適切な食指導ができると同時に保護者からの相談に対応できる
2. 食育の必要性を理解し、食育活動を通じて子どもに主体的な経験を積ませることができる

授業概要

児童養護施設における給食のあり方や栄養管理について学ぶと同時に食育の必要性を理解できるよう講義を行う。
また、食育の実践力を養うために調理実習および教材作成などの演習を行う。

学修に関する留意事項

講義にはスライドを用いる。印刷用の資料を授業支援システムを通じて一週間前までに配布するので必ず事前に印刷し、目を通してから授業に臨む。
実習の際は原則前週に資料を配布するので、予習をして実習に臨む。
実習・演習の結果と考察は、必ず所定のレポート用紙に記入して提出する。期限内に提出されたものについて配点する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題への取り組み・レポート（到達目標1, 2）	40%
グループワークへの取り組み・レポート（到達目標1, 2）	60%

テキスト

子どもの食と栄養第2版 保育現場で活かせる食の基本
出) 羊土社 著) 太田百合子 堤ちはる 編著

参考文献

子どもの食と栄養演習書
出) 医歯薬出版株式会社 著) 小川雄二

子どもの食と栄養
出) 中央法規 著) 堤ちはる、藤澤由美子

参考URL

「保育所における食事の提供ガイドライン」厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123469.html>

「食育の推進」農林水産省
<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/>

「食育ってどんないいことがあるの」農林水産省
<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/evidence/index.html>

特記事項

成績評価は、実習・演習の出欠状況と提出物の提出状況を重視します。グループ学習が多くなるので、遅刻・欠席のないよう特に注意する。万が一、遅刻・欠席する場合には教員及び班員に連絡すること。
担当教員は、保健センターにおいて管理栄養士としての実務経験があります。また、特定非営利活動法人に所属し、市の設置する「子ども子育て応援センター」において離乳食・幼児食相談および保護者向け講座を担当しています。

2023年度

子どもの食と栄養 (Child Nutrition)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	生川 美江								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 (時間外学習) テキスト第11章を読んでおく(20分)、子どもの疾病と食事に関する課題を行う(30分)
2	児童福祉施設における食事と栄養 (時間外学習) テキスト第10章を読んでおく(20分)、「保育所における食事の提供ガイドライン」を参照する(30分)、保育所における間食に関する課題を行う(30分)
3	食品表示・アレルギー表示に関する演習 (時間外学習) 食品表示・アレルギー表示に関する情報収集を行う(30分)、アレルギー表示に関する課題を行う(30分)
4	食育の必要性と基本 (時間外学習) テキスト第9章を読んでおく(20分)、「食育の推進」・「食育ってどんないいことがあるの?」(農林水産省)に目を通しておく(60分)
5	食育の具体的な進め方、食育指導案の作成 (時間外学習) テキスト第9章を復習しておく(20分)、箸の持ち方について調べ、情報を収集する(60分)
6	炊飯と食事のマナー(箸と茶碗の持ち方)に関する実習および指導案の作成 (時間外学習) 食育指導案を完成させる(30分)、実習レポートの作成(30分)
7	季節の行事に関する調理実習(お月見団子) (時間外学習) 実習に関する配布資料を読んでおく(20分)、校外実習を通じてたべものの硬さと大きさに関する情報を収集する(60分)
8	季節の行事に関するグループワーク(お月見) 食育指導案の作成 (時間外学習) 食育教材についての資料収集を行う(60分)、食育指導案を完成させる(30分)
9	食育だよりの作成に関するグループワーク 食育だよりの企画 (時間外学習) 食育たよりについての資料収集を行う(60分)
10	食育だよりの作成に関するグループワーク 食育だよりの作成 (時間外学習) 食育たよりを完成させる(60分)、発表の準備を行う(30分)
11	食育だよりの発表とまとめ (時間外学習) 発表に関するレポートの作成(60分)
12	栽培活動と調理活動に関するグループワーク 食育活動の企画・食育指導案の作成 (時間外学習) 栽培活動・調理活動に関する情報収集(60分)、食育指導案を完成させる(30分)
13	調理活動に関する実習(おにまんじゅう) (時間外学習) 栽培活動・調理活動に関する教材の素材収集(60分)
14	栽培活動と調理活動に関するグループワーク 栽培活動と調理活動に関する食育教材の制作 (時間外学習) 教材を完成させる(90分)
15	食育活動報告・発表会 (時間外学習) 発表会に関するレポートの作成(60分)、学修振り返りのレポートの作成(30分)

2023年度

子どもと健康 (Child and Health)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	榊原 尉津子								

テーマ

保育内容の領域を踏まえた子どもの健康づくり

到達目標

- (1) 領域「健康」を中心に、5領域のねらい及び内容を理解している。
- (2) 小学校教育に繋がる健康をテーマにした教材研究と制作ができる。
- (3) 研究発表やグループワークにおいて主体的に取り組むことができ、領域「健康」を中心に領域を活かした保育指導ができる。

授業概要

領域「健康」を中心に5領域のねらい及び内容を理解したうえで、小学校教育に繋げるための子どもの健康をテーマにした教材研究と教材づくりを行う。また、心身ともに健康な生活を送るために、保育・教育現場で子どもと楽しみながら取り組める運動・表現遊びの体験をとおして、保育指導・援助法について知識と指導方法を習得する。

学修に関する留意事項

- 【評価について】
- ・毎時間授業終了後に提出する「学びの記録」や「授業振り返りシート」など提出物を重視する。また「Game Book」の内容(質)を評価に含む。
 - ・遊び体験や創作活動、グループワークにおいては、積極的な取り組みを評価する。
 - ・課題(指導案やノート等)提出については、時間外学習や授業支援システムへの書き込み等の状況を評価に含む。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
(1) 学びの記録(到達目標1.2)	30%
(2) 課題への取り組み(到達目標2.3)	30%
(3) 小レポート、授業支援システムへの書き込み(到達目標2.3)	20%
(4) グループワーク(到達目標3)	20%

テキスト

アイディア満載 教育・保育実習サポートレシピ
出) 福村出版 著) 杉山佳菜子

購入のテキスト以外に必要なに応じて資料を配付する。

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定
こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド本社 著) 文部科学省、厚生労働省、内閣府

参考URL

文部科学省(幼児期運動指針) <http://www.next.go.jp/>

特記事項

- ・欠席した時は、担当教員に欠席回の授業内容や課題等について受講生自らが確認すること。
- ・15回の学びが無い場合は、目標達成とは認めません。到達目標が100%となるよう努力すること。
- ・遅刻、欠席の扱いについては、授業開始時刻から20分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。
- ・実技の時は、保育者として相応しい服装と態度で参加すること。

2023年度

子どもと健康 (Child and Health)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	榊原 尉津子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	授業内容：オリエンテーション・アイスブレイク ・保育内容ー健康と他の領域との関係について確認する。 時間外学習：事前にシラバスを読み、授業内容について確認しておく。(30分程度)
2	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ ・ICT、フィールドワーク等による調査方法を学ぶ 時間外学習：パソコンやタブレット等の操作に慣れておく。子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(1時間程度)
3	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ ・グループワークの取り組みについて 時間外学習：子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(30分)
4	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ ・調査まとめ (PowerPointの活用) 時間外学習：調査まとめ (1時間程度)
5	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ ・プレゼンテーション-1 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)
6	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ ・プレゼンテーション-2 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)
7	授業内容：運動・表現遊び 子どもと楽しむ遊び体験 時間外学習：子どもの遊びに関連する情報収集。(30分)
8	授業内容：運動・表現遊び 創作・指導案作成 時間外学習：作品紹介を授業支援システムへ書き込む。(1時間程度)
9	授業内容：運動・表現遊び 創作(動画撮影) 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)
10	授業内容：運動・表現遊び リハーサル(動画撮影)・創作 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)
11	授業内容：運動・表現遊び 発表(動画撮影)・指導案提出 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)
12	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作 ・作品は冊子「Game Book」にまとめる。 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)
13	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作 ・作品制作と冊子の原稿執筆 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)
14	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作 ・作品制作と冊子の原稿執筆 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)
15	授業内容：「Game Book」完成と振り返り、授業まとめ ・1～14回の授業を振り返り、学びや気づき、反省などを話し合う。 時間外学習：授業を振り返り、自身の学びや気づき、反省をまとめておく。(30分程度)

2023年度

子どもと人間関係 (Child and Human-relationship)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	山口 昌澄								

テーマ

保育内容領域「生活と人間関係」に関する専門的事項

到達目標

1. 領域「人間関係」に基づく、乳幼児における人と関わる力の育ちに関する専門的事項について知識を身に付ける。
2. 乳幼児期における、子どもを取り巻く人間関係に関する現代的課題を理解し、子どもの人生を支える周囲と関わる力の発達について関係発達論的視点から理解する。
3. 事例検討等を通じて、領域「人間関係」に基づく保育実践へつながる知見を深め、学習者自らの考えを表明する。

学修に関する留意事項

本授業では、成績に大きく関わる事例検討（主に集団討議・発表）の機会も多いので、より自発的・積極的な授業参加を求める。

テキスト

人間関係（新版・実践 保育内容シリーズ）
出）一藝社 著）小櫃智子・谷口明子 他

授業概要

子どもの健全な心身の発達においては、子どもたちを取り巻く周囲の他者（家族・保育者・友だち・地域社会等）との良好な関係づくりが不可欠となる。本授業では、子どもの周囲と関わる力の育ちを見守り、適切な指導・支援を行なう上で必要となる知見や、領域「人間関係」関連事項を幅広く取りあげ、事例検討・プレゼンテーション、映像資料視聴なども通じ保育実践的理解を深めていく。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ワークシート（到達目標1、3）	55%
レポート（到達目標2）	15%
受講態度（発表貢献度等含）（到達目標1、2、3）	30%

参考文献

子どもの発達の連続生を支える保育の心理学
出）教育情報出版 著）浅井 拓久也 他

参考URL

2023年度

子どもと人間関係 (Child and Human-relationship)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	山口 昌澄								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子どもの人間関係における現代的課題と特徴 時間外学習：受講前にテキスト第15章を読んでおくこと(30分)
2	乳幼児期に育まれる資質能力と領域「人間関係」との関連 時間外学習：受講前にテキスト第2章を読んでおくこと(30分)
3	関係発達へつながる子どもの諸側面の育ち1(乳児期) 時間外学習：受講前にテキスト第3章を読んでおくこと(30分)
4	関係発達へつながる子どもの諸側面の育ち2(3歳児) 時間外学習：受講前にテキスト第6章第1節を読んでおくこと(15分)
5	関係発達へつながる子どもの諸側面の育ち3(4・5歳児) 時間外学習：受講前にテキスト第6章第2節を読んでおくこと(15分)
6	子どもの道徳意識の芽生え(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第7章を受講前に読み、自らの考えを述べられるようにしておくこと(30分)
7	子どもの規範意識・社会性の発達(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：「子どもの人間関係発達に関する気づき」レポートを仕上げ、提出すること。(60分)
8	子ども集団の特性とその指導について(事例集団討議・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第12章を読み、自らの考えを述べられるようにすること(30分)
9	子どもの人間関係安心化へつながる保育者1 気持ちの受けとめ(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第10章を読み、自らの考えを述べられるようにすること(30分)
10	子どもの人間関係安定化へつながる保育者2 育ちの評価(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第10章を読み、自らの考えを述べられるようにすること(30分)
11	子どもの人間関係安定化へつながる保育者3 保育者間連携(事例討議・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第14章3節・4節を読み、自らの考えを述べられるようにすること(30分)
12	概念の獲得、遊びの意味と子ども同士の間関係(事例討議・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第11章を読んでおくこと(30分)
13	周囲と関係性がつくりにくい子ども(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第13章を読んでおく、自らの考えを述べられるようにすること(30分)
14	育ちを支える家族関係への支援(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：受講前にテキスト第14章1節・2節を読んでおくこと(30分)
15	子どもや保護者との関わりを深める - カウンセリング・マインド(事例検討・発表・ワークシート提出) 時間外学習：授業後、実習に備え、これまでの受講内容を整理しておくこと(90分)

2023年度

子どもと表現(音楽) (Child and Expression (Music))

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	山本 敦子								

テーマ

領域「表現」の理解と展開に必要な知識・技能・表現力を、音楽との関わりから実践的に学ぶ。

到達目標

1. 子どもの表現の姿やその発達を音楽との関わりから理解する。
2. 音楽表現の基礎的な知識・技能を学び、感性を豊かにする。
3. 基礎的な知識技能を生かし、子どもの音楽表現活動に展開させることができる。

授業概要

領域「表現」に関して、本科目では音楽との関わりから子どもの表現の姿や発達及びそれを促す要因について理解する。また子どもの感性や想像性を豊かに育むための音楽表現遊びや環境の構成などの専門的事項について、個人やグループでの体験・観察・分析をもとに修得する。

学修に関する留意事項

- ・授業ではプリントを配布します。
- ・実習期間により授業内容が前後することがあります。
- ・第1・2・5・6・7回の授業は体育館で行います。動きやすい服装とシューズで参加すること。
- そのほかの回の授業は音楽室で行います。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業（体験）の取り組みと学びの記録（到達目標2）	50%
授業（ポスター制作と発表）の取り組み（到達目標1・3）	20%
提出物（到達目標1・2）	30%

テキスト

参考文献

音楽を学ぶということ これから音楽を教える・学ぶ人のために—
出）今川恭子監修 著）教育芸術社

乳幼児の音楽表現:赤ちゃんから始まる音環境の創造
出）日本赤ちゃん学会監修 著）中央法規出版

参考URL

2023年度

子どもと表現(音楽) (Child and Expression (Music))

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	山本 敦子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 子どもの耳を育てるための遊び(サウンドマップ)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録・プリントの記入(30分以上)
2	子どもの耳を育てるための遊び(イメージドロ잉)を体験しよう 子どもの創造性を育てるための遊びを体験しよう <時間外学習> 学びの記録(20分以上)
3	子どもと文化との関わりを育てるための遊び(わらべうた)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録(20分以上)
4	子どもの声を育てるための遊び(歌遊び)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録(20分以上)
5	子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び(身体の声)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録(20分以上)
6	子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び(素材遊び)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録・プリント記入(30分以上)
7	子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び(素材の音)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録・プリント記入(30分以上)
8	子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び(楽器遊び)を体験しよう <時間外学習> 学びの記録(20分以上)
9	子どもの耳を育てるための知識と方法を理解する <時間外学習> プリント記入(20分以上)
10	子どもの声を育てるための知識と方法を理解する <時間外学習> プリント記入(20分以上)
11	子どもと文化との関わりを育てるための知識と方法を理解する <時間外学習> プリント記入(20分以上)
12	子どもの身体とモノとの関わりを育てるための知識と方法を理解する <時間外学習> プリント記入(20分以上)
13	子どもの創造性を育てるための知識と方法を理解する <時間外学習> 手作り楽器の制作・プリント記入(60分以上)
14	学びの記録の共有と課題考察～グループによるポスター制作～ <時間外学習> ポスターの完成(20分以上)
15	学びの記録の共有と課題考察～グループによるポスター発表～ <時間外学習> 発表の準備(20分以上) 保育内容および領域「表現」と保幼小接続について理解する <時間外学習> プリント記入(40分以上)

2023年度

子どもと表現(造形) (Child and Expression (Art))

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	亀澤 朋恵								

テーマ

造形表現における子どもの発達をまなび、それを踏まえたいうでの表現技法や造形活動を学ぶ。

到達目標

- 1) 生活の中にあるさまざまなものの美しさや面白さを味わうことができるようになる。
- 2) 感じたことや考えたことをイメージをふくらませながら造形作品として表現できるようになる。
- 3) 身近にある画材や材料の特性を理解し、適切に使うことができる。

授業概要

造形表現における子どもの発達をまなび、それを踏まえながら造形表現技術で学んだ基礎を活かし、表現の方法を深める。

学修に関する留意事項

- ・時間外に完成しなかった場合、時間外にて完成させて提出してください。
- ・汚れても良い(洗濯が容易)、動きやすい服装で受講してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
作品製作【到達目標1)2)3)】	70%
レポート・ワークシート【到達目標1)2)3)】	30%

テキスト

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本

出) チャイルド本社

著) 内閣府・文部科学省・厚生労働省

参考URL

特記事項

身近で親しみのある画材や材料のもつ特性やおもしろさを再認識し、表現活動を楽しんでみてください。グループや屋外での活動も計画しています。

2023年度

子どもと表現(造形) (Child and Expression (Art))

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	亀澤 朋恵								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	ガイダンス 子どもの造形表現の発達 授業外学習：ワークシート (60分)
2	自然物を使った造形 1 時間外学習：ワークシート (60分)
3	自然物を使った造形 2 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
4	自然物を使った造形 3 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
5	壁面構成 1 壁面のねらい・構想 時間外学習：次回のアイデアスケッチ (90分)
6	壁面構成 2 製作 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
7	壁面構成 3 製作 2 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
8	折り紙パッチワーク 製作 時間外学習：次回のアイデアスケッチ (90分)
9	折り紙パッチワーク 創作 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
10	折り紙パッチワーク 創作 2 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
11	牛乳パックリリアン 1 織機の製作 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
12	牛乳パックリリアン 2 編み上げ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
13	凧の製作 1 製作 時間外学習：ワークシート (60分)
14	凧の製作 2 しあげ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
15	凧の製作 3 凧を飛ばす / まとめ

2023年度

保育内容 - 言葉 (Content - language)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	古谷 淳								

テーマ

言葉の機能と発達について解説し、保育者として子どもの言葉を豊かに育てるための保育内容に関する知識や指導法、基礎的な技能を解説する。

到達目標

1. 子どもの言葉に関心を持ち、言葉の発達について理解する。
2. 言葉のもつ機能について理解を深め、子どもの言葉を育む保育内容について構想することができる。
3. 様々な児童文化財について理解を深め、保育実践に活かせる基礎技術を習得する。

授業概要

幼稚園教育要領並びに保育所保育指針に示された幼稚園教育の基本及び保育所保育に関する基本原則や養護に関する基本的事項を踏まえ、乳幼児期の子どもの言葉が、日常生活の中での身近な人とのかわりを通して育つことを解説する。言葉の育ちにかかわる保育の様々な場面を示し、保育者の役割や援助を実践的に考察しながら、子どもの豊かな言葉を育むために保育者は、どのように保育内容を構想し、実践すべきかを探求する。

学修に関する留意事項

子どもと言葉 (Child and Language) で得た知識をもとに学修を進める。日頃から、子どもの言葉に関心を持つこと。また、子どもの前で絵本や紙芝居を行う際には、多くの児童文化財にも触れ、保育者として豊かに表現できるよう何度も練習を行うことが肝要である。子どもの言葉を豊かにするための教材作りを通し、保育実践に活かすことができる基礎技術を培ってもらいたい。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
指導案 (到達目標 2.3)	20%
中間レポート (到達目標 1.2)	20%
期末レポート (到達目標 3)	50%
リフレクションシート (到達目標 1.2)	10%

テキスト

参考文献

参考URL

幼稚園教育要領解説 (平成30年2月)

https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_3.pdf

保育所保育指針解説 (平成30年2月)

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202211.pdf>

特記事項

- ・適宜課題に対する講評を行う。
- ・授業担当講師は、保育所保育士としての実務経験あり。

2023年度

保育内容 - 言葉 (Content - language)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション：領域「言葉」の概要 時間外学習：保育所保育指針・幼稚園教育要領の保育内容領域「言葉」を読んでおくこと(30分)
2	言葉の働きと言葉を育むもの 時間外学習：自身の親しい人(保証人等)から自身の言葉の発達について聞き取る(30分)
3	領域「言葉」のねらい及び内容について 時間外学習：幼稚園教育要領解説P.203～222.を通読する(60分)
4	乳幼児の言語発達 —乳児の言語発達— 時間外学習：自身の親しい人(保証人等)から自身が乳児の頃の言葉の発達について聞き取る(30分)
5	乳幼児の言語発達 —幼児期前半(1～2歳児)の言語発達— 時間外学習：自身の親しい人(保証人等)から自身が幼児期前半(1～2歳児)の頃の言葉の発達について聞き取る(30分)
6	乳幼児の言語発達 —幼児期後半(3～5歳児)の言語発達— 時間外学習：自身の親しい人(保証人等)から自身が幼児期後半(3～5歳児)の頃の言葉の発達について聞き取る(30分)
7	言葉の楽しさ・美しさ 時間外学習：学校や地域の図書館等で繰り返しのある言葉やおノマトペを取り入れた絵本を探す(60分)
8	児童文化財の世界 時間外学習：学校や地域の図書館等で絵本を1冊選びその絵本の良さについてレポートを作成する(30分)
9	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」 時間外学習：保育所保育指針解説P.162～172.を通読する(60分)
10	乳児保育における言葉を育む保育実践 時間外学習：絵本を題材とした指導案を作成する(60分)
11	1歳以上3歳未満時の保育における言葉を育む保育実践 時間外学習：クラスメートと指導案を読み合い異なる視点や立場から検討し見直しを行う(30分)
12	3歳以上児の保育における言葉のやり取りを育む保育実践 時間外学習：児童文化財の教材研究を行う(30分)
13	文字や記号に対する感覚や興味・関心を育む保育実践 時間外学習：配布資料をもとに、クラスメートと模擬保育を行う(30分)
14	領域「言葉」と10の姿 時間外学習：幼稚園養育要領解説P.84～87を通読する(30分)
15	まとめ：学修の振り返り

2023年度

音楽表現技術 (Expression Technique in Music)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

テーマ

保育実践に求められる音楽表現技術の基礎 を習得する

到達目標

- 保育実践との関連から
1. 楽典を理解する
 2. 読譜・記譜・聴取の技能を習得する
 3. ピアノ演奏の技術を習得する
 4. 子どもの歌の歌唱法、弾き歌い技術を習得する

授業概要

保育実践における音楽表現技術の基礎 を習得するための授業。一斉授業と実技レッスンを45分ずつ受講する。一斉授業では保育実践との関連から楽典、ソルフェージュによる読譜・記譜・聴取の方法、子どもの歌の歌唱法を習得する。実技レッスンでは、経験度に応じた個人・グループレッスンにおいて、保育実践との関連からピアノ演奏や子どもの歌弾き歌いの技術を習得する。

学修に関する留意事項

- <時間外学習：実技レッスン>
毎回の実技レッスンに際し、事前計画・練習（予習）と事後振り返り（復習）を必ず行なって授業に臨むこと。練習時間の目安は毎日30分程度。
- <時間外学習：一斉授業>
テキストや配布プリントの練習問題を予習、復習すること。
- <成績評価のポイント>
実技レッスンの取り組みには課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性も重視する。
- <フィードバック> 楽典試験は返却し回答する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業（一斉・レッスン）の取り組み（到達目標1, 3, 4）	25%
実技試験（到達目標3, 4）	50%
記述試験（到達目標1, 2）	25%

テキスト

歌のカレンダー

出) A・T・N 著) 伊藤嘉子他

保育・幼児教育のための Music Text - 音楽表現技術・子どもと音楽 -

出) 高田短期大学音楽研究室 著) 高田短期大学音楽研究室・編

参考文献

参考URL

2023年度

音楽表現技術 (Expression Technique in Music)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 保育実践における音楽表現技術の基礎 について 保育者のための歌唱表現技術レッスン (時間外学習については「学習に関する留意事項」に記載)
2	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌と音程 <時間外> 楽典基礎(音楽表現技術) 確認課題(30分)
3	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：音程のしくみ
4	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌とコード伴奏
5	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：コードのしくみ <時間外> 楽典(コード) 確認課題(30分)
6	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：保育の場における弾き歌いについて <時間外> 教材研究シートの作成(30分)
7	実技レッスン：中間試験 一斉授業：中間試験の振り返り <時間外学習> 試験課題の練習・振り返り(20分)
8	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：教育実習での音楽活動について <時間外> 実習における音楽活動事例の記録まとめ(30分)
9	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌と音階 <時間外> 楽典(音階) 確認課題(30分)
10	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌と移調 <時間外> 楽典試験準備(60分)
11	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：楽典試験
12	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌と楽器
13	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：歌あそび・手あそび <時間外> グループ別発表の準備・練習(30分)
14	実技レッスン：コース別課題(ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現)によるグループレッスン 一斉授業：子どもの歌と保育教材 <時間外> グループ別発表の準備・練習(30分)
15	まとめ・振り返り <時間外学習> 試験課題の練習・振り返り(30分)

2023年度

ゼミナール (Seminar)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 耐津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

テーマ

保育や幼児教育に関する課題の探究と発表

到達目標

1. 保育や幼児教育に対する関心を高め、課題に主体的に取り組むことができる。
2. 課題の探求・解決において、思考・判断・表現する力を身につける。
3. 多様な人々と協働することを通して、集団の中で求められる行動ができる。

授業概要

スタートアップゼミナールの発展科目として、少人数での演習授業を通して、保育や幼児教育に関する課題探求を行う。子どもを取り巻く様々な課題、話題に目を向け、他者と協働して発表、討論、考察を行う。

学修に関する留意事項

- ・本授業は学生の積極的な取り組みを重視する。
- ・時間外学習では予習や復習に努め、自ら学びを深めること。
- ・スタートアップゼミナールと本授業を通じて、各自、積極的にボランティア活動を行うこと。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取り組み (到達目標1,2)	25%
レポート作成 (到達目標1,2)	50%
グループワーク (到達目標2,3)	25%

テキスト

必要に応じて資料を配布・配信する。

参考文献

授業で適宜紹介する

参考URL

2023年度

ゼミナール (Seminar)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーションー1年次後期の計画と目標ー 時間外学習：1年次前期を振り返り後期の計画と目標を考える (1時間)
2	保育の現場に目を向けて - 見学実習事前指導ー ・見学実習の目的と見学の観点について ・見学者としての心得、マナー等について 時間外学習：見学実習での学びに関する小レポート (1時間)
3	グループワーク演習 (1) 各ゼミ別で関心のある内容を選定しグループワークを行う 時間外学習：グループワークの準備 (1時間)
4	グループワーク演習 (2) 各ゼミ別で関心のある内容を選定しグループワークを行う 時間外学習：グループワークの準備 (1時間)
5	教育実習での学びと課題 (1) 教育実習に関する課題を見つけ実習に向けての学びを深める 時間外学習：教育実習の準備 (1時間)
6	教育実習での学びと課題 (2) 教育実習に関する課題を見つけ実践に向けて準備をする 時間外学習：教育実習の準備 (1時間)
7	保育・幼児教育に関する課題の紹介 (1) 実習を経験したことから学んだ幼児教育に関する課題をまとめる 時間外学習：実習で感じた課題をまとめる (1時間)
8	保育・幼児教育に関する課題の紹介 (2) 実習を経験したことから学んだ幼児教育に関する課題のグループワークを行う。 時間外学習：グループワークの準備 (1時間)
9	保育・幼児教育に関する課題の設定 (1) 時間外学習：資料・情報の収集 (1時間)
10	保育・幼児教育に関する課題の設定 (2) 時間外学習：資料・情報の収集 (1時間)
11	発表・討論の準備 (1) これまで学んだ保育・幼児教育に関する内容をまとめる。 時間外学習：これまで学んだ保育・幼児教育に関する資料の作成 (1時間)
12	発表・討論の準備 (2) これまで学んだ保育・幼児教育に関する内容をまとめ発表・討論の準備をする。 時間外学習：発表・討論に関する資料作成 (1時間)
13	発表・討論 (1) 時間外学習：本時の振り返りをワークシートにまとめる (1時間)
14	発表・討論 (2) 時間外学習：本時の振り返りをワークシートにまとめる (1時間)
15	まとめ 1年次後期の学びの振り返り 時間外学習：1年間の学びに関する振り返りレポートの作成 (2時間)

2023年度

キャリアスタディ (Career Studies)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 耐津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

テーマ

就職活動の基礎的知識・技能の習得と子ども学科の学修成果を活かしたキャリア意識の形成・向上

到達目標

- 子ども学科学生の就職活動において必須となる基礎的知識・技能の理解と習得。
- 子ども学科の学修成果を活かしたキャリア形成への意欲・意識の向上。
- その後の主体的かつ円滑な就職活動に繋がる自己覚知。

授業概要

子ども学科学生の就職活動に必要な知識・技能、キャリア意識形成の習得に向け、学内キャリア支援委員によるガイダンス、学外講師による講演会、ゼミアドバイザーによる個別的指導など様々な側面から授業を展開する。

学修に関する留意事項

本授業では、受講者自身のキャリアに直結する内容や、学外講師による講演会などの内容を含む。より自発的かつ緊張感を持った取り組みが求められる。なお半期8回開講のため、欠席3回で無資格となる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
受講シート（到達目標1,2）	40%
提出物（自分史シート、レポート、履歴書シート：到達目標1,3）	52%
受講態度（到達目標1、2、3）	8%

テキスト

2023年度 教育・保育職 就職の手引き

出) 高田短期大学

著) キャリア支援委員会・キャリア支援センター

参考文献

参考URL

2023年度

キャリアスタディ (Career Studies)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

授業計画 (フリーフォーマット)

第1回...オリエンテーション (キャリアガイダンス)

時間外学習：受講後、就職の手引き「進路 (就職) 活動の流れ」「キャリア支援センターの利用」を読み、内容確認すること (15分)

第2回...履歴書作成に向けて1 (自己分析の意味・方法)、自分史シート作成・提出

時間外学習：受講後、手引き「就職活動 (準備編)」を読み、自己PR内容について考えをまとめておくこと (90分)

第3回...保育業界から求められる人材について1 (三重県私立幼稚園・認定こども園協会就職講演会「幼稚園・認定こども園が求める人材」：受講シート提出)

時間外学習：受講後、上記協会のホームページより、居住地近隣幼稚園等の情報収集すること (60分)

第4回...保育業界から求められる人材について2 (県内施設「施設が求める人材」：受講シート提出)

時間外学習：受講後、ホームページより、居住地近隣施設等の情報収集をおこなうこと (60分)

第5回...履歴書作成に向けて2 (自己PR文の作成)

時間外学習：受講後、自己PR文 (志望動機・自己PR・得意科目・課外活動) を提出すること (60分)

第6回...保育業界から求められる人材について3 (三重県私立保育園連盟就職講演会「保育園が求める人材」：受講シート提出)

時間外学習：受講後、上記連盟のホームページより、居住地近隣保育園等の情報収集をおこなうこと (60分)

第7回...就活体験から学ぶ (上級生によるガイダンス：受講シート提出)

時間外学習：受講後、講話内容やこれまでの授業内容をもとに、履歴書下書き用紙を提出すること (90分)

第8回...履歴書作成に向けて3 (履歴書シート・自主実習)

時間外学習：受講後、添削結果をもとに修正した自己PR文を再提出すること (60分)

2023年度

教育実習 (Teaching Practice)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

テーマ

幼稚園における観察・参加実習等

到達目標

1. 幼稚園の教育内容・機能・園生活の流れについて理解する。
2. 幼児一人一人を理解すると同時に、幼児の発達の実情や幼稚園教育の実態に触れながら援助の在り方を学ぶ。
3. 幼稚園教諭の専門性に触れながら、幼稚園教諭の職務内容及び役割などを把握し、幼児教育への関心を深める。
4. 幼稚園教諭や幼児と生活を共にする中で、保育技術を習得しながら将来の幼稚園教諭としての自覚を高める。

授業概要

本実習では、幼稚園における教師の役割や仕事内容の概要、子どもの発達の実態を実践的に学び、2年次に実施する教育実習の基礎を培うことをねらいとする。

学修に関する留意事項

教育実習指導の学びを活かして、事前準備・事後学習に努めることを望みます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習園の実習評価	70%
実習日誌・実習の振り返り	30%

テキスト

『実習の心得』

参考文献

文部科学省『幼稚園教育要領解説』

参考URL

特記事項

「教育実習指導(1)」が不合格の場合、また1年生前期における幼稚園免許必須科目が3科目以上不合格の場合は「教育実習」は受けられません。

2023年度

教育実習 (Teaching Practice)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

授業計画 (フリーフォーマット)

- 1) 実習先：本学が依頼する公立・私立幼稚園、認定こども園 (四日市市・亀山市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市など)
- 2) 実習期間：2023年11月6日(月)から11月10日(金)1週間
- 3) 事前訪問：2023年10月中旬
- 4) 事前訪問の概要：実習園を訪問し、園長先生からオリエンテーションを受ける
園の概要・教育方針・教育課程(年間指導計画、主な行事)
実習生としての心構えとマナー(職務・服装・持ち物・態度・その他留意点等)
実習の流れ(幼児の実態、幼児との関わり方、安全配慮等の留意点等)
- 5) 実習内容(園によって多少違いがある)
園長先生や担任教諭の指導に従って、幼児と共に生活をする。
幼児の様子を観察し、幼児の発達を理解する。
担任教諭の指導を受けて、出勤から退勤までの幼稚園での勤務を体験する。
幼児の降園後、環境整備や翌日の環境構成の手伝いを行い、1日の実習を反省する。
実習日誌を書き、翌日担任教諭に提出して指導を受ける。

2023年度

教育実習指導（１）（Guidance of Teaching Practice）

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

テーマ

教育実習 の事前・事後指導

到達目標

1. 幼稚園教育の基本、目的、幼児の発達、園生活の流れ、幼稚園教諭の職務を理解する。
2. 教育実習の意義や目的を理解し、自己課題を明確にする。
3. 幼児教育者として保育観、教育観を構築する。

授業概要

教育実習の心得や望ましい実習態度について学ぶと同時に、実習にあたって幼稚園教育要領の理解、環境を通して行う教育、幼児理解、幼稚園教諭の職務等理解を深める。以上の目的において、日誌や計画の立案、振り返りについて学習する。

学修に関する留意事項

授業前に「実習の心得」を読み、予習した上での授業参加を望みます。
授業への取り組みはレポート課題も含みます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への取り組み（到達目標 1.2.3）	60%
提出物（到達目標2.3）	20%
教材（到達目標 1）	20%

テキスト

実習の心得

参考文献

文部科学省「幼稚園教育要領解説」
出）フレーベル館

参考URL

特記事項

- ・「実習にあたって」「事前訪問報告書」のいずれか片方でも提出期限が遅れた場合は、不合格とします。
- ・「教育実習指導（１）」が不合格となった場合、教育実習 を受けることはできません。
- ・幼稚園教諭としての実務経験があります。

2023年度

教育実習指導（１）（Guidance of Teaching Practice）

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

授業計画（フリーフォーマット）

- 第1回：教育実習の目的・意義について
〔時間外学習〕教育実習に向けての自己課題を考える
(1時間)
- 第2回：教育実習の内容と心得について
〔時間外学習〕実習先の特徴の理解(1時間)
- 第3回：幼稚園の教育要領について
〔時間外学習〕幼稚園教育要領の理解(1時間)
- 第4回：実習日誌の目的と内容について
〔時間外学習〕「実習にあたって」の清書(1時間)
- 第5回：実習日誌の書き方について
〔時間外学習〕実習日誌の記述(1時間)
- 第6回：教育実習 直前指導
〔時間外学習〕日誌の見直しと準備(1時間)
- 第7回：教育実習後の成長と自己課題についてのディスカッション
〔時間外学習〕次の実習への心構えの整理(1時間)

2023年度

保育実習 (Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	4	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子、中嶋 麻衣								

テーマ

【保育実習 (保育所)】保育所における観察・参加実習・部分実習など

到達目標

1. 保育所または施設の機能・保育内容・園生活の流れについて、実践を通して理解する。
2. 乳幼児と関わる中で一人ひとりを理解し、援助・指導の在り方を体験的に学ぶ。
3. 保育士の専門性に触れながら保育士の職務内容及び役割、チームワークなどを把握し、体験を通して保育への関心を高める。
4. 保育士や乳幼児と生活を共にし関わる中で保育技術を習得しながら将来の保育士としての自覚を高める。

授業概要

保育所の実態・保育内容・保育技術を実践的に理解しながら、乳幼児理解を深め、保育士の職務について学ぶ。

学修に関する留意事項

保育実習指導 (1) の学びを活かし、時間外学習において事前準備・事後学習に努めてください。
指定された書類等が期限内に提出されない場合は実習へ行くことができません。
指定された実習日数の3分の1欠席があった場合は実習を中止にする場合があります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習園(施設)の実習評価	70%
実習日誌	30%

テキスト

『実習の心得』

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド社

参考URL

特記事項

保育者(幼稚園)としての実務経験があります。(権部)

2023年度

保育実習 (Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	4	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子、中嶋 麻衣								

授業計画 (フリーフォーマット)

【保育実習 (保育所)】

1) 実習先及び期間

実習園：原則として学生の出身地域の保育所

期間：2023年2月13日(火)～26日(月)おおむね10日間

2) 事前訪問・オリエンテーションの内容

園の概要、職員構成・保育方針、日課(年間指導計画、主な行事等)

実習生としての心構え(職務・態度等)及び実習の流れ(園の生活リズム等)・配慮事項などの確認

配属クラス・部分実習の有無・実習訪問の都合の悪い日などの確認

3) 実習内容(園によって多少違いがある)

園長及び指導保育士の指導に従って、勤務を体験し、保育技術及び養護技術を習得する。

日々の実習目標を持って乳幼児と関わり、子ども理解を深める。

保育士の指導を受けて、出勤から退勤までの勤務を体験し、1日を反省する。

2023年度

保育実習指導 - (1) (Guidance of Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

テーマ

保育実習 (保育所)に関する事前・事後学習

到達目標

1. 保育実習 の意義・目的・内容を理解し、自己課題を明確化する。
2. 実習における観察・記録・実践の方法及び心構えを主体的に取り組み理解する。
3. 実習後の総括及び自己評価を通して、新たな課題を明確化する。

授業概要

本授業では、保育所の目的、保育士の職務、乳幼児の発達などを理解することにより、実習の目的や意義を学ぶことをねらいとする。加えて、実習の心構えや望ましい実習態度についても学習する。

学修に関する留意事項

本授業は、保育実習 (保育所)の実施に向けて、グループワーク、模擬保育を実施します。そのため主体的・積極的に取り組む姿を評価します。
また、時間外学習として授業前に『実習の心得』の熟読と復習を積極的に行うことを望みます。
上記の他に、下記のガイダンスがあるため、必ず参加してください。

ガイダンス 事前訪問説明 事前訪問に際して
ガイダンス 実習直前指導 実習前の最終確認

成績評価方法・基準

評価項目	割合
グループワーク (到達目標 1, 2, 3)	40%
課題への取り組み (到達目標 1, 2, 3)	60%

テキスト

『実習の心得』

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定
こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド本社

参考URL

特記事項

- ・「実習にあたって」「事前訪問報告書」のいずれか片方でも未提出の場合は、保育実習を行えません。
- ・本授業 保育実習指導 (1) が不可の場合も保育実習を行えません。積極的な気持ちで授業に臨んでください。
- ・保育者 (幼稚園教諭) として実務経験があります。

2023年度

保育実習指導 - (1) (Guidance of Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	1	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

授業計画 (フリーフォーマット)

1. 保育実習 (保育所) の意義と目的・実習内容
時間外学習: 保育実習 (保育所) についての課題作成 (1時間)
2. 保育実習 (保育所) における観察参加実習の意義
時間外学習: 実習の心得を読んでおくこと (30分)
3. 保育実習 (保育所) における実習日誌の書き方・日誌作成に関するグループワーク
時間外学習: 日誌ワークシートの整理 (1時間)
4. 保育実習 (保育所) における指導計画の立案とその基本的な考え方・指導案作成に関するグループワーク
時間外学習: 指導案ワークシートの整理 (1時間)
5. 保育実習 (保育所) における部分実習の計画
時間外学習: 部分実習指導案の作成 (2時間)
6. 保育実習 (保育所) における部分実習の実践 (1)・模擬保育の準備
時間外学習: 模擬保育実施の指導案の作成 (1時間)
7. 保育実習 (保育所) における部分実習の実践 (2)・模擬保育の実施
時間外学習: 模擬保育実施後の振り返りシートの作成 (1時間)
8. 保育実習 (保育所) における部分実習の実践 (3)・模擬保育の実施
時間外学習: 模擬保育実施後の振り返りシートの作成 (1時間)

2023年度

暮らしと環境 (Everyday Life and Environment)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科, オフィスワークコース, 介護福祉コース								
教員名	堀井 雅恵								

テーマ

地球環境問題とわたしたちの生活とのつながりについて学び、持続可能な社会について考える

到達目標

1. 社会人として必要な環境学の知見を得る。
2. 様々な地球環境問題の概要やその原因、問題間のつながりについて理解する。
3. 地球環境問題と持続可能な社会について自分なりの考えを述べることができる。

授業概要

20世紀の科学と産業、経済の発展は、私たちの生活に豊かさをもたらしたが、現在、大気汚染、海洋汚染、資源・エネルギーの枯渇、地球温暖化等の深刻な地球環境問題を引き起こしている。今のままでは、私たちの社会がたちゆかなくなる危険性が高い。地球環境問題の概要について学ぶとともに、人と自然が共存してきた昔の暮らし方や新しい自然回帰の動きを参考に持続可能な社会のあり方について考える。

学修に関する留意事項

- ・教科書は用いませんが、授業中に適宜、参考文献、参考URLを紹介しします。
- ・主にパワーポイントで授業を行い、適宜、板書、プリントも用います。
- ・授業の中でディスカッションや小レポートの作成も行います。
- ・グループワークでの積極的な取り組みを評価します。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験（到達目標1・2・3）	70%
授業への取り組み（到達目標1・2）	15%
グループワーク（到達目標2・3）	15%

テキスト

教科書は用いませんが、授業中に適宜、参考文献、参考URLを紹介しします。

参考文献

参考URL

特記事項

現在の地球環境問題は自然科学と経済学や社会学の問題が複雑に絡み合っており、専門家が考えるだけでは解決できなくなっています。問題解決には実社会の中の様々な立場の人が当事者として関与することが必要と考えています。皆さんも特に興味を持った環境問題については、インターネット等でいろいろ調べたりしてみてください。

2023年度

暮らしと環境 (Everyday Life and Environment)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科, オフィスワークコース, 介護福祉コース								
教員名	堀井 雅恵								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	イントロダクション 地球環境問題とは何か? 地球環境問題にはどのようなものがあるのか、何が原因なのか、概説する。 <時間外学習> 自分の関心のある地球環境問題について調べる(1時間)。
2	人口問題と食糧不足 20世紀の中盤から後半にかけての爆発的な人口増加の原因と背景、その環境への影響や発展途上国の食糧不足の問題、地域格差の問題、また、先進国(日本)の少子高齢化問題を扱う。 <時間外学習> 人口増加の歴史、世界の人口分布などを調べる(1時間)。
3	水質汚濁・海洋汚染・土壌汚染 水俣病、イタイイタイ病、富栄養化による赤潮等、水質汚濁、海洋汚染に関わる公害・環境問題を扱う 砂漠化、土壌浸食、土壌への塩類集積、酸性雨の土壌への影響、肥料、農薬、化学物質による土壌汚染などを扱う。 <時間外学習> 水質汚濁・海洋汚染・土壌汚染に関連した公害・環境問題の例について調べる(1時間)。
4	大気汚染 四日市ぜんそくなど大気汚染に関わる公害病、光化学スモッグ、PM2.5などの大気汚染物質、地球規模の環境問題であるオゾン層破壊について扱う。 <時間外学習> 大気汚染に関連した公害・環境問題の例について調べる(1時間)。
5	人間活動による気候変動 地球温暖化、エルニーニョ・ラニーニャなど地球規模の気候変動、また、ヒートアイランド現象など局地的な気候変動についても扱う。 <時間外学習> 地球温暖化に関する様々な意見や人間活動によって起こっていると考えられる気候変動について調べる(1時間)。
6	暮らしと環境に関するグループワーク 日常思うことと地球環境問題との関連について5-7人のグループで話し合い、結果を発表して全体共有する。 <時間外学習> 関心のある環境汚染問題や社会問題についての資料収集(1時間)。
7	資源・エネルギー問題I 化石燃料・化石エネルギー 化石燃料・化石エネルギーの枯渇と汚染物質排出、二酸化炭素排出の問題について扱う。 <時間外学習> 石油の枯渇と二酸化炭素排出の問題、石油以外の化石燃料について調べる(1時間)。
8	資源・エネルギー問題II 原子力エネルギー 原子力エネルギーとはどんなものか? そのメリット・デメリットについて扱う。 <時間外学習> 原子力について言われていることを調べる(1時間)。
9	資源・エネルギー問題III 自然エネルギー 太陽光発電、風力発電、小水力発電、地熱発電、バイオマス発電などについて扱う。 <時間外学習> 現在ある自然エネルギー、将来可能な自然エネルギーについて調べる(1時間)。
10	化学物質 化学物質の健康影響 重金属、硫酸化合物などの公害病の原因物質、シックハウス症候群を起こすホルムアルデヒド、食品添加物、農薬、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)などが人の健康に及ぼす影響について、また、環境汚染のアレルギーへの影響などについても扱う。 <時間外学習> 環境ホルモンについて調べる(1時間)。
11	廃棄物とリサイクル ごみ問題やプラスチックなどのリサイクルについて扱う。 <時間外学習> 現在、日本で行なわれているリサイクルについて調べる(1時間)。
12	生態系と生物多様性 環境破壊による生物の絶滅、生物多様性の喪失について、また、人と自然が調和し、生物多様性を保ってきた里山の環境についても扱う。 <時間外学習> 生物多様性とは何か? 生物多様性が失われることは何が問題かについて調べる(1時間)。
13	地球環境問題についてのグループワーク これまでに出てきた環境問題に関する意見について、5-7人のグループで話し合い、結果を発表して全体共有する。 日常思うことと地球環境問題との関連について5-7人のグループで話し合い、結果を発表して全体共有する。 <時間外学習> 関心のある環境問題についての資料収集(1時間)。
14	持続可能な社会 自然と人間が共存していた昔の暮らし方と現代の生活を比較し、新しい自然回帰の動き(田舎に移住する若者等)などを参考に持続可能な社会を考える。 <時間外学習> 深刻な環境問題が起こる中、どのような社会なら持続可能か、考える(1時間)
15	まとめ <時間外学習> グループワークの結果を参照しながら、自分の関心のある環境問題とその解決策をまとめておく(1時間)。

2023年度

スポーツと健康（実技）（Physical Exercise - practice -）

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	実技
開講学科等	子ども学科								
教員名	小澤 亮二								

テーマ

スポーツ本来の楽しさや身体を動かすことの大切さを、様々なスポーツ活動を通じて理解し主体的に学ぶ。

到達目標

- 1.実技に参加し、各競技の特徴を理解している。
- 2.各回にあった内容を提案し実施することができる。
- 3.自身の健康増進について考えをまとめ、レポートを作成することができる。

授業概要

スポーツの実践を通して、自身の生涯とスポーツとの関わり、健康増進について主体的に学んでいくための授業。
本授業では、各回の実技内容や状況に合わせてルールを設定し進めていく。様々な状況に合わせたスポーツの楽しみ方やその指導法について学ぶ。

学修に関する留意事項

- ・定期試験は行わない。
- ・指定された課題のレポートを作成し、提出する。
- ・体調を整えて参加する。
- ・運動のできる服装、シューズで参加する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業に対する取り組み(到達目標1)	50%
各回の方法の設定(到達目標1.2)	20%
レポート(到達目標3)	30%

テキスト

参考文献

参考URL

2023年度

スポーツと健康（実技）（Physical Exercise - practice -）

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	実技
開講学科等	子ども学科								
教員名	小澤 亮二								

授業計画（半期科目）

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	ガイダンス 授業内容・出欠・取り組み方・評価について 【時間外学習】サッカーの特性を調べておく(15分)
2	サッカー ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】サッカーの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)
3	サッカー 基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】サッカーの「守備」の特徴を調べておく(15分)
4	サッカー ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの特性を調べておく。(15分)
5	バスケットボール ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)
6	バスケットボール 基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「守備」の特徴を調べておく(15分)
7	バスケットボール ゲーム 【時間外学習】バドミントンの特性を調べておく。(15分)
8	バドミントン ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バドミントンの「ショット」の種類を調べておく(15分)
9	バドミントン 基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの特性を調べておく。(15分)
10	バレーボール ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)
11	バレーボール 基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの「ローテーション」の特徴を調べておく(15分)
12	バレーボール ゲーム 【時間外学習】レクリエーションについて調べておく。(15分)
13	レクリエーション レクリエーションの意義と実践・ゲーム 【時間外学習】スポーツ大会の「意義」について調べておく(15分)
14	スポーツ大会の計画及び内容の決定 【時間外学習】スポーツ大会の準備(15分)
15	スポーツ大会の実施

2023年度

保育者論 (Teacher of Early Education)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章								

テーマ

現代保育者の役割・専門性

到達目標

1. 保育者とはどのような職業なのかが説明できる
2. 保育者が期待されている具体的な役割を説明できる
3. 保育（者）をめぐる課題を具体的に説明できる

授業概要

本授業では、現代保育者をめぐる課題について多様な観点から考察をする。具体的には子どもの現状や制度などを概観した上で、保育者として求められる資質・能力や専門性などの保育者自身が備えるべきものや、保護者対応、外部機関との連携、保幼小連携など現代的な保育者の役割等についても理解する。

学修に関する留意事項

授業で聞いたことはメモを取るようになしてください。
中間試験、定期試験共に口頭で説明した内容についても多く出題されますので、授業時のメモに加えて時間外で授業内容の整理・確認が必要となります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験（到達目標1,2,3）	40%
定期試験（到達目標1,2,3）	60%

テキスト

参考文献

特に指定しません

参考URL

特に指定しません

2023年度

保育者論 (Teacher of Early Education)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	イントロダクション：授業概要の説明、「保育・保育者とは」 時間外学習：配付資料を読む(30分)
2	変容する子どもの生活環境と学び 時間外学習：配付資料を読む(30分)
3	多様化する子育て支援 時間外学習：配付資料を読む(30分)
4	法令、制度等による保育者の専門性 時間外学習：配付資料を読む(30分)
5	園での連携、家庭との連携：チーム保育と協働 時間外学習：配付資料を読む(30分)
6	小学校との連携：保幼小接続、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム 時間外学習：配付資料を読む(30分)
7	諸外国の保育・保育者・子育て支援 時間外学習：配付資料を読む(30分)
8	遊びを指導すること 時間外学習：配付資料を読む(30分)
9	園生活での様々な出会い：人との出会い 時間外学習：配付資料を読む(30分)
10	園生活での様々な出会い：絵本(文字)との出会い 時間外学習：配付資料を読む(30分)
11	園生活の様々な出会い：音楽(リズム)との出会い 時間外学習：配付資料を読む(30分)
12	保育を観ること、記述すること、伝えること 時間外学習：配付資料を読む(30分)
13	保育におけるリスク：保育現場における危機管理 時間外学習：配付資料を読む(30分)
14	これからの保育者にもとめられること 時間外学習：配付資料を読む(30分)
15	まとめ 時間外学習：配付資料を読む(30分)

2023年度

子ども家庭支援論 (Child and Family Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

テーマ

子育て家庭を取り巻く現状と課題を理解し、子育て家庭が抱える多様なニーズに応える専門的知識と方法を学ぶ。

到達目標

1. 子育て家庭の現状について理解することができる。
2. 子育て家庭支援の法制度について説明することができる。
3. 特別な配慮を必要とする家庭支援に必要なソーシャルワーク知識を身につける。
4. 子育て家庭をめぐる課題把握とそれに対する支援内容について具体的に説明することができる。

授業概要

子育て家庭を取り巻く現状とニーズを把握し、子育て家庭を支える制度、支援に必要な専門的知識と方法を学ぶ。また、特別な配慮を必要とする家庭に関する事例検討を通して、その解決のための具体的な支援内容を考える力を身につける。

学修に関する留意事項

- ・グループワークが中心となるため、積極的に参加することを求めます。
- ・グループワークでは準備をして講義に参加してください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題への取り組み	40%
グループワークへの参加	30%
小レポート等	30%

テキスト

新基本保育シリーズ 子ども家庭支援論
出) 中央法規 著) 児童育成協会監修

参考文献

参考URL

2023年度

子ども家庭支援論 (Child and Family Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子ども家庭支援の学ぶにあたって 授業の進め方、学習方法、評価について。この授業で何を学ぶのかの概要を理解する。 <時間外学習> 予習：テキスト第1講・第2講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
2	子育て家庭を取り巻く現状 子育て家庭をめぐる子育てに対する不安や貧困問題、多様な家庭の形態について理解する。 <時間外学習> 予習：テキスト第9講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
3	子育て家庭を取り巻く現状 事例問題をとおして、多様な家族に対する支援について理解を深める。 <時間外学習> 予習：前回の復習(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
4	子ども家庭支援の内容と対象 子ども家庭支援の具体的な対象、内容とアプローチの方法などについて理解を深める。 <時間外学習> 予習：テキスト第11講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
5	子育て支援施策、次世代育成支援施策 子育て支援に関する制度の枠組みや体制について理解する。 <時間外学習> 予習：テキスト第3講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
6	子育て家庭を取り巻く社会資源 子育て家庭を取り巻くフォーマルな社会資源とインフォーマルな社会資源について理解する。 <時間外学習> 予習：テキスト第4講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
7	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 保育の専門性とソーシャルワークの関連性について学び、専門性を活かした子育て支援のあり方について理解する。 <時間外学習> 予習：テキスト第5講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
8	保育士に求められる基本的態度 ソーシャルワークの視点をもとに援助をおこなうために必要な基本的態度について学ぶ。 <時間外学習> 予習：テキスト第8講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
9	保育所等を利用する子ども家庭への支援 保育ソーシャルワークの専門性、多機関・多職種との連携について学ぶ。 <時間外学習> 予習：テキスト第12講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
10	地域で求められる子育て家庭支援 地域の子育て家庭を取り巻く環境、そこに携わる保育士に求められる視点について理解する。 <時間外学習> 予習：テキスト第6講、第7講を読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)
11	特別な配慮を必要とする子育て家庭支援(要保護児童) 事例検討を通して、要保護児童の家庭支援を学ぶ。 <時間外学習> 予習：身近な要保護児童の支援について調べる(30分) 復習：授業内容の復習(30分)

2023年度

子ども家庭支援論 (Child and Family Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中嶋 麻衣								

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
12	特別な配慮を必要とする子育て家庭支援（要保護児童） 事例検討を通して要保護児童の家庭支援を学ぶ。 <時間外学習> 予習：グループワークの準備（30分） 復習：グループワークの内容を振り返り理解を深める（30分）
13	特別な配慮を必要とする子育て家庭支援（障害児） 事例検討を通して障害児の家庭支援を学ぶ。 <時間外学習> 予習：身近な障害児の支援について調べる（30分） 復習：授業内容の復習（30分）
14	特別な配慮を必要とする子育て家庭支援（障害児） 事例検討を通して障害児の家庭支援を学ぶ。 <時間外学習> 予習：グループワークの準備（30分） 復習：グループワークの内容を振り返り理解を深める（30分）
15	子育て支援に関する課題と展望 講義の内容を振り返り、多様化する子育て支援の課題と今後の展望について理解する。 <時間外学習> 予習：今までの講義内容およびテキスト第15講を読む（30分） 復習：今までの講義内容の復習（60分）

2023年度

保育内容 - 人間関係 (Content - human relationship)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

テーマ

子どもの発達過程を理解し、保育内容領域「人間関係」について実践的に学ぶ

到達目標

1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「人間関係」のねらいと内容を理解する。
2. 乳幼児の様々な「人間関係」の育ちや芽生えについて、発達の観点から総合的に理解する。
3. 幼稚園や保育園における人間関係の大切さや保育所の援助について理解する。

授業概要

本授業では、園生活における様々な乳幼児の「人間関係」に関する知識、保育を通して子どもの人とのかかわりについて学ぶ。また、その力を育むための保育者の実践的な援助のあり方についてDVD視聴や実践記録、指導案からの討論あるいはロールプレイとその振り返りを通して理解を深める。グループ討論の内容についてはICTを利用してまとめる。

学修に関する留意事項

授業態度はグループワーク等での積極的な発言や周りとの協調性を重視する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験（到達目標1.2.3）	60%
課題・授業態度（到達目標1.2.3）	40%

テキスト

必要資料を配付

参考文献

「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」
出) チャイルド本社

参考URL

特記事項

幼稚園教諭としての実務経験がある。

2023年度

保育内容 - 人間関係 (Content - human relationship)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	青木 信子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション・「人間関係」とは 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
2	領域「人間関係」のねらいと内容 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
3	人とかかわりの育ち(1): 乳児期を中心に 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
4	人とかかわりの育ち(2): 1歳以上3歳未満児を中心に 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
5	人とかかわりの育ち(3): 3歳児以上児を中心に 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
6	人とかかわる力を育む保育者の役割(1): トラブル場面について考える 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
7	人とかかわる力を育む保育者の役割(1): トラブル場面について考える 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
8	人とかかわる力を育む保育者の役割(2): 多様な配慮と保育構想 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
9	人とかかわる力を育む保育者の役割(3): 地域連携と保育構想 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
10	人とかかわる力を育む保育者の役割(4): 保護者とかかわり 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
11	人とかかわる力を育む保育者の役割(4): 保護者とかかわり 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
12	人とかかわる力を育む保育者の役割(5): 保育者同士とかかわり 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
13	教材から人間関係を考える 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
14	教材から人間関係を考える 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)
15	教材から人間関係を考える ・全体の振り返り 〔時間外学習〕授業内容の整理 (1時間)

2023年度

保育内容 - 表現 (Content - expression)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、榊原 尉津子、亀澤 朋恵								

テーマ

領域「表現」における創造的思考と指導・援助法について学ぶ。

到達目標

1. 領域「表現」のねらい及び内容について理解する。
2. 子どもの表現活動を創造的に展開する実践力を身につける。
3. 領域「表現」に応じた指導・援助法を修得する。

授業概要

子どもの表現とその表現過程について、これまでの専門領域の学びを踏まえたグループ演習により探求し、領域「表現」における保育者の指導・援助について考える。具体的な子どもの表現事例検討や創造的保育実践を捉えることを通して保育を構想する方法を研究する。

学修に関する留意事項

時間外の学習が含まれますので毎回の授業で確認してください。
本授業は受講生の主体的姿勢が求められます。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
グループ演習の取り組み（到達目標1,2）	50%
レポート・学習記録（到達目標1、2、3）	30%
発表（到達目標2、3）	20%

テキスト

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本

出) チャイルド本社

著) 内閣府, 文部科学省, 厚生労働省

参考文献

子どもの造形表現

出) 開成出版

著) 北沢昌代、畠山智宏、中村光絵

保育内容領域表現 日々わくわくを生きる子どもの表現

出) わかば社

著) 堂本真実子

参考URL

2023年度

保育内容 - 表現 (Content - expression)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、榊原 尉津子、亀澤 朋恵								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション 領域「表現」のねらい及び内容について 時間外学習 領域「表現」のねらいと内容について熟読しておくこと
2	音・動き・形の表現について 時間外学習 講義内容の復習
3	音・動き・形の表現について 時間外学習 講義内容の復習
4	音・動き・形の表現について 時間外学習 小レポート作成(45分)
5	表現する過程の探求1 主体的・対話的学びについて 時間外学習 小レポート作成(45分)
6	表現する過程の探求2 テーマに沿ったグループ演習(音・動き・形) 時間外学習 ワークシートの作成(30分)
7	表現する過程の探求3 テーマに沿ったグループ演習(音・動き・形) 時間外学習 ワークシートの作成(30分)
8	表現する過程の探求4 テーマに沿ったグループ演習(音・動き・形) 時間外学習 小レポート作成(45分)
9	ICTの活用について(全体) -写真や動画の活用について -グループ分け・演習 時間外学習 写真・映像の編集ができるよう練習をしておくこと
10	グループ演習1 時間外学習 写真・映像による学習記録(45分)
11	グループ演習2 時間外学習 写真・映像による学習記録(45分)
12	ICTの活用による発表資料(ドキュメンテーション・ポスター)作成 時間外学習 発表資料の仕上げ
13	ICTの活用による発表 (写真や映像による)ドキュメンテーション・ポスター発表
14	ICTの活用による発表 (写真や映像による)ドキュメンテーション・ポスター発表
15	全体の振り返り 時間外学習 全体のレポート作成(120分)

2023年度

教育の方法と技術 (Instruction and Technique on Education)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中條 敦仁								

テーマ

社会がSociety5.0に突入した新たな時代において、教員のさらなる資質・能力向上、新たな教育方法・技術の習得が課題となっています。そこで、本講義のテーマを、「これまで学んできた5領域に関連する教育方法・技術の統合」、「ICT機器の活用を含めた現場で使える具体的教育方法と技術の習得」とします。

到達目標

「次世代を担う子どもが未来を切り開くために必要な資質・能力を楽しく身につけるための教育方法と技術を他者との協働を通して考えること」とし、以下の3つの目標達成をめざします。

- 5領域を核に、教育方法と必要な技術について説明することができる。
- 他者と対話をとおして、教育に有用な教材・教具を仕上げる事ができる。
- 課題に対する自らの考えを主体的に表現することができる。

授業概要

本講義の内容は、いくつかの教育実践方法の実践を通して教育の基本原則を理解すること、制作した教材・教具を保育・教育に活かす方法や技術を再確認すること、今後広がっていくICT機器の現場における具体的な活用方法を探ることの3点です。実践的活動を踏まえた思考活動をおこなうことで、さまざまな教育方法の習得と指導技術の向上をめざします。

学修に関する留意事項

最終レポートは、評価を付して返却する。
成績は、授業支援システムへの課題提出や制作物を重視するが、講義の振り返りとしての最終レポートが未提出の場合は、単位を認定しない。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業支援システムへの課題の提出と充実度（到達目標1）	30%
制作物の提出・仕上がり（到達目標2）	30%
最終レポート(振り返り)の提出と充実度（到達目標3）	40%

テキスト

各回講義用資料を配布する

参考文献

保育所保育指針（平成29年告示）
出）フレーベル館 著）厚生労働省

幼稚園教育要領（平成29年告示）
出）フレーベル館 著）文部科学省

幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年告示)
出）フレーベル館 著）厚生労働省・文部科学省

参考URL

2023年度

教育の方法と技術 (Instruction and Technique on Education)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中條 敦仁								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	<p>【話題】講義概要と教育方法の基礎【教育方法に関する基礎】</p> <p>【概要】基礎理論を踏まえ、保育・幼児教育現場で展開される教育方法をグループワークにより書き出す。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】保育・幼児教育現場で展開されている教育方法を書き出す。(30分)</p> <p>【復習】保育・幼児教育で展開される教育方法の特徴を個々にまとめる。(20~40分)</p>
2	<p>【話題】保育士・幼稚園教諭に必要な知識や技術【知識や教育技術に関する基礎】</p> <p>【概要】教育方法(教育実践)をおこなう上で、必要となる知識や技術をグループワークを通して整理する。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】保育士・幼稚園教諭に必要な知識や技術を書き出す。(30分)</p> <p>【復習】必要な知識や技術を整理し、まとめる(30分)</p>
3	<p>【話題】周囲にある環境の調査【5領域 環境】</p> <p>【概要】高田短期大学の周囲にある環境を調査をする。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】高田短期大学の周囲にある環境が保育・幼児教育に活かせるか考える。(20分)</p> <p>【復習】調査した結果を整理し、manabaに指定期日までに提出する。(20~40分)</p>
4	<p>【話題】調査した環境をもとに保育・幼児教育方法の可能性を考える【5領域 環境】</p> <p>【概要】調査した環境の保育・幼児教育への活用の可能性を、グループワークによって整理する。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】調査結果をもとに、自分ならどのようにその環境を活用するかを考える。(30分)</p> <p>【復習】グループワークの結果を踏まえ一つ活用方法を考え、まとめる。(20~50分)</p>
5	<p>【話題】手遊び・手遊び歌の活用の効果・意義【5領域 表現】</p> <p>【概要】予習として収集してきた手遊び歌をもとに、手遊びの活用の効果を、グループワークによって考える。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】手遊び歌を収集し、実演できるようにする。(40分)</p> <p>【復習】手遊び・手遊びの効果や意義を考え、manabaに指定期日までに提出する。(20~40分)</p>
6	<p>【話題】人間関係形成や心身の健康を促す手遊び・手遊び歌【5領域 人間関係・健康】</p> <p>【概要】人間関係や健康に関連する手遊びを、グループワークによって考える。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】人間関係や健康に関連する手遊びを探す。(40分)</p> <p>【復習】人間関係形成や心身の健康に活かすことに対する見解を、manabaに指定期日までに提出する。(20~40分)</p>
7	<p>【話題】絵本の読み聞かせの教育的効果【5領域 言葉】</p> <p>【概要】絵本の読み聞かせの保育的、教育的効果を知り、簡易の絵本の構想を練る(作り方の説明も含む)。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】絵本の読み聞かせの効果を考える。(30~50分)</p> <p>【復習】簡易絵本の構想を完成させ、制作に備える。(20~40分)</p>
8	<p>【話題】簡易絵本の制作【5領域 環境】</p> <p>【概要】簡易絵本(2コマ絵本の予定)の制作を通して、そのねらいと効果について考える。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】簡易絵本の構想を完成させ、土台となる用紙の制作をする。(40分)</p> <p>【復習】簡易絵本のデータを指定箇所に提出する。(20~40分)</p>
9	<p>【話題】ICT機器活用方法の概観とデジタル紙芝居について【情報機器活用】</p> <p>【概要】Society5.0とICT機器活用実践を概観し、なぜICT機器の活用が必要となるのかをディスカッションにより考える。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】幼児の身の回りにあるICT機器を書き出す。(20分)</p> <p>【復習】保育所・幼稚園におけるICT機器の活用の場面や効果について、復習をしておく。</p>
10	<p>【話題】PowerPointの機能とデジタル紙芝居の構想【情報機器活用 5領域 全】</p> <p>【概要】デジタル紙芝居を作成するためのPowerPointの機能の解説と絵コンテを描く。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】PowerPointの基本的な使い方を調べたり、思い出したりしておく。(40分)</p> <p>【復習】絵コンテを完成させる。(20~40分)</p>
11	<p>【話題】デジタル紙芝居の原版の描画・彩色【情報機器活用 5領域 全】</p> <p>【概要】絵コンテをもとに、デジタル紙芝居の原版となる原稿を描く。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】絵コンテをもとに、下絵を描いておく。(50分)</p> <p>【復習】デジタル紙芝居の原版となる原稿を完成させる。(20~40分)</p>

2023年度

教育の方法と技術 (Instruction and Technique on Education)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	中條 敦仁								

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
12	<p>【話題】デジタル紙芝居の原版のデータ化と音声データの作成【情報機器活用 5領域 全】</p> <p>【概要】デジタル紙芝居の原版を電子データ化し、音声データを作成する。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】セリフや効果音などの最終チェックをする。(30分)</p> <p>【復習】PowerPointデータを動画化し、指定期日までに指定箇所に提出する。(20~40分)</p>
13	<p>【話題】デジタル紙芝居の発表と使用方法・ねらい【情報機器活用 5領域 全】</p> <p>【概要】作成したデジタル紙芝居のいくつかの発表を通して、その使用場面やねらいを考える。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】事前にデジタル紙芝居を見ておく(50分)</p> <p>【復習】デジタル紙芝居作成の経験を通して、デジタル紙芝居のねらいや使用場面を考える。(20~40分)</p>
14	<p>【話題】いくつかのICT機器紹介と活用の可能性とICT活用のまとめ【情報機器活用 5領域 全】</p> <p>【概要】教育に使えるようなICT機器や活用方法を知る。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】タブレットを保育現場で活用する場合、どのような使い方ができるか考える。(20~40分)</p> <p>【復習】今後の保育・教育現場におけるICT機器活用の可能性を考える。(20~40分)</p>
15	<p>【話題】教育の方法と技術に関する総まとめ【5領域 全 情報機器活用】</p> <p>【概要】教育の方法および保育・教育者に必要な技術について振り返りと今後の展望についても考える。</p> <p>時間外学習</p> <p>【予習】これまでの講義内容をふり返っておく。(30分)</p> <p>【振り返り】講義内容を振り返り、manabaに設定された最終レポートを指定期日までに提出する(必須課題・45分)。</p>

2023年度

子ども理解とカウンセリング (Child Psychology and Counseling)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	橋本 景子								

テーマ

「カウンセリング」とは何か理解する

到達目標

1. 視野を広げる
2. 子どもや保護者の背景を理解しようと努めるようになる
3. ありのままの「自分」を受け入れられるようになる
4. 人には様々な考え方、価値観があることを知る。

授業概要

様々な状況にある子どもや保護者支援を行う際に必要となる心理的援助の考え方、方法、技術について、現実にそった様々な角度から考えていく。そのためには「自分を知る」のも大切なことで、授業の中ではディスカッションやDVDを通して自分というものを振り返っていく。なお、テキストは適宜必要な所を使用します。

学修に関する留意事項

出席は「課題への取り組み」の中で点数化します。遅刻3回で欠席1回と見做しますので注意すること（30分近く欠席を3回したら1回の欠席とほぼ同じです）。
新聞記事やニュース、ドラマ、映画などは見方によっては大変貴重な教材となります。疑問に思ったことはメモをして授業に持ち込んでください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試験（到達目標1/2）	50%
チェックテスト4回提出（到達目標1/2/3）	20%
小レポート2回提出（到達目標1/2/3）	20%
課題への取り組み（到達目標1/3）	10%

テキスト

『子ども理解とカウンセリング』
出) みらい 著) 伊藤健次 編著

参考文献

『臨床心理学概論』
出) NHK出版 著) 倉光修 著

『あの時本当は・・・』
出) 樹花舎 著) 長谷川博一著

『子どもと保護者への効果的な「声かけ・応答」』
出) 金芳堂 著) 横井一之・吉弘淳一編集

参考URL

特記事項

私たちは人と接するとき、自分の弱みがいろいろな形で現れてきます。そのことによって相手に影響を与えます。そこでまず自分というものを見直すことから始めましょう。自分も相手も、お互いに気持ちよく生きたい（行きたい）ものです。

2023年度

子ども理解とカウンセリング (Child Psychology and Counseling)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	講義
開講学科等	子ども学科								
教員名	橋本 景子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	カウンセリングと相談の違い / 今後の生活において「カウンセリング」の視点を意識する (10分)
2	「受容・共感・傾聴」の大切さ、心の構造 (意識・無意識) / 自分の心の奥を振り返る (15分)
3	DCMとICD / 友達といるいろいろな「症状」について話し合ってみよう (15分)
4	イド・エゴ・スーパーエゴ、境界性人格障害について / 症状の「背景」にあるものを考える (20分)
5	DVDから子どもの心について考える(1) / テキストP.98-P.119を読んでおくことで理解が深まります (20分)
6	DVDから子どもの心について考える(2) / テキストP.98-P.119を読んでおくことで理解が深まります (20分)
7	多重人格とPTSD / 「ストレス」について考える (15分)
8	多重人格 (実際の映像から考える)、ディスカッション / 「ストレス」について考える (20分)
9	第11章 問題行動と子ども臨床 / P.184-P.203を読んでおく (20分)
10	第12章 コミュニティと子ども臨床 / P.204-P.223を読んでおく (20分)
11	エゴグラムテストで自分を知る、 / 一度のこの辺りで「自分」を振り返ってみよう。誰かと「自分」について話してもよい (20分)
12	第13章 子ども臨床と専門性 事例から考える / テストの結果から「自分」というものを振り返ってみる (15分)
13	ワーク「私の価値観」 / 価値観には違いがあることを知るためにもいろいろな人と積極的に話し、人の価値観にも耳を傾けよう (20分)
14	ワークからの学びについて「価値観」というものを考える / 心理面で日頃疑問に思っていることをこれまで学んだことを基に、改めて考えてみよう (15分)
15	まとめと振り返り / 質問を用意しておいてください (15分) 授業支援システムによるレポート試験を行います

2023年度

子育て支援 (Childcare Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	河内 純子								

テーマ

様々な子育て家庭の状況を理解し、支援のスキルを学ぶ。

到達目標

- 1, 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する支援の視点から、考えたり、実践したりしてより良い親子のかかわりについて理解する。
- 2, 様々な場や対象に即した支援の方法及び技術を実践やグループワーク、事例学習等を通して具体的に理解する。
- 3, 考えたことをいろいろな手段を用いて表現することができ、他者にわかりやすく伝えることができる。

授業概要

いろいろな子育て家庭の状況を理解し、授業やグループワーク、時間外学習等の中で、具体的な支援の方法を考えたり、創ったり、体験したりして実践力を養う。

学修に関する留意事項

子どもの最善の利益を目指し、子どもも大人も安心感や幸福感をもつことができるよう、保護者に寄り添った、心をつなぐ子育て支援をみんなで考えていきましょう。
事例検討や遊びの実践等、グループワークでの具体的な学習を大切に、意欲的に意見を出し合いきましょう。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業の取り組み (到達目標 1・2)	30%
グループワーク (到達目標 2・3)	20%
提出書類	50%

テキスト

シードブック 子育て支援演習 2019年度 新保育士養成課程 対応
出) 建帛社 著) 太田 光洋 (編著)

参考文献

平成29年度告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド社

参考URL

特記事項

幼稚園教諭としての実務経験あり。また、未就園児の会の専任スタッフとしての経験あり。

2023年度

子育て支援 (Childcare Support)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	河内 純子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	子育て・親育ちを支える子育て支援と保育者の役割 時間外学習：保育所保育指針解説 第4章を読んでおく (30分)
2	現代の家庭・子育て状況と求められる子育て支援 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)
3	とも育てを進める保育の場(園)における支援 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)
4	子育て・子育て支援を支える支援の計画・実践・評価 時間外学習：振り返りシート作成 (30分)
5	とも育てを支える相談支援の基礎 時間外学習：事例検討 (30分)
6	社会資源の活用と関係機関等との連携・協働 時間外学習：実習を振り資料作成 (30分)
7	実習を終えて(子育て支援の視点から)グループワーク 時間外学習：振り返りシート作成 (30分)
8	事例検討と支援計画 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)
9	地域の子育て家庭に対する支援 親子ふれあい遊びの計画と実践 時間外学習：計画シートの記入、グループ別準備等 (30分)
10	親子ふれあい遊びの計画と実践 時間外学習：評価・振り返りシートの作成 (30分)
11	保育参加と保育参観 気になる子ども・障がいのある子どもとその家族に対する支援 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)
12	親子ふれあい遊びグループワークのまとめ 子ども虐待の予防と方法 時間外学習：振り返りシート作成 (30分)
13	特別な配慮を要する子どもとその家族に対する支援 時間外学習：子育て支援に関する社会資源について資料収集 (30分)
14	子育て支援に関する社会資源 調べ学習 時間外学習：子育て支援に関する社会資源のまとめ (30分)
15	要保護児童等の家庭に対する支援 まとめ 時間外学習：子育て支援についてのレポート作成 (30分)

2023年度

子どもと音楽 (Child and Music)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

テーマ

子どもの音楽表現活動を支え、展開できる音楽表現技術と実践方法の習得

到達目標

- 1.子どものリズム活動に対応できるピアノ表現技術とアレンジ方法の習得
- 2.子どもの歌唱活動を広げる弾き歌い技術、歌唱表現力の習得
- 3.子どもの音楽表現活動を展開するための方法と技術を学ぶ

授業概要

保育実践との関わりから子どもの歌唱活動やリズム活動を研究したり、新しい表現方法の可能性を探求したりする。
実技レッスンではこれまでの学習を生かし、表現活動を創造的に展開するための歌唱およびピアノの技術を習得し、様々な楽曲のレパートリーを広げる。

学修に関する留意事項

- <時間外学習：実技レッスン>
・実技レッスンでは事前準備・練習(予習)と事後の振り返り(復習)を必ず行うこと。
<成績評価のポイント>
・実技レッスンでは取り組み状況(課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性)も重視する。
・一斉授業では、個々の創意工夫やグループでの共同の取り組みを重視する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業の取り組み(到達目標1・2・3)	60%
実技試験(到達目標1・2)	40%

テキスト

保育・幼児教育のためのMusic Text
著) 高田短期大学音楽研究室

歌のカレンダー
出) エー・ティー・エヌ 著) 伊藤嘉子ほか 編

参考文献

参考URL

特記事項

- ・本科目では、音楽表現技術、子どもと音楽の学習内容をもとに授業展開していきます。
- ・就職試験の音楽実技課題のレッスン等は、授業外でも対応しますので、随時相談してください。

2023年度

子どもと音楽 (Child and Music)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーションー保育実践との関わりから保育者に必要な音楽表現技術について考えるー 一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術1 保育とリズム (勝井) <時間外学習> 振り返りシートの作成 (20分)
2	一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術2 リズムと動き (勝井) <時間外学習> 振り返りシートの作成 (20分) 実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記「学修に関する留意事項」参照
3	一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術3 リズム曲のアレンジ方法 (勝井) <時間外学習> グループ別表現活動の準備 (40分) 実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記参照
4	一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術4 グループ別リズム表現活動 (勝井) <時間外学習> グループ別表現活動の準備 (40分) 実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記参照
5	一斉授業：歌唱表現活動と音楽表現技術1 子どもの成長発達と歌 (木下) 実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記参照
6	一斉授業：歌唱表現活動と音楽表現技術2 保育者としての歌唱表現技術 (木下) 実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記参照
7	一斉授業：歌唱活動と音楽表現技術3 子どもの歌の表現方法 (木下) 実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記参照
8	実技レッスン：課題 (リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等) によるグループレッスン <時間外学習> 下記参照
9	一斉授業：歌唱活動と音楽表現技術4 歌をともなう表現活動 (木下)
10	成果発表会 (歌唱およびピアノの実技試験)
11	新しい表現方法の探求1 計画・練習・制作 (山本) <時間外学習> 演奏技術の習得等 (30分)
12	新しい表現方法の探求2 計画・練習・制作 (山本) <時間外学習> 演奏技術の習得等 (30分)
13	新しい表現方法の探求3 計画・練習・制作 (山本) <時間外学習> 演奏技術の習得等 (30分)
14	新しい表現方法の探求4 計画・練習・制作 (山本) <時間外学習> 演奏技術の習得等 (30分)
15	新しい表現方法の探求5 発表・まとめ (山本) <時間外学習> 演奏技術の習得等 (30分)

2023年度

仏教保育 (Buddhist Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	松山 智道								

テーマ

仏教の教えとまことの保育

到達目標

1. 仏教の教えとまことの保育の関連を理解している。
2. 「生かされて生きている」いのちに目覚め、共に育ちあうことの大切さを知っている。
3. 自分の価値観が普遍的でないことを知り、人として守り行うべき道について考え、それを実践することができる。

授業概要

子どもの育ちで大事なことは、自尊感情であり、自己肯定感や知的
好奇心、社会力など、子ども自らが学び、育つ力を伸ばし培うこと
であるが、その基盤となるものが仏教保育であることを学ぶ。

学修に関する留意事項

授業で講義する内容は、幼児教育や保育の現場で活用できるもので
す。どのように活用できるかを考えながら受講してください。後期
中に時間外学習としてレポート等の作成を行います(2時間程度
)。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業に対する取り組み(到達目標1)	10%
試験(到達目標1・2・3)	90%

テキスト

真宗の教えとまことの保育
出) 浄土真宗本願寺派保育連盟

参考文献

授業の中で指示

参考URL

2023年度

仏教保育 (Buddhist Childcare)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	松山 智道								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	はじめに(仏教と幼児教育・保育について) 時間外学習 テキスト全体を読んでおくこと。(随時)
2	「まことの保育」の課題と保育の「質」 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
3	まことの宗教 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
4	「まことの保育」の必要性 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
5	「まことの保育」の理念 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
6	「まことの保育」の課程 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
7	「まことの保育」の課程 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
8	「まことの保育」の課程 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
9	合同礼拝と行事 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
10	合同礼拝と行事 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
11	合同礼拝と行事 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
12	まことの保育者の心得 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
13	まことの保育Q&A 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
14	まことの保育Q&A 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)
15	実践上の課題 時間外学習 講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。(15分)

2023年度

ゼミナール - B (Seminar - B)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

テーマ

保育や幼児教育に関する課題研究

到達目標

1. 保育・幼児教育に関する課題研究に主体的に取り組むことができる。
2. 課題の探求において、思考・判断・表現する力を高め、他者に論理的に伝達できる。
3. 保育者、社会人になるための基礎能力を高め、自身の課題についても認識ができる。

授業概要

「ゼミナール B」の発展科目として、保育や幼児教育に関する課題の研究と発表を行う。
また、2年間の「総仕上げ期」でもあるため、社会に出る自覚を持ち、保育者、及び社会人として必要な基礎能力を高める。

学修に関する留意事項

- ・本授業は、学生の自主的な態度、能動的な取り組みを重視する。
- ・課題の研究は、自ずと時間外学習が必要である。自ら、学びを深めるための学習を行うこと。
- ・「ゼミナール - A」と本授業を通じて、各自、積極的にボランティア活動を行うこと。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題研究およびレポート作成（到達目標1、2）	60%
授業への取り組み（到達目標2、3）	20%
グループワーク（到達目標3）	20%

テキスト

必要に応じて、資料等を配付する。

参考文献

参考URL

2023年度

ゼミナール - B (Seminar - B)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	福西 朋子、山本 敦子、竇來 敬章、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、山口 昌澄、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション-2年次後期の計画と目標-
2	保育者に求められる専門性と社会人としての基礎能力について 時間外学習：ワークシートの作成 (30分)
3	社会人としての基礎力演習 -立案と計画- 時間外学習：ワークシートの作成 (30分)
4	社会人としての基礎力演習 -チームワーク- 時間外学習：ワークシートの作成 (30分)
5	課題研究演習B- 研究テーマによる演習
6	課題研究演習B- 研究テーマによる演習
7	保育現場での学びと課題 -保育者に求められる資質・能力について：グループワーク-
8	保育現場での学びと課題 -保育者に求められる役割について：グループワーク- 時間外学習：保育現場での学びと課題についての小レポートの作成 (2時間)
9	課題研究演習B- 研究テーマによる演習
10	課題研究演習B- 研究テーマによる演習
11	課題研究の成果発表準備 時間外学習：研究成果の発表資料作成 (1時間)
12	課題研究の成果発表準備 時間外学習：研究成果の発表資料作成 (1時間)
13	課題研究の成果発表 時間外学習：成果発表について的小レポートの作成 (30分)
14	課題研究の成果発表 時間外学習：成果発表について的小レポートの作成 (30分)
15	まとめ-2年間の学びのふりかえり- 時間外学習：2年間の学びについて的小レポートの作成 (1時間)

2023年度

保育・教職実践演習(幼稚園) (Practical Seminar of Teacher Development)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章、山口 昌澄、福西 朋子								

テーマ

2年間の学修の省察と幼児教育者・保育者としての実践力の習得

到達目標

- 1.これまでの学修の振り返りから自分なりの課題を把握できる。
- 2.現代保育者の具体的実践力について理解し、最低限のものが身に付いている。
- 3.協働的な取り組みや他者との交流を通して、保育実践や子どもの背景にある状況などへの視点を持ち、考察することができる。

授業概要

これまでの学修の振り返り、自己の課題について省察する。

- ・使命感、責任感や教育的愛情の涵養
- ・社会性や対人関係能力の育成
- ・現場実習、現職職員による講義、グループディスカッション、発表などを通して、保育のあり方についての考えを深める

学修に関する留意事項

2年間の学びの集大成となる科目です。履修カルテ等で自己の学びに履歴を十分復習した上で積極的に授業に臨んでください。特別講義と見学実習に関しては、社会状況や協力していただく各市の関係者や園との調整の上、遠隔（動画配信）という形式になる可能性もあります。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末課題（到達目標3）	50%
小レポート（到達目標1,2）	30%
授業での取り組み（到達目標1,2,3）	20%

テキスト

特に指定しません

参考文献

特に指定しません

参考URL

特に指定しません

2023年度

保育・教職実践演習(幼稚園) (Practical Seminar of Teacher Development)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	寶來 敬章、山口 昌澄、福西 朋子								

授業計画 (半期科目)

授業回	授業内容・時間外学習(予習・復習)
1	オリエンテーション：本演習の目的、計画、評価 時間外学習：履修カルテの作成、整理 (60分)
2	キャリアについて 時間外学習：これまでの短大生活の振り返り、自己のキャリアに関するレポート課題 (30分)
3	特別講義オリエンテーション 時間外学習：特別講義に向けた課題 (30分)
4	特別講義 時間外学習：個人課題の作成、グループ課題への取り組み (60分)
5	特別講義での学びの共有：グループ発表 時間外学習：グループ課題の発表準備、発表後の課題への取り組み (60分)
6	見学実習オリエンテーション 時間外学習：訪問する園・施設の週案または日案の確認、グループでの役割の検討 (60分)
7	見学実習
8	見学実習
9	見学実習
10	見学実習 時間外学習：エピソードの整理・作成 (60分)
11	グループディスカッション - 見学実習エピソードの分析・考察 - 時間外学習：冊子用・発表用エピソードデータの作成 (60分)
12	グループディスカッション - 見学実習エピソードの分析・考察 - 時間外学習：冊子用・発表用エピソードデータの作成 (60分)
13	見学実習エピソードのポスター発表準備 時間外学習：発表内容や方法の検討 (30分)
14	見学実習エピソードのポスター発表 時間外学習：聴講したエピソードの考察 (30分)
15	見学実習エピソードのポスター発表 時間外学習：聴講したエピソードの考察及び最終レポート (60分)

2023年度

保育実習 (Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

テーマ

保育所における参加・部分・責任実習など

到達目標

- 1.保育実習 の学びを活かして、保育所保育の基本を理解する
- 2.乳幼児が自発的な活動を行うための環境構成及び援助の在り方を学ぶ。
- 3.個性・特徴を理解した上で、計画の立案や活用方法を学び、保育活動を実践する。
- 4.家庭や地域と連携を図りながら、保育に携わる保育所の実態に触れる。
- 5.得た理論を自ら応用しながら実践することを通して、保育士としての専門性や資質を理解し、自らの保育観・児童観を持つようになる。

学修に関する留意事項

保育実習指導 の学びを活かして、事前準備・事後学習に努めることを望みます。指定された書類が期限内に提出されない場合は実習に行くことができません。
指定された実習日数の3分の1欠席があった場合、実習を中止することがあります。

テキスト

『実習の心得』

授業概要

本実習では、保育実習 の経験や学内で学習した内容を活かしながら、保育所における保育実践を体験することをねらいとする。また、乳幼児の実態に即した指導計画の作成・環境構成・指導の実際について体験を通して学び、反省と評価を繰り返しながら、保育所保育の実際を総合的に学ぶ。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習園の実習評価	70%
実習日誌	30%

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド社

参考URL

特記事項

2年間の最終実習であるため、明確に課題を持ち、集大成として実り多い実習になるよう積極的に行ってください。
また、責任実習等では、乳幼児の姿に基づいて綿密な立案をし、日々の園生活の流れを重視しながら充実した保育ができるように、意欲的に取り組んでください。
保育者(幼稚園教諭)として実務経験があります。

2023年度

保育実習 (Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	2	授業方法	実習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

授業計画 (フリーフォーマット)

- 1) 実習先および期間
実習園：原則として学生の出身地域の公立・私立保育所
期 間：2023年10月30日(月)～11月11日(土) おおむね10日間
- 2) 事前訪問・オリエンテーションの内容
園の概要・保育方針・保育課程(年間指導計画、週案、日案、主な行事等)
実習生としての心構えとマナー(職務・服装・持ち物・態度・その他留意点等)
実習の流れ(乳幼児の実態、乳幼児への関わり方、安全配慮等の留意点等)
- 3) 実習内容(園によって多少違いがある)
乳幼児の様子を観察し、子どもの発達を理解する。
保育所での勤務を体験しながら、保育士の職務の実際を学ぶ。
指導保育士の指導を受けて、参加実習・部分実習を体験する。
部分実習・責任実習の指導案を書き、乳幼児への指導の実際を体験する。
降園後、環境整備や翌日の環境構成の手伝いを積極的に行い、1日の実習を反省する。
実習日誌を書き、翌日指導保育士に提出して指導を受ける。

2023年度

保育実習指導 (Guidance of Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

テーマ

保育実習 (保育所)に関する事前・事後学習

到達目標

1保育実習 の意義・目的・内容を理解し、自己課題を明確化する。
2実習における援助・実践の方法及び心構えを主体的に取り組み理解する。
3実習後の総括及び自己評価を通して、2年間の実習を振り返り自己省察をする。

授業概要

本授業では、保育実習 の経験や学びを活かして、保育所保育の基本、園児の実情に応じた保育士の援助や環境構成の在り方、立案・実践の方法などを総合的に理解することで、保育実習 の目的や意義を学ぶことをねらいとする。加えて、実習の心構えや望ましい実習態度についても学習する。また、実習終了後に本実習を振り返ると同時に2年間の実習成果と自己課題を認識することも併せてねらいとする。

学修に関する留意事項

本授業では、保育実習 の実施に向けて模擬保育、グループワークを行います。そのため主体的・積極的に取り組む姿を評価します。時間外学習として授業前に『実習の心得』の熟読と復習を積極的に行ってください。また上記の他に、次の2つのガイダンスを行うので、必ず参加してください。
ガイダンス 事前訪問説明 事前訪問に際して
ガイダンス 実習直前指導 実習前の最終確認

成績評価方法・基準

評価項目	割合
グループワーク (到達目標1.2.3)	40%
課題への取り組み (到達目標1.2.3)	60%

テキスト

『実習の心得』

参考文献

平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定
こども園教育・保育要領 原本
出) チャイルド社
保育実習・教育実習
出) 保育出版会 著) 太田 光洋

参考URL

特記事項

2年間最後の実習として、本授業を通じて、実習に臨む基礎知識の講義及び模擬保育を行いますので理解を深めてください。
また、保育士資格に必須の科目が3科目以上不可の場合や「実習にあたって」「事前訪問報告書」が片方でも未提出の場合は不可となり、実習に行くことはできません。
保育者(幼稚園教諭)として実務経験があります。

2023年度

保育実習指導 (Guidance of Nursery School Practice)

曜日・時限		配当学年	2	期区分	後期	単位数	1	授業方法	演習
開講学科等	子ども学科								
教員名	権部 良子								

授業計画 (フリーフォーマット)

1. 保育実習 の意義と目的
時間外学習：保育実習 に関する課題の作成(30分)、テキスト第4章を読んでおくこと(30分)
2. 保育実習 における指導計画の立案(1)・模擬保育の指導案の作成
時間外学習：部分実習指導案の作成(2時間)
3. 保育実習 における指導計画の立案(2)・模擬保育実施のためのグループワーク
時間外学習：模擬保育実践の計画・準備(1時間)
4. 保育実習 における指導計画の立案と実践(1)・模擬保育の実施
時間外学習：模擬保育の振り返りシートの作成(1時間)
5. 保育実習 における指導計画の立案と実践(2)・模擬保育の実施
時間外学習：模擬保育の振り返りシートの作成(1時間)
6. 保育実習 における指導計画の立案と実践(3)・模擬保育の実施
時間外学習：模擬保育の振り返りシートの作成(1時間)
7. 保育実習 の事後指導における総括と自己評価
時間外学習：実習を行ったことに対する振り返りシートの作成(1時間)
8. 保育現場で求められる保育実践力
時間外学習：保育職に就くにあたり、将来に向けた振り返りシートの作成(1時間)